



CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075)432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

7 2002

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

Bulletin

2002.7.1発行
第32巻第1号通巻361号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunikation

国際標語	Groth Through Service (奉仕による成長)
アジア区標語	Intonge Bright Light Of Selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語	ベクトルを合わせ、地域と友の活動を
京都部標語	更なる友情を求めて

心球めて例会に到り境地を得て例会を去る



聖句

施しをするときは、右の手のすることを左の手に知らせてはならない。あなたの施しを人目につかせないためである。そうすれば、隠れたことを見ておられる父が、あなたに報いてくださる

新約聖書 マタイによる福音書6章 3節4節

なぜモアークommunikation

32期会長 荒川 徹

今、Wカップが開催されていますが、私は物事を考える時によくサッカーに例えて考えます。サッカーはパスを出す時に相手を信頼しているから、信じているからこそパスが出せます。受ける方も出してくれるであろうという信頼があるからこそ走れます。物を言わずともここでアイコンタクトが生まれます。

単に一流のプレーヤーを11人集めてチームを作ってもWカップでは優勝できません。では、チームとして成果を上げ勝利するにはどうしたらいいのでしょうか？練習の中で、厳しい要求をしたり相手を励ましたりしながらコミュニケーションをとる事によって信頼が生まれてきます。勝利という共通の目標に向かって優しさと厳しさを持ちながらコミュニケーションをとる。礼節を持って、きっちりと話し合う。そこで全員が目標に対してきっちりと方向が決まり、成果が上がると思います。

我々パレスクラブに置きましても古いメンバー、新しいメンバー、何々経験者など一切肩書きなどは関係無しに、人としての敬意と誠意を持った関係において、「モアークommunikation」をと考えています。今まで以上に問題を提議してください。その問題に対して、メンバー全員がきっちりと議論し、パレスの活性化、しいては変化をと考えています。安定は楽ですが、変化に対する対応が出来ません。何事もやらない事から始めるのではなく、やるという考え方から始めて、どうしたら成果が生まれるかを考えていかなければならないと思います。

「青春とは心の若さである」と言われています。パレスの若返り並びに次期堤会長、そして大野次期西日本区理事の布石になるように努力致しますのでメンバー諸兄のご協力を御願ひ申し上げます。そして明るく、楽しく、元気な1年を過ごさせて頂きます。

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 為 国 光 俊
書記 西川 寿一
" 吉 岡 明 彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】 Kick-off EMC-C

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
6月第1例会	36名	切手	0pt	6月第1例会	0円	6月	0円
6月第2例会	42名	累計	0pt	6月第2例会	0円		
在籍者数	44名	現金	33,000円				
出席率	97.7%	累計	33,000円	累計	291,550円	累計	1,276,610円

> 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 <

6月第1例会報告(第5回西日本区大会)

日時 平成14年6月8日
場所 ホテルグランヴィア京都

隠塚 功

今年の西日本区大会は6月8日、ホテルグランヴィア京都にて開催された。通常2日間の設定が行われる西日本区大会だが、故大槻ワイズの想いを尊重し、大会をホストした京都トゥーピークラブが大会を1日に集約し、費用を抑えた大会として企画された。



出席者も1,000人近くにはのほり、この成果が出席者数に如実に表れているとも感じ取れた。大会第1部のオープニングは、Splash Poodleという同志社大学の学生グループによるアカペラでのワイズソング斉唱。かつて無いワイズソング斉唱に、その後を誰にも期待させる大会のスタートとなった。野村秋博日本YMCA同盟委員長やDAVID HSIAOアジアエリア会長、小原武夫東日本区理事の祝辞があり、次に年次代議員報告。この報告の中には、次々期西日本区理事が大野ワイズに決定したことも含まれており、パレスクラブとしても大役を受けたことの重みを改めて感じるところとなった。そして各報告の後、理事引継ぎまで順調に進められ第1部は終了。

第2部は舞台の両サイドから各会長がバナーを持って入場するバナーセレモニーでスタート。食前の祈祷に続き、大野次々期理事による乾杯。この乾杯から賑やかな会食が開始。会場内は熱気にあふれ、時間と共にアルコールの量も増え、盛り上がってきたところでの表彰式。順次表彰クラブがスクリーンに映し出される中、最後にBF総合達成率最優秀賞を受賞。一年間ご苦労いただいた鈴木会長に一つでも受賞していただけて、ホッとした思いであった。この後、Splash Poodleのショータイム等を経て、吉本理事による点鐘で閉会となった。

ところで、この大会は随所に吉本理事、故大槻ワイズへの感謝の念が込められた大会であり、心温まるものを最後まで感じることでできた心地よい大会であった。



6月第2例会報告(引継例会)ー751回ー

日時 平成14年6月26日
場所 京都ブライトンホテル

瀬戸 伊佐雄

少し肌寒い梅雨の中、熱気溢れるワイズメンズ1年間の総括というべき引継ぎ例会は、河合君の司会で始まった。まずは会食。少しアルコールも入り一年間の労をねぎらい合う。

「魅惑のカンツォーネ」テノール歌手・加藤ひろゆきさん、ピアノ演奏は岡見君である。前回2年前のクリスマス例会と違い、今日はイタリアン・カンツォーネ。「帰れソレントへ」を始め6曲を熱唱され、感動に酔いしれた。

表彰式に移り恒例の杉井君(情報提供は西枝君)によるパレスギネス賞にはヨットのワールドチャンピオンシップに出場した田中慎一君、クモ膜下出血から見事立ち直られた隠塚君が選ばれた。

次いで西日本アワードのファンで吉田君の表彰。数年前までパレスは多く受賞していたとの事、来期は頑張っていきたい。200%例会出席、河合君をはじめ8名。ワイキチ賞に三尾君、吉田君、永井君、ワイキチ新人賞に小西君、そして最優秀ワイキチ賞に山岸君が輝いた。

クラブ標語「何かチョット違う」を目指そう～鈴木会長への感謝の言葉を、大野メネットがうまくユーモアを交えながら朗読された。

最後に鈴木会長より感謝の気持ち、新会長荒川君、次々期会長の堤君へのメッセージ。ワイズの今後の取り組み方、奉仕活動の在り方、メネットへの感謝の気持ちに胸がいっぱいになった。

鈴木会長と川上君による得意のウエスタン演奏による「Country Roads」を全員で声高らかに合唱。ラストは「乾杯」を合唱し最高に盛り上がる。

出口にて会長夫婦が全員に握手して労をねぎらいあって閉会した。



困った事に三役の条件はメールを使える事!

副会長 杉本 泰造



今期荒川会長をはじめ三役の年齢は、私と西川君以外は皆さん40代であります。

マネージメント、人格、知的水準と、どれを取っても私が及ぶ所では無い。私なんかは過去の経験を所々に出して存在感を示しているだけである。特に

凄いの、パソコンとメールであり、我々年長者には手の届かぬ所であります。しかしパレスもホームページが立ち上がり、三役はメールを通信手段とすると会長方針が出されたものですから、ヤルシカない!未だ結婚せず残っている末娘の遅い帰りを待って教えてもらっているが、ガッツ石松のアピバのコマーシャルの様にはなりたく無いので、密かに忍耐を持って学習している。しかし娘はいい娘でありまして、お父さんは覚えが早いと煽ててくれる。最近のワイズは、鈴木宗男ではないが大受する弁舌と桐喝だけでは通用しないようで、まずはパソコンとメール、そして人に優しい人格が備わって初めてワイズメンと言われるようです。西川君も引継例会でパソコンとメールをする宣言されましたので、年長組、頑張らって頑張らって、ワイズを続けましょう!

パレスクラブの魅力は?

副会長 為 国 光 俊



昨年、脳動脈瘤の手術をした時に、見守る家族の前で「手術のついでにアホな脳みそを直して下さい」と、執刀していただく外科医の先生に向かって強がりを書いてみたものの、その結末はいかに?このたびパレスでは「為国、おまえガンバレ」と副会長を仰せつかわることとなり、その手術の結果を試されるときがやってまいりました。

パレスクラブの魅力は、メンバー間の世代を越えた強い繋がりがあることですが、この良さこそがクラブの活性化の要となるようです。今、新入メンバーの獲得、会費の値下げ、ホームページの立ち上げ、事業活動の見直し、例会の充実等の課題を乗り越えて、それを更に磨くことでクラブが良くなっていくのでしょうか。常になにか新しもの好きのパレスをメンバー全員で自負できるよう今期1年間お役に立ちたいと思いますのでよろしくお願い致します。ひとつひとつが勉強だと考えています。もし私が、アイデア先行で先走りすぎたり、考え方がしょうもないときは、術後の経過が悪いのとちゃう?などと遠慮なくつつこんでください。

書記としての抱負

書記 西川 寿一



パレスクラブも32年が経つとマンネリ化という面が出てくる。そんな部分を今期は荒川会長をはじめとして三役で検討した結果、クラブ活性化の為には何かを仕掛けて行かなければいけないという事と同時に、昨今の経済状況や、新入会員が入会しやすくする為に、例会費の値下げに踏み切った。これをきっかけに今迄の活動を再点検すると共に、YMCAへのサポートクラブである事を再認識し、YMCAの維持会員として個人的にもっとYMCAに関心を持って頂く事を願っています。

今まさにIT時代、新しい三役の方々、杉本君を除いてパソコンのバリバリの現役である。その杉本君さえパソコンをやり始めたと言うから世の中は大変な時代になってきた。私もそろそろと思っているが、なかなか必要に迫られないので腰が重い。そんな三役の方々と一緒に、今期荒川会長のもとパレスクラブの発展に少しでも寄与できたらと思っています。

書記として

書記 吉 岡 明 彦



今期、若輩者の私ながら書記に推挙され、素晴らしい役員の皆様のお仲間になれる事、推挙して頂いたことを感謝し、その任をお受け致しました。以来、準備を進めるに当りパレスワイズメンズクラブがより良くわかり始めました。荒川会長の下「モアークミニュケーション」の会長方針を軸として、入会後日の浅い私が、「モアークミニュケーション」を身を持って実践しながら、メンバー皆様との親交を深めていきたいと思っております。

現在の厳しい社会経済の中、メンバー相互の協力・交流を通じて、明日への活力・元気が得られるクラブを、荒川会長の下みんなで作っていきませんか?今期、一年間よろしくお願い致します。

32期の抱負

会計 田中 一馬



27期に書記をやらしてもらって以来の三役を仰せつかりました。前回の三役のときはクラブ歴も短く、右も左も全くわからず、とりあえず言われた通りにしているだけであったという間に任期が終わってしまいました。今回は多少なりともクラブのことが理解できるようになり、それなりの自分の考え方をもちこて来ております。

今期は荒川会長の方針のもと会費の値下げを提案しています。会計としても予算の段階からこの方針に基づいて全力でサポートしています。会費の値下げを行っても、今までのクラブ運営の質を落とさないように、クラブの資金をしっかりと管理していきたいと考えています。でも私本人はけっこうザルですので少し不安があります。まあ財布は小西君におまかせしておりますのでなんとかなるでしょう。メンバーの皆さん、いろいろとご迷惑をおかけするかと思いますが、今年1年よろしくお願いたします。

頑張ります

会計 小西 孝典



入会后、早1年半でまさか三役を仰せ付かるとは思いませんでした。三役とは何たるか、会計の役目とは？まだまだ分からない事だらけで不安な気持ちです。しかし、はたと考えてみたら、こんな経験もクラブに入ったからこそ出来る事だと思えました。実社会に出てから仕事以外で、こんなディープな人間関係？はそうそう味わえる物じゃ無い！そんな経験をさせて頂ける事を皆様に感謝しつつ自分の物と出来たらどんなに人間としてプラスに成るか、考えただけでもワクワクして来ました。諸先輩方に教を請いながら、そして互いに助け合いながら、しっかりちゃっかり私自身も磨きながら頑張っていきたいと思っております。

Yサ・ユース委員長として

Yサ・ユース委員長 井上 彰



とても大切な事も、ともすれば忘れてしまっている事って良くある話ですね。ワイズメンズクラブはYMCAのサポートクラブだということを考え、実行していく事が、今期のYサ・ユース委員会のモットーです。メンバーの皆さん、熱いハートでご協力をお願い致します。

頑張ります

地域奉仕委員長 田中 慎一



私にとってこの委員会は、今まで経験のない初めての委員会です。どこまで出来るか不安もありますがやってみます。私の方針としては、各事業を各委員で持ち回りににして委員会全体を活性化し、楽しい委員会にしたいです。そうする事により西日本区の地域奉仕事業の色々な賞も取れるようになると思います。

副委員長で前期ワイキチ賞を取った吉田君はボーリング担当、委員の岡見君は和敬学園地蔵盆担当、小桜君は年賀ハガキ・献血担当、三尾君はソフトボール担当、そして私は京都部ワイズデー担当と決定致しました。そして今期は、我がクラブより、京都部地域奉仕事業主査の三尾啓君を輩出しており、その三尾君を支えるためにも一丸となって頑張っていこうと思っております。皆さんご協力よろしくお願い致します。

新人急募！

EMC委員長 河合 信也



ズバリ、目標は大きく9名獲得(中途半端やなあ)。これは準備役員会で事業計画を提案する度に退会者が出て3回数字が変わったからで、要するに日本一のメンバー数にすることが目標です。

しかしながら、わたくし30周年で体力・財力全て使い果たし、未だ後遺症で身も心もボロボロ…とてもこんな重責に応えられる状況では無いのですが、若手のホープ荒川会長からのご指名には断れず委員長をお引受けすることになりました。そんな訳で、目標達成には皆様方のご協力で全てが掛かっています。私的計算では、会長及び三役さんと前EMC委員長が一人づつ入れていただくだけで8名になり以外と軽やかなあ…なんて思っています。新人獲得でクラブに活性を!!そして新人が入りたくなるクラブ環境作りを皆様方と共に目指していきたいと思っておりますので、ご指導ご協力を宜しくお願いたします。

モアーコミュニケーションを目指して

交流委員長 川勝 政男



私がパレスに入会して1年6カ月が過ぎました。そこで荒川新会長から交流委員長をやらしてもらえないかと連絡があり、何も考えずにお受けしました。

それからが大変!!パレスが何か?YMCAが何か?交流委員会が何か?考えれば不安が増すばかり。止めようと思っていたタバコが増えるばかり。なんと不健康なクラブかと思いつつ、ワイズメンのモットー「強い義務感を持つ、義務はすべての権利に伴う」の言葉!!

川上副委員長、井上均君、田中勝君等の先輩ワイズメンのアドバイスのもと、頑張りがちながら、楽しくモアーコミュニケーションを。

難しいことは置いといて

広報委員長 山本 一博



難しいことは横に置いといて、習うより慣れろ、案ずるより生むが易し、拙速は巧遅に勝る、遠くの親戚より近くの他人、今期はそんな気持ちで頑張ります。

人間万事塞翁が馬、やってみなくちゃ分からない、今の気持ちです。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ファンド委員長として

ファンド委員長 山岸 弘侍



まず第一に、クラブの活動資金はクラブ員、全員で力を合わせて集めるという事を再認識して頂き、ジャガイモ販売を柱とし、トスファンド、正月用おもち販売、その他メンバーに喜んで頂ける物品販売を行うつもりです。又、BF、EF事業にも委員会全員で頑張ります。何卒ご支援の程、よろしくお願い致します。

今期の方針

ドライバー委員長 杉井 恭敏



今期ドライバー委員会は、「明るく、楽しく、元気よく、そして爽やかに。」を目標にします。そして、ファミリーと共に楽しめるクラブ運営ができればと願っています。(メネット会の立ち上げを是非検討してみる必要があります。)

例会日は原則として水曜日ですが、今まで納涼例会と花見例会は土曜日の日もあったのですが、我がクラブの飲食関係のメンバーは水曜日を休みにしておられる事を考慮して水曜日を提案させて頂きました。(これは今後も継続して欲しい。)又、ホテルでの例会は原則として禁煙とさせて頂きます。(これはきっと強い抵抗勢力に合うだろうな。)

今、世の中構造改革、意識改革の時代です。我がクラブも少しでも良いと思われる新しいものをどんどん取り入れて行かないと、いずれ沈没するでしょう。ガンバロウ!!

よろしく!

長期ビジョン・政策調整室委員長 大野 嘉宏



第31期は三役と兼任の委員会運営の為、第32期に対する期待を中心とした議題を取り上げ、会費、継続事業活動、例会運営等の意見収集や今後への提案で、ある程度の成果が出たと自負しています。この委員会を通じて得た事は、パレスクラブ独自の問題点と言うよりも、ワイズ活動全般、又は一般社会に共通するものが多く有った様に思われます。

今期は委員会活動に加えて、小生の西日本区理事としての準備期間に入ります。前期、今期に幅広く意見を頂いた事を参考にしながら、活力あるワイズ活動に微力を捧げてご奉仕すると共に、メンバーの多くの方にもパレスの活動のみならず、広い方面でのワイズ活動に参画する事から得られる新たな喜びを共有できる様に願って、外部の情報を提供したり、パレスクラブに期待する声を紹介して、より一層、クラブの向上に貢献できる委員会運営にしたいと考えています。

役員キックオフ研修会報告

田中 一馬

6月22日(土)17:00より、三条YMCAにて役員キックオフ研修会が行われました。内容は、

- (1) 西川書記よりワイズメンとしてのYMCAサポートに対する心構え
- (2) 杉本副会長よりYMCA100周年募金について
- (3) 私田中よりクラブ会計の課題について

という3つのお話と、それぞれについてのディスカッションを行いました。さまざまな意見交換が行われ、当初予定の1時間30分があっという間に過ぎてしまいました。もうちょっと時間が欲しかったなというのが正直なところです。

懇親会は会場を移し、研修会を欠席された一部の役員も参加し美味しい食事とお酒をいただきました。お酒の勢いか研修会以上にいろいろな議論もなされ午後9時過ぎにお聞きとなりました。ご参加の皆様お疲れ様でした。そしてありがとうございました。



役員会報告

第31期役員会

第1号議案	篠原君6月末日退会の件	承認
第2号議案	松本君5月末日退会の件	承認
第3号議案	引継例会登録費の件	承認

第32期準備役員会

第1~3号議案	各事業委員会事業計画案、年間スケジュール、予算案の件	承認
第4~5号議案	会費値下げ(維持会費含む17,000円)の件	承認
第6号議案	ホームページ立ち上げの件	承認
第7号議案	サバエ開設ワーク(7/14実施)の件	承認

7月スケジュール

役員会	3日(水) 京都ブライトンホテル
第1例会	10日(水) 京都ブライトンホテル
第2例会	24日(水) びわこ汽船(ミシガン乗船)
サバエ開設ワーク	14日(日) 9:00~

HAPPY BIRTHDAY

堤 良 枝	メネット	7月1日
三 尾 啓	君	7月5日
瀬 戸 伊佐雄	君	7月9日
山 岸 百 代	メネット	7月13日
三 原 隆	君	7月16日
山 本 一 博	君	7月19日
瀬 戸 智恵子	メネット	7月20日
杉 井 恭 敏	君	7月25日
岡 本 圭 司	君	7月27日
安 岡 忠 男	君	7月30日

HAPPY ANNIVERSARY

山本 一博・智子 夫妻 7月23日

パレスのホームページが出来ました

●パソコンからのアクセス用URL●

<http://www.tamekuni.co.jp/palace/>

●携帯からのアクセス用URL●

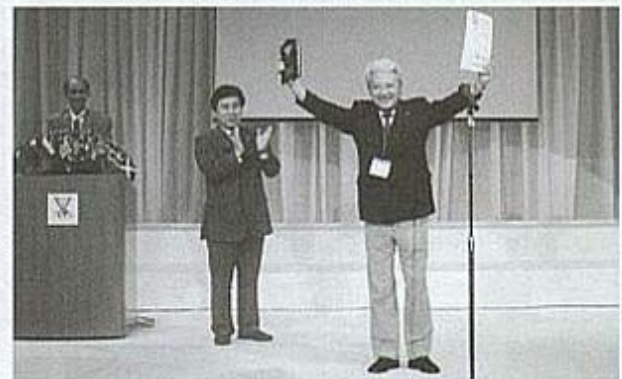
<http://www.tamekuni.co.jp/palace/indexk.html>

第31期 表彰一覧

第5回西日本区大会表彰 (パレスクラブ関連分)	
Yサ・ユース事業表彰	ユース優秀クラブ賞
地域奉仕事業表彰	TOFクラブ8位
ファンド事業表彰	BF総合達成率最優秀賞
交流事業表彰	アジア大会参加トップ賞 交流賞

引継例会クラブ表彰

最優秀ワイキチ賞	山 岸 弘 侍 君
ワイキチ賞	永 井 孝 君
	三 尾 啓 君
	吉 田 享 弘 君
最優秀ワイキチ新人賞	小 西 孝 典 君



200%出席賞	河 合 信 也 君	永 井 孝 君
	小 西 孝 典 君	平 井 久 夫 君
	鈴 木 俊 一 君	宮 本 隼 史 君
	谷 口 武 士 君	山 岸 弘 侍 君

会員情報

杉井恭敏君が、この度京都YMCAの常議員に就任されました。パレスからは初めての常議員です。今後は京都YMCAの運営と発展の為に尽くされます。全てのYMCAが有志団体(ボランティア団体)であるという自己理解が組織運営の考え方の基盤にあり、その具体的な表現として、常議員が必ず無休の奉仕者(Policy Volunteer)であることは誇るべき事であります。

地域奉仕委員会より

和敬学園の樋口園長、児童職員一同様より「親睦ボーリング大会」への誠に丁寧なお礼状を賜りました。

☆☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆☆

1. YMCAサマープログラム参加者募集中!

キャンプ・スイミングスクール・ウエルネススクール・鉄棒/とび箱が好きになる教室

2. Outdoor English Camp 英語が好きなお友達集まれ!

日 程 7月30(火)日~31日(水) 1泊2日

対 象 小学2年~6年生

費 用 在籍生・会員/15,000円 一般/17,000円

場 所 京都YMCAリトリートセンター

3. 京都YMCA国際協力チャリティー映画会「JSA」

日 時 7月28日(日) ①13:30 ②16:30

会 場 京都教育文化センターホール

費 用 前売大人/1,300円(当日1,500円)

高校生以下/1,000円(当日券のみ)

4. 香港・京都フレンドシップキャンプ

日 時 8月11日(日)~17日(土)

①ホストファミリー募集中!

②京都の子ども達募集中!(小学3年~6年生)

以上の詳細お問い合わせ、お申込みは加藤連絡主事迄。



CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

8 2002

Bulletin

2002.8.1発行
第32巻第2号通巻362号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語 Groth Through Service (奉仕による成長)
アジア区標語 Intonge Bright Light Of Selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語 ベクトルを合わせ、地域と友の活動を
京都部標語 更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会を去る

聖句

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々と
して、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭
く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」

新約聖書 マタイによる福音書7章13節14節



二匹目のどじょう

京都YMCA 100周年記念募金委員長 柴田 善朗
(京都さくらワイズメンズクラブ)

来年京都YMCAは100周年を迎えます。その記念式典は2003年10月11日(土)と決まりました。そのための実行グループが、決められた部署ごとに計画と準備に取り組んでいます。私に記念募金の責任者になって欲しいと依頼があった時、「何で私が?」と思うと同時に4年前の気の遠くなるような取り組みを思い出しました。

言うまでもなく、それは三条Yの改修募金でした。当時私は京都部長を仰せつかって居り、何としても成功せねばなりません。京都部の皆様のご協力と、柳の木の下にいない筈のどじょうがいて運良く釣れたことではほぼ目途がつき次期に引き継ぐことが出来ました。思い返せば当時のパレスクラブ西枝攻会長にも随分お世話になった事など、つい先日の事のように脳裡をかすめます。

さて、100周年記念募金はいよいよ今年9月から始められ来年の12月末までの期間を定めて実施されます。ワイズでの募金担当は知恵袋?の代表として北村寿朗さん、杉本泰造さん、仁科保雄さん、山本恵さんで、名前を見るだけで心強さを感じます。目標は5000万円、時節柄目標が過大だとお叱りを受

けるかも知れませんが、夢の実現のためにも、一步でも近づけようと計画の実施に向けて準備を進めています。

ところで夢とは何かと言う事になりますが、ご協力頂く募金の使用目的の大きなものはトリートセンターの管理棟の建て替えです。現在までの試案では、ただ「建てる」のではなく、京都部のワイズメン全員参加によるコンペ方式の設計参加です。一応の予算設定のもとに、間取り設計、内装、完成予想図まで各方面に亘る参画と意見提出など、全員で完成に対する夢を抱きながら募金に協力して頂くという「納得した上での募金」にしたいのです。戸田昌伸京都部長にも過日委員会にご出席賜り、近日京都部としての募金の取り組みについて発表して頂く事になりました。将来、YMCA150周年記念募金を実施される時、現在の京都部のメンバーのほとんどの方はこの世に居りません。私も二匹目のどじょうを探して来ます。どうぞ、パレスクラブの皆様、京都部の先頭に立って募金機関車として引っ張って下さい。両手を合わせてお願いします。

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 為国 光俊
書記 西川 寿一
" 吉岡 明彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】 Youth Activities Yeep Step

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
7月第1例会	39名	切手	0pt	7月第1例会	20,000円	7月	0円
7月第2例会	36名	累計	0pt	7月第2例会	4,000円		
在籍者数	44名	現金	0円				
出席率	97.6%	累計	0円	累計	24,000円	累計	0円

> 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 <

7月第1例会(定期総会)報告-752回-

日時 平成14年7月10日
場所 京都ブライトンホテル

西 枝 攻

荒川会長のスタートが切られました。本日はめいぶるクラブから3名のゲストを迎えての例会です。

会長をはじめ三役全員が定刻に揃っての開会。司会は期待の杉井ドライバー委員長です。まずは荒川会長の点鐘、そして、めいぶるクラブからの京都部会アピール、諸々の報告の後、会食へと進み、7時50分から荒川会長を議長として総会が開始されました。先ず第31代の鈴木直前会長から前期の活動報告、続く会計報告ともに特段の議論なく一括承認されました(前期会計として感謝します)。

そして第32期の事業活動方針、予算案の提案が行われました。今年度のハイライトは何と言ってもYMCA維持会費をクラブ予算から一括支払いを行い、会費を17,000円と1000円値下げし、かつ前年度を上回る活動を行おうとするものです。

これに関連して、ファンド事業収益金の使途の見直しについて、今後クラブでの討議を行うことが提案されました。これは奉仕クラブにおいて多額の繰越金を保有することの意義を、今一度考える時期に来ているとの問題意識からの提案です。適切な保有資金とはどの程度か、年間収入と年間活動とのバランス等々、従来議論されていない点についての議論が不可欠となって来ている事が明らかとなりました。

また、ドライバー委員長からは会則に則り、クリスマス例会を含め全ての例会を水曜日にしてはとの強い意見が表明されました。また、納涼例会の特別例会費に関し、下戸の参加者については配慮すべきとの提案がなされ、活発な意見交換が行われました。この点については、総会後もホームページ上にて大いに議論がなされ、納涼例会はどげんなことになるんやろ……、興味津々。

今回の総会は会費問題、例会のあり方等の討議を通して、奉仕クラブの活動スタイルについてメンバーに一石を投げかけたものとなりました。



7月第2例会(納涼例会)報告-753回-

日時 平成14年7月24日
場所 琵琶湖汽船ミシガン

井 上 均

待ちに待った楽しい納涼例会、今年には琵琶湖で「ミシガン」に乗船しての例会です。先週、先々週と続けざまの台風来襲で、琵琶湖の水位もぐんとアップ、気温もアップ、メネットの出席もアップ、これで今年の夏は心配いらぬ模様。

三々五々に浜大津港に集合してくるメンバーも、いつものスーツ姿ではなく、色とりどりのカジュアルなスタイルです。さすがは京都人だけあって、着物(浴衣)姿のメン、メネットもおられます。

いよいよ琵琶湖クルーズに出航。船が離岸した時、アレ??、港の桟橋に見慣れた顔が……。見送りかな??「さようなら〜」……船の中では早くもテーブルごとに乾杯が始まりました。しかし30分後にまた着岸して3人のメンバーが仲間入り。仕切直して会長代行による乾杯で納涼例会再スタートです。

船は浜大津港をスタートし、柳が崎、唐崎、そろそろ比叡の辻あたりを通過と思い、窓の外を見るとプリンスホテルが目の前に……。うーん、浜大津港沖をグルグル回るのね。まあ、景色より食い気が先行、飲むほどに話が弾む。この後は一体どうなるの?

3階ステージでミシガン州からやって来た国際交流研修生のライブショーが始まるので階上へと移動。まだまだ蒸し暑い。船は北行し船上デートのカップル(夫婦水入らず)も、しばし音楽と夜景に酔いしれデッキで語り合っておられます。

比叡の辻あたりでUターンし、浜大津港にキッチリPM8:30に着港、下船し、まだまだ時間が早いので名残惜しいメンバーは二次会、三次会の打ち合わせ。聞くところによると、AM2:00過ぎまで飲んでいたら人も居たとか……。まずは楽しい夏の一夜でした。



サバ工開設ワーク

日時 平成14年7月14日
場所 サバエキャンプ場

井上 彰

台風が近づいて天候が気になる。前日、準備の買物もできるだけ遅く夜に出掛けた。そんな事とはうらはらに、当日は意外にも大変良い天気になり家を出た。

午前8時50分、佐波江到着。集合時間が近づくけれど意外にも集まったワイズメンは少なく、ワークの人数が足りるのかなと思ったけれど、時間が経つほどに人数が増えてきた。ワーク開始の挨拶と本日のワークの説明が終わり、いよいよワークに入る。カヌー、ボートを砂浜の方へ移動する。天気が良すぎて暑い。「これは少々疲れるワークになりそう」などと考えてしまう。浜の草刈り、その後はテント建て。休憩の時に飲むお茶がとても美味しい。

だらだらとワークをしているとかえって疲れるので、時間を決めて休憩を取り午前中に全部のワークを終えるようにしようと思う。暑い時期にもかかわらず献身的なワークをしているメンバーの姿を見ると「これが本当のボランティアなのかな……」と感動させられる。横一列になって草むしりをしていると、浜辺の植物が砂の中に根を横にはわせている植生がよく分かる。浜辺も美しく

なり今度はログハウス周りの草刈り。文明の利器、草刈り機が浜辺と同じようにここでも威力を発揮する。

もう少しで作業を終了出来そうな時に、今年プリンスクラブが寄贈された野外炊事棟贈呈式があった。型通りのセレモニーの後、中断していたワークを再開、食事の時間までに本日子定のワークを終えた。

昼食後少し休憩、プリテン用の写真を撮って解散。心地良い疲れと満足感をお土産に各自家路についた。



コラム

1の裏は6

期待される人

次期にはパレスクラブより、西日本区理事大野嘉宏ワイズが誕生する。過去においては、西川ワイズが日本区副区理事を務められ、元パレスメンバーに至っては、西崎照一君（めいぶる）、森田恵三君（ウエスト）、岡本尚男君（キャピタル）の御三家が日本区理事を歴任されている。そうした中でも大野ワイズは、実力、名声共々世界のワイズの知るところであり、満を持しての登板であると言えよう。

大野ワイズには過去の足跡からしても、西日本区の更なる発展と改革に彼の手腕が大いに期待されているのは衆目の一致するところである。しかしながら、そうした期待に応え得るか否かは、理事の力量のみならず、理事を支えるキャビネットの助言と進言に大きく左右される。西日本区の役員ともなれば、生活の全てをワイズの活動に捧げなければならず、仕事や家庭に少し痛みを感じても務め続けなければ満足な結果が得られないのではないだろうか。それはそれで問題ではあるが、ワイズの楽しさは何事にも代えられない魅力がある。そして長たる者の人格、培った友情、無心の使命感が人を動かし、その結果

得られるであろう達成感、満足感はこの上ない喜びであろう。

一方、パレスクラブは、西日本区のホストクラブかCOホストクラブ、いずれかに名乗り挙げなければならないと思うが、問題は大会実行委員長の指名である。理事及びキャビネットのお役目も大変であるが、実行委員長は理事とクラブの意見をまとめて行かねばならず、その兼合いも含めると出来る人物もまた限られて来る。人望があり、求心力があり、過激でなく穏やかであり、キレ無いで人の意見を良く聞き、しかも行動力がある……、これらの条件が備わった人物の実行委員長就任が待たれるパレスクラブである。

(老眼鏡)



第30期のビデオを見る会

日 時 平成14年7月15日

場 所 プレラ

吉 岡 明 彦

第30期会長であり、今期EMC委員長の河合ワイズの元に届けられた「小櫻さん渾身撮影・責任編集の第30期パレス活動の素晴らしいビデオ」を、みんなで見ようと言う企画がホームページの掲示板を中心に盛り上がり、宵々山で京都の町が賑わう7月15日、岡見ワイズの会場提供によりプレラにて行われました。

当初は自由参加の非公式のイベントであった筈が、いつの間にか総勢17名ものメンバーが集まり、EMC委員会が主導してパレスへの理解と懇親を深める委員会？主催行事？となりました。

第30期の京都部会、30周年記念例会を始め、通常例会、クリスマス、トスファンド、引継例会など、懐かしくも面白い映像が次々に出て、その度に当時の話に花が咲くという素晴らしい内容でした。私も自分自身の入会式を今一度見るに当たり、非常に感懐深いものでした。

また、高岡元会長提供の第29期から第30期への引継例会のファッションショーのビデオを見て、その素晴らしいモデル振りに感心したり、安岡ワイズ提供の台湾訪問（アジア大会）のビデオ、阪神淡路大震災での救援活動のビデオなども見ることができ、改めてパレスクラブのパワーを感じました。

最後になりましたが、当日のお世話役として森田ワイズの会社の綺麗どころが一緒だった事で、大変華やいだ雰囲気の中で皆さん非常に楽しむことが出来ました事をご報告致します。



特 別 寄 稿

新米古狸のつぶやき

直前会長 鈴木 俊 一

ヨット乗りの間では少々歳を取り、経験を重ね、尚かつ口うるさい人間を古狸と言います。

会長の役割を終わって経験した事、感じた事の中で、荒川会長初め三役、役員の方々の役に立てばと思ひながらの古狸の独り言です。参考に成るかな???

まず、最初にパレスクラブの置かれている立場を良く理解する事。京都部、西日本区においてパレスクラブの認知度と我々が感じている自己認識の格差は予想以上に大きいものです。パレスクラブがどの様な行動、言動を取るかの注目度合を常に認識しながらの行動が肝要であると思います。区、部の役員経験者にはお分かりかと思いますが、今回、大野君が理事を引き受ける事で、各地のワイズの注目を集める事は容易に想像出来ます。これは正にパレスクラブの真価が問われます。仲良し老人クラブで終わるか、ワイズ活動の重要な担い手の一つに成るかの分岐点にあるように思われます。メンバー各人がもう一段上の社会人を目指し、より一層の自己研鑽に励みましょう。

次に、任意団体におけるリーダーシップについて

一言。組織の運営は「人を通して目的を達成する」、その為にはアイデアや刺激策でモチベーションを上げられますが、クラブ活動ではその様に行きません。良い意味で義理人情の世界です。理屈抜きで出席第一です。何にでも出席し、笑顔で進行を妨げない事。これにより参加者が意気に感じ、協力し、盛り上げてくれること疑い無しです。

さらに意思決定時には思考の深さを要求されま。企業内では、業務命令、指示により遂行できますが、クラブ内では命令、指示は出せません。先の先まで考えて、それぞれの利点、不利な点、リスク、効果、他に及ぼす影響、代替案等をどの様に読みきめるかが、人を説得し、動かす次善の策です。最善は人徳であることは言うまでも有りませんが……。

最後にもう一言。若手の多い執行部に注文です。IT化を無闇に急がない事。ユーザーとノンユーザーの意識の格差は若手ユーザーが考えている数倍、いや数十倍有ると考える事です。明日から日本語禁止、英語のみで生活を命じられた事を想定すると解り易いと思います。全員を集めての講習は自己保身や理解力の格差による劣等感の増幅を誘い、悪弊となる可能性大です。レベル（年齢、経験、理解力を含む）分けによる個別のトレーニング計画を創り、気長く研修する事が重要です。1期で解決しようとせず、次期に渡す事も考慮すべきだと思います。

Lui sta dove? (あの人は今?)と言われないように

岡本圭司

一度でも「ハデ」な事をしてしまうと、その後それなりに頑張っても周りから「あの人は今?」と言われてしまいます。仕事でもプライベートでも!

そう言われない為に頑張るのか? 純粋に活動が楽しいから頑張るのか? ……と言うより実は頑張る必要があるのか?

話は変わりますが新聞等に掲載される時、内容はデザイナーとしての人物紹介か、活動内容のニュース性かの視点で取り上げられます。(私の場合はコレクション活動がニュースみたいです。)

本人としては、活動を継続している事を一番評価してもらいたいと思っていますが、ニュース性とは継続した行為を嫌います。一見同じに見える事も、実は本人の中では少しずつ規模も中身も変化 or 進化させています。それでやっと周りから毎回同じ事をしている様に評価されます。規模も中身も全く変わらない活動は周りから…です。例えば一度だけ大きくカラーで新聞に掲載されるより、その後小さく白黒で掲載される方が実は大変です。けれども両親ですら「今回は小さかった」と悪気はなくても言います。

私はただ自分で良いと思う服を作り発表したいと思っています。でも記者さん達は「またミラノですか〜」と退屈そうに言います。「次は月か火星で発表しろとでも言うのか!」と思います。余談のつもりが長くなりました。

少し生意気ですが、周りから少しでも注目されるのは正直、悪い気はしません。けれど、それと同時に忘れられる事をいつも気にして怖がっています。注目される為の活動ではなく、ただ自分なりに楽しんで活動した結果としての「オマケ」が周りからの評価であれば良いと思います。しかし、ともすれば「オマケ」の為の活動と頑張りのようになってしまう様に思います。

頑張ることはやはり大切な事だと思います。しかし、間違った頑張りは自分を見失う様に思います。

最近メンバーの方々から「クラブも頑張れよ!」と激励されます。決して自分を見失わない「頑張りで、本当に「あの人は今?」にならない様にしないで!!



広報委員会

広報委員長 山本一博

1. プリテン寄稿&記事アイデア大募集!!

広報委員会よりプリテンへの寄稿を大募集します。パレスクラブに関する事、メンバーに関する事なら、どんな内容でもOK。同時に面白いプリテンにする為のアイデアも募集!! 応募要領は次の通り。メンバーもメネットもコメントも、みんなで面白いプリテンを作りましょう!! 奮ってご応募下さい。

募集要項

①プリテン原稿

文字数: 400~800字
写真等: あってもなくてもOK。
投稿者名: ペンネームもOK。本名でもOK。
内容: クラブに関する事、メンバーとの交遊、家族のこと、個人的なこと等々。

②記事アイデア

こんな特集や企画をやれば面白いんじゃない? というアイデアをお寄せ下さい。内容は出来るだけ具体的に。採用させて頂いた方へは、会長から何かご褒美を出して頂けるよう、交渉するつもりです。

③応募要領

広報委員長まで FAX か E-mail でお願いします。
FAX: 075-344-8337 (株式会社ステージ気付)
e-mail: stage@mbox.kyoto-inet.or.jp
形式は不問。手書きOKです。

2. ホームページのお知らせ

既にご存知の事と思いますが、パレスのホームページが公開されています。まだ見ていない方は、是非一度ご覧下さい。アドレスは次の通り。

①パソコンから見る場合

<http://www.tamekuni.co.jp/palace/>

②携帯電話から見る場合

<http://www.tamekuni.co.jp/palace/indexk.html>

3. IT講習会のお知らせ

三役と広報委員会にて、下記の通り自由参加の講習会を実施します。パソコンに触った事のない方も、それなりに出来る方も、是非参加して下さい。

日時: 8月21日(水) 18:30~21:00

場所: 大塚商会(東洞院錦上ル西側)

講師: パレス会員有志

参加料: 500円

※参加申し込みは書記まで

役員会報告

第1号議案	日本海キャンプ支援金の件	承認
第2号議案	喘息児キャンプ支援金の件	承認
第3号議案	和敬学園地蔵盆の件	承認
第4号議案	サバエ開設ワークの件	承認
第5号議案	納涼例会臨時会費の件	三役一任で承認
第6号議案	8月第1例会スピーカーの件	承認
第7号議案	8月第2例会スピーカーの件	承認
第8号議案	スペシャルオリンピック映画会協力の件	承認
第9号議案	京都YMCA国際協力映画会協力の件	承認

8月スケジュール

役員会	7日(水)	京都ブライトンホテル
第1例会	14日(水)	京都ブライトンホテル
第2例会	28日(水)	京都ブライトンホテル
和敬学園地蔵盆	28日(水)	和敬学園

HAPPY BIRTHDAY

高岡	昇君	8月1日
宮本	眞知子メネット	8月13日
隠塚	功君	8月14日
杉本	泰造君	8月14日
田中	勝君	8月14日
加藤	圭子メネット	8月15日
西中	美任子メネット	8月16日
山本	好一君	8月17日
鈴木	信子メネット	8月17日
山岸	弘侍君	8月29日

HAPPY ANNIVERSARY

該当なし

☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆

1. ワイズワーク感謝!

リトリートセンター開設ワーク、サバエキャンプ場開設ワークのご奉仕、多くのワイズメンのご協力ありがとうございました。おかげさまで、夏のプログラムも順調にスタートすることができました。9月1日(日)にはリトリートセンター秋期準備ワークを予定しております。よろしくお願い致します。

2. ボランティアセミナー

視覚障害者の情報格差をなくすために
～京都福祉情報ネットワークの挑戦～
日時 8月10日(火) 午後6時30分～8時30分
講師 園 順一(京都福祉情報ネットワーク代表)
会場 京都YMCA三条本館マナホール
費用 無料

3. 京都YMCA平和の集い

ゲームでまなぶ 日本の平和・世界の平和
日時 8月2日(金) 午後7時～9時
会場 京都YMCA国際福祉専門学校地下ホール
費用 無料

4. 英会話ショートタイムコース(夏期)開講

日時 8月23日(金)～10月11日(金)
講師 ネイティブ講師(担任制)
クラス レベル別(初級～上級)
授業料 21,000円(入学金 6,000円)

5. YMCA東宇治少年サッカー無料体験教室

日時 9月19日(木) 午後4時15分～5時45分
9月26日(木) 午後4時15分～5時45分
会場 京都YMCAリトリートセンター
対象 小学1年～6年生

6. アウトドアクラブ後期募集

募集開始 9月11日(水) 午前10時～

以上の詳細お問い合わせ、お申込みは加藤連絡主事迄

編集後記

何だかバタバタと始まった感じの第32期。広報委員会では委員長、副委員長が正直、経験不足で頼りない。そこをカバーしてくれるは、熟練の西中、瀬戸の両ワイズと、強力な担当三役、杉本、為国の両副会長だ。ともすればガラガラと流れがちな委員会を、その的確な指摘とタイムリーなウイットと、時折見せる「凄み」でもって適度な緊張感を保ってくれる。そんな訳で今のところブリテン編集は結構楽しく進んでいる。とりあえずこれで2カ月分は出す事が出来たので、次はいよいよ「より面白いブリテン」への取り組みを始めなければならない。そこ

でハタと考えるのだが、面白いブリテンって一体どんなブリテンなんだろう。皆さんはどう思われますか??

という訳で、前のページに告知した通り、委員長の独断?で原稿/アイデアを大募集したい。「ブリテンはページ数が命」という意見も「面白かったら何でもええ」という意見も、はたまた「真面目にコツコツ記録する事が大事」という意見も、どんな意見でも結構、大いに広報委員会まで頂きたい。今期の広報委員長は、発言を聞く耳は持っているつもりだけれど、声なき意見を吸い上げるには能力不足。そこを補うご発言を当ブリテン誌上で繰り広げて欲しいと願う今日この頃だ。

(委員長)



CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

9 2002

Bulletin

2002.9.1発行
第32巻第3号通巻353号

CHARTERED 1971

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語	Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語	Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語	ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語	更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会を去る



聖句

実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、~~互負(互)~~ 御自分の内において敵意という隔ての壁を取り壊し、規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、十字架を通して両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を減ぼされました。
新約聖書 エフェソの信徒への手紙2章14～16

私の好きな言葉

京都部 部長 戸田 昌 伸

今期の部長標語と致しまして「更なる友情を求めて」を掲げさせて頂きましたが、これは私の好きな言葉の1つであります。「ENCOUNTERS ON THE Y'S MEN'S ROAD」を少し意識致しました。この部長標語で申し上げたいことは、自クラブ内の交流はもとより、ワイズメンそしてワイズメネットとして、又、YMCAに連なる者の一員として、クラブの垣根を越えてクラブ外にも積極的に交流の輪を拡げましようと言うことを意味しております。私自身26年間の長きにわたり楽しいワイズ生活を過ごすことが出来たのも、ひとえにクラブ内外に素晴らしいワイズメンとの出会いがあったからと確信しているからです。私の体験させて頂いた出会いの素晴らしさを、もう一歩突き進めて多くの皆さんと共有したいとの意図から、この様な標語にさせて頂きました。今期はその目的の為に部会をはじめとして様々な機会を提供させて頂くつもりであります。皆様の積極的な御参加がなければ交流の目的を果たす事が出来ませんので、御理解賜りますようお願い致します。

今期、京都部はその活動方針の1つに京都YMCA100周年への支援を挙げております。我々、YMCA'S MEN'S CLUBと言

うYMCAを冠するクラブにとりまして、通常からの支援は当然のことですが、早速9月1日より募金活動も開始されますし、来年2月頃よりは多くの記念行事が予定されております。又、100周年記念式典は次期大野西日本区理事の期に行われますが、今期からその下準備が必要と思いますので、御協力の程お願い申し上げます。

部と致しまして、もう1つ強力に進めたい活動方針のひとつは地球環境問題です。この夏だけを取り挙げてみましても、ヨーロッパでの100年来の大洪水やアジアでの洪水の発生そして日本の異常な暑さ等々。これらは全て地球温暖化の影響だと思われまます。このまま温暖化が進行すれば、ワイズ活動はもとより人間生活の場も消滅してしまうのではないかと危惧しております。この問題に関しましてはシンポジウム等を開催し、部内の皆さんと意見交換が出来ればと思っております。

交流の中で分かち合った友情でもって、部内の16クラブが一体となって、YMCAや社会奉仕そして環境問題に取り組むことが出来れば、大きなうねりとなってワイズ活動を展開することが出来るものと考えます。

【強調月間】 Menette

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
8月第1例会	33名	切手	0pt	8月第1例会	29,000円	8月	0円
8月第2例会	38名	累計	0pt	8月第2例会	9,000円		
在籍者数	44名	現金	0円				
出席率	95.3%	累計	0円	累計	62,000円	累計	0円

会 長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 為 国 光俊
書 記 西川 寿一
" 吉 岡 明彦
会 計 田中 一馬
" 小西 孝典

8月第1例会報告-754回-

日時 平成14年8月14日
場所 京都ブライトンホテル

大野 嘉 宏

ゲストスピーカーに元日本区理事、森田恵三氏（京都ウエストクラブ）をお迎えしての例会である。森田氏とはパレスクラブチャーター以来のお付き合いであり、パレスクラブ第7代会長として、私が実行委員長をさせて頂いた京都での第33回日本区大会の時の会長でもある。現在では西日本区組織検討委員長他、ワイズアカデミー委員など、ワイズの重責を担っているメンバーである事は皆の知るところである。

その森田氏に、今回のスピーチではワイズを離れたお話を…とお願いしたとの事、これはユーモアでもあり、しかし又、森田君の知られざる面を知るのに良い機会でもあると楽しみにしていた。

もちろんスピーチはワイズに対する熱き想いから始まり、本職の京都合同会計の所長としての、企業経営のあり方へと移っていった。

企業の発展、持続は、経営者がいかに「他に対する思いやりの心を持っているかどうかで決まる」という企業理念を強調された。この事はワイズメンズクラブの運営にも同じ事が言えると思う。

以前から森田氏は、「我、他の中にこそあれ」という言葉を座右の銘にしておられた事は知っていたが、これはお父様からの教育であったと聞く。森田氏のワイズに対する取り組み姿勢はこのあたりから来ているのだという事を改めて知る素晴らしいスピーチであった。



8月第2例会報告-755回-

日時 平成14年8月28日
場所 京都ブライトンホテル

山本 幸三郎

本日の例会は少し出足が鈍い（雨天）。いつもより流暢な司会の三原君（どうしたんや）何を感じたのか…？ゲストスピーカーの廣畑ルカさんと目が合ったのか、それとも気が合うのか（同一種？）、普段とはえらい違うやないか…。開会前に廣畑氏（以降はルカさんと記させていただきます）に会うと左肩に10cmぐらいの赤い薔薇の花。話し声を聞くとボーイ？ 今晩は楽しみです。話には聞いていたが、牧師としてか、シーメールか、大学の先生か、シャンソン歌手か、スナックのママとしてか、杉井君は最初に知り合ったいきさつを次回のニコニコでよろしく。

ルカさんの男から女（やまとなでしこ）への変身ぶりを聞くと、幼年期に男性を意識し始め、学生時代は昼間は男子学生、夜はニューハーフとして働きながら彼と同棲（昔はよくあるパターン）。その彼とも27才で別れ、同志社大学神学部を修了した28才では教会に入ったがはじめに遭い自殺未遂。阿倍野教会の村山牧師から正直に生きて、女性の為に尽くしなさいと教えられ、昨年には女性の正牧師となり教会で働いている。

ルカさんの話はやはり牧師というより、ニューハーフの女性から見た男性話。仕事と私生活の中で男の弱さを知って男性とお付き合いしていくおもしろさ？

もう1つはプロのシャンソン歌手としてのお話。E.ピアフに憧れ1年間フランスの田舎で暮らした。ピアフと言えばお墓にはファンからのバラの花束が絶えないとバリエで聞いた事があったので、ルカさんは余程のピアフ信者なのかと思って左肩のバラのタトゥー（イレズミ）の事を聞くと、一言「バラが好きだから」との返事。私の考え過ぎでした。

最後に司会者から突然に「愛の賛歌」のリクエスト。突然頼む司会者（無茶苦茶）に対し、受けて立つルカさんは凄い。譜面がなくてもエレクトーンで演奏する岡見君（べっぴんさん）も凄い。さすがにプロですなあ。本日の例会にまさに人間の生きざまを見た感じです。紹介者の杉井君に感謝、感謝でした。



和敬学園地蔵盆を終えて

日時 平成14年8月28日

場所 和敬学園

岡見 紫

今年の和敬学園地蔵盆はあいにくの大雨となりました。ずっと好天が続いていたのに…と思い、やはり日頃の行いの悪さがたたったかとも思いましたが、いやいやこれは乾ききった大地への恵みの雨と気を取り直し、昼過ぎに中央市場へと向かいました。

ワイズの集まりにはチョコチョコ顔を出してくれている歌手の八鳥容子ちゃんと甥の光君(大学1年)を供に従え材料を次々に買い込み、2時前には和敬学園に到着。元気な子供達の声と職員の方々の「こんにちは。今年も宜しく!」という声に奮い立ち、さっそく野菜等の仕込みに掛かりました。雨の中を参加してくれた私の店のバイトの安江君も加わり作業に取りかかり出した頃に田中慎一委員長が到着。委員長のテキパキとした指示の下、次々と駆け付けてくれたワイズのメンバーと共になんとか準備を整え、4時半よりたこ焼き屋を開店。同時に氷屋も開店し、皆大忙しです。雨のため室内で焼いたのですが、あまり風の影響も受けず上手に焼けてホッと一安心。列を作って待っている子供達の為にと皆で必死に焼いているうちにアッという間に時計の針は6時半を

を過ぎました。例会後も仕事をする私のため「後は任せて早く家でシャワーを浴びて例会に出て下さい。」という暖かいお言葉を委員長から掛けて頂き、感謝しつつアタフタと帰路につきました。

いつも色々なイベントで頑張っておられる方々の御苦労を実感。皆様本当にご協力ありがとうございました! 量の見通しなど次期への課題も残りましたが、それは別途、報告書と共に覚書として作成し、次期地域奉仕委員に託すことで私の和敬学園地蔵盆の任務完了としたいと存じます。



コラム

1の裏は6

期待される人 PART II

次期西日本区理事、大野嘉宏ワイズの誕生で、最近のパレスクラブは専ら次期の西日本区大会のことが話題の中心である。しかしこの話題もこのブリテンが発行される頃には、若手のエースの実行委員長就任で決着を向えていることであろう。基本的には大野ワイズへの全面支援は、メンバー間での一致した認識であるのだから。

しかし、西日本区大会をホスト(或いはCOホスト)することは大野次期理事への直接的な支援ではあるが、理事輩出クラブとしてのパレスクラブの充実・活性化こそが実は最大の支援ではないのか? 大野ワイズの実力は、今更言うまでも無く自他共に認められているが、その理事輩出クラブであるパレスクラブが低迷していると、その理事の説得力も半減してしまうからである。なにも今のパレスクラブが低迷しているというのではない。西日本区をリードしていかなければならない立場として、過去の実績に甘んじることなく、もう1歩上のクラブ作りを目指さなければならないということで、その意味では今回の次期理事誕生はクラブにとっても最大のチャンス

であり、真価を発揮する時ではないだろうか?

今期荒川会長のクラブ標語「モアークommunication」のもと、若いメンバーの努力でホームページが立ち上がり、IT化が急速に進み、また会費の値下げ等々、色々な改革が行われてはいるが、一体それは何の為にしている事なのか、全メンバーは理解しているのか?

委員長が10回叫ぶより会長の一言、会長の熱い言葉、行動力によってメンバーは動かされるものです。荒川会長には今こそ強力なリーダーシップ(モアークommunication)を発揮して、名実共に日本一のクラブを目指して頂きたい。それが次期西日本区理事 大野嘉宏ワイズへの最高の支援であり、はなむけではないか。

(荒川のタマちゃん)



あゆあゆの会の報告記

日 時 平成14年8月11日

安 岡 忠 男

早朝4時30分、空はまだ薄暗く鮎たちが私に釣られるのを待っている漁場へと車を走らせる事40分、途中あゆあゆ会の場所取りを済ませて安曇川朽木村に着く。私にしては8年ぶりの友釣りである。竿を延ばし仕掛けを準備、友鮎を泳がせる事約一時間反応なし。時代の流れを轟々と感じました。私の隣では今流行の引抜き漁法（釣れたら空中に飛ばしてタモに引寄せ取込む方法）での鮎釣り。私の場合は釣れたら岸辺に釣り糸を手繰り寄せ取込む方法で今では少々ダサイ。それに目の衰えも繊細な友釣りには全く駄目ね。

釣果（釣った魚の数量の事）3尾釣れ、3尾取り逃がしたかも？それでもじっと釣り糸を睨み鮎の動きを見つめていると携帯が鳴る。河合委員長からの氷は？串は？と数回の電話、釣果が悪いのは携帯のせいと責任転嫁している小生である。高い入魚料を払いながら午前10時には竿を収めてあゆあゆの会の場所に向かう。集合時間より少し遅れて一人二人と集まり、肝心要の河合委員長調達の食料がなかなか正午前まで届かず全員イライラ気味。焼き網サイズが分からずとも誰れ彼となく炭をいこすメンバー、川の石でバーベキューの囲い造り、各自適当に役目を分担して行く内にそれなりの野外パーティー会場の雰囲気が出来た頃に焼き肉食材が届いた。それに瀬戸夫婦にはビチビチの鮎40尾を朽木村現地まで届けて頂き誠に感謝です。さあ鮎の塩焼きと焼き肉パーティーの始まり～。私は鮎の串刺し担当 杉井、西枝両ワイズは鮎の塩焼き担当、後はワイワイガヤガヤと話の弾む事。少しお酒が入ると小生の電話魔が疼き大野次期日本区理事に「朽木村にきなは～い」とお誘いをかけた所、すぐご夫婦で来て頂き感謝です。それにしても河合、高岡両ワイズは、「今、途中峠まで来た。」と連絡があったのに待つ事1時間30分、その間の携帯連絡数十回、まだ現地につかず一体何にしとったんかいな？原因は地図を忘れて来たらしい。

何はともあれ事故も無く和気会々のEMC野外委員会の楽しい一日でした。参加者、岡見、大野、河合、小西、杉井、高岡、為国、堤、西枝、安岡、大野メネット、他ゲスト4名。



第3回ナショナルゲームに参加して

杉 井 恭 敏

8月15～18日、4年に一度の第3回スペシャルオリンピックス日本ナショナルゲームが代々木国立競技場において開催され、パレスからは加藤連絡主事と私とで参加しました。日本各地からアスリート（知的障害のある選手）約1,500名、ボランティア4,000名が揃い、京都からは選手団60余名、ボランティア40名総勢100余名が参加されました。当日は高円宮殿下ご夫妻、元大関の小錦氏を迎え、さらにウォルトディズニー劇団の方々のすばらしいオープニングが行われました。参加プログラムはサッカー、水泳、卓球、バレーボール、バスケット、ボーリングの6種。この3泊4日の間は新聞、テレビ、ラジオ等一切なく俗世間から隔離された毎日でした。そこにはアスリートがひたすら日々の練習の成果を発揮する場があり、ボランティアには様々な形で応援する関係があるだけでした。競技ですから金、銀、銅のメダルランクはあるものの、アスリートにもボランティアにとってもそれはあまり重要なものではありません。大切なことは健康な者が弱者と共に生きる社会創りに参加する事ではないでしょうか。そこには愛と奉仕に満ちた力強い絆が生まれ、明るく元気な社会が作られると確信するのです。

笑顔と体力で乗り切るパレスIT講習会

日 時 平成14年8月21日

場 所 大塚商会

山 本 一 博

今期よりスタートしたホームページ、メーリングリストを使ってモアコミするための講習会が行われた。当日の参加者は29名。そのうち、為国、田中(一)、鈴木、河合、隠塚、山本(一)の各ワイズと、ボランティアで参加してくれた田中勝コメットの7人が講師役である。

パレスのサイトについて一通り説明の後、パソコン歴によって2つのグループに分けて個別レッスン開始。掲示板への書き込みやデータの見方に取り組む。次に他クラブや京都部などのサイトを見る等、それぞれに関心のある事に楽しみながら取り組んでもらい、講師陣は横で困った時にお手伝いするというスタイルだ。何しろ楽しんで触れて頂く事を目標としていたから大成功だった。

PCのない時代を笑顔と体力で乗り切ってきたというCMのガッツ君も、最近のオンエアではPCを習得したようだし、次回のIT講習会が実施される頃には、パレスのネチズン（死語？）も過半数を超える事だろう。

講習の後は、荒川会長のご配慮で「玄々」での飲み放題の懇親会。ここでも盛り上がった事は言うまでもない。第2回の講習会が待ち望まれる。みなさんパレスのホームページ、ぜひ見て下さいね。

<http://www.tamekuni.co.jp/palace/>

和敬学園さんよりお手紙と写真が届きました！

「夏キャンプまいまいハウス」

平素は、本学園にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、当学園では毎年夏、舞鶴市の神崎にある「まいまいハウス」というところへ、幼児さんから高校生全員で、主に海水浴を目的とし二泊三日で出掛けています。今年は八月七日に出発し、終日晴天に恵まれました。又、例年より少し高い波の中、子どもたちは、まるでサーファー気取りで、楽しんでいました。

これもひとえに、いろいろな方々のご尽力と、毎年、貴クラブ様から頂く夏キャンプの支援金のお陰と、感謝致しております。



メネット強調月間企画

「夫はどれだけ知っているか？メネットの心のアンケート集計結果」

何も語るまい。そして何も詮索するまい。自身のメネットの回答を想像するもよし、家族で話題にするもよし、はたまた悲嘆に暮れるも、喜びに浸るもよしとしよう。ご回答ありがとうございました。 (編集責任者)

Q1. ダンナ様との1番の思い出の場所は？

1位：なし (4人) 2位：海 (3人) 3位：沖縄 (2人) 以下1名ずつ…穴喰ペンション/オートバイの後席/御食事処/鹿児島雅叙園/喫茶「築地」/九州唐津/神戸/御在所岳/塩山/天王山/東京金町のアパート/南海難波駅/ニューヨーク/ハワイ/比叡山/広沢池/円山公園/六甲

Q2. ダンナ様との1番の思い出の映画は？

1位：なし (14人) 2位：スターウォーズ (2人) 以下1名ずつ…ジャイアンツ/千夜一夜物語/タートルズ/タイタニック/天使にラブソング/ブーベの恋人/ボディガード/燃えよドラゴン/裕次郎の映画/ラストエンペラー

Q3. ダンナ様との1番の思い出の歌は？

1位：なし (8人) 以下1名ずつ…2人だけ/2人で作った歌/Only You/tears in heaven/江州音頭/演歌メドレー/乾杯/君をのせて/くちなしの花/恋はみず色/酒よ/歌というよりストーンズとイーグルスのコンサート/卒業写真/ダンシングオールナイト/なごり雪/ボーイハント/星影のワルツ/木綿のハンカチーフ

Q4. ダンナ様との1番の思い出の品は？

1位：指輪 (8人) 2位：なし (3人) 3位：車/時計/バッグ/ペンダント首飾り (各2人) 以下1名ずつ…大島紬の反物/北山杉/結婚までのラブレター/ツゲの櫛/トースター/別荘/ワイングラス

Q5. いつ頃のダンナ様が1番良かった？

1位：現在 (7人) 2位：結婚当初 (3人) 3位：結婚10年目の頃/結婚以来ずっと良い/良い時なし (各2人) 以下1名ずつ…結婚前/ひと昔前/妊娠中/私が入院している時/15.6年前よく別荘へ行ってた頃/子供が生まれるまで/ダンナが海外へ行ってた時/工作中/大嫌い時々思う以外の日々/何かに夢中になってる時

Q6. ダンナ様が何でも望みを叶えてくれるとしたら？

1位：2人で旅行 (4人) 2位：若返りしたい! (3人) 3位：得意の料理を週に何度か作って! (2人) 以下1名ずつ…これ以上の望みはありません!/女性として愛して!/相手の立場に立って話を聞いて!/思いやりのある心でいて!/話を黙って聞いて!/すぐ怒るな!/嫌な思い出を忘れさせて!/離婚して (冗談?)/ほっといて!/ダンナ1人で海外移住して!/家を建てて!/海外留学させて!/家政婦さんを雇って!/主婦業のお休みを頂戴!/私が主人になって奥さんが欲しい!/空飛ぶジュエタンを買って!/毎年誕生日に花束を!/店をしたい!

役員会報告

第1号議案	8月第1例会時間延長の件	承認
第2号議案	9月第1例会スピーカーの件	承認
第3号議案	京都部部会臨時会費の件	承認
第4号議案	和敬学園地蔵盆の内容の件	承認
第5号議案	リトセン閉設ワーク出欠確認の件	承認
第6号議案	留学生ホームビジット協力の件	承認
第7号議案	IT講習会実施の件	承認

9月スケジュール

役員会	4日(水) 京都ブライトンホテル
第1例会	11日(水) 京都ブライトンホテル
第2例会	23日(祝) みやこメッセ
リトセン閉設ワーク	1日(日) リトリートセンター

HAPPY BIRTHDAY

西川 和子	メネット	9月5日
三原 美耶子	メネット	9月7日
吉田 享弘	君	9月19日
加藤 俊明	君	9月28日

HAPPY ANNIVERSARY

該当なし

京都部より

広報&メネット合同パソコン研修会

日時：9月20日(金) 18:30~20:30 大塚商会
内容：京都部掲示板への書込み/デジカメの扱い方
申込：各クラブ書記を通じて広報事業主さまで

☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆

1. 京都YMCA国際福祉専門学校入試願書受付開始!
健康福祉学科に「スポーツ保育コース3年制」新開講!
※スポーツ保育コースでは、保育士資格取得可能です。
※学校説明会、一日体験入学もあります。

2. リトリートセンター秋期プログラム募集

A. 東宇治少年サッカー秋期講習、冬期講習募集!

対象：小学校1年生から6年生、男女30名
無料体験参加日あり。

B. キッズチャレンジクラブ参加者募集

対象：小学1年~6年生、男女20名

日程：10/12~3/22 (12月はお休み) 第2.4土曜日

3. 京都YMCA「会員の集い」 - ワイズ編 -

新しく京都YMCAの会員になって頂いた方々に、より一層「YMCAのことを知って頂き、早く京都YMCAに親しみ、そして担っていただく」ための新企画

対象：ワイズ入会后、約2年以内の方

日時：9月6日(金) 午後7時~9時

場所：京都YMCA三条本館 202号室

参加費：無料

内容：京都YMCAの事業内容や維持会費の用途、YMCAの国際的な働きなどを、ゲームやスピーカーを交えてわかり易く解説できるような懇談形式を考えています。

申込：電話 (075) 231-4388 FAX (075) 251-0970

主催：京都YMCA会員委員会・ワイズメンズクラブ京都部YMCAサービス主査

以上の詳細お問い合わせ、お申込みは加藤連絡主事迄。

日本YMCA同盟結成100周年 記念論文募集のお知らせ

テーマ：21世紀のYMCAへの期待、活動のあり方

形式：2400字以内

締切：2003年1月31日当日消印有効

表彰：最優秀賞/優秀賞/佳作

発表：2003年6月表彰式/提言集に掲載して発行

詳しい募集要項は三役までお問い合わせ下さい。

編集後記

初めての配属となった広報委員会。もちろん、メンバー間の情報共有と記録性の意味合いを持つブリテン発行が主たる役割である。ただ今年は、同じ意味合いのものを紙面以外でも実行できないかとの考えから、HPの作成(偏に委員長のおかげ)にも取り組み、これをメンバーに活用してもらうために、IT講習会まで行うこととなった。完全移行にはまだまだ時間が必要であるが、この流れにあることだけは間違いない。

い。ただ、このようにいくら新たな手段を利用することになっても、欠かすことの出来ないのがメンバーからの投稿文書である。投稿文書には構成まで熟慮された文章もあれば、思いついた内容を素直に書き連ねている文章もある。人の手が加わっていないだけに、書き手の性格がここに凝縮されている。昔はよく「文字に性格が表れる」と言われたが、PCを使う今日では「文章に性格が表れる」と言いなおさなくてはならないのではないだろうか? 今月もまた集まった文章を読みながらこのように感じている私がいる。(副委員長)



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

10 2002

CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

Bulletin
2002.10.1発行
第32巻第3号通巻364号
CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語 Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語 Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語 ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語 更なる友情を求めて

心球めて例会に到り境地を得て例会と去る



聖句

たゆまず善を行いましょう。飽きずに励んでいれば、
時が来て、実を刈り取ることにになります。

新約聖書 ガラテヤの信徒への手紙 6章9節

道具としてのパソコン、連絡手段としてのインターネット

広報委員長 山本一博

10月は広報強調月間だ。本来ならば「広報とは何ぞや」といったテーマで、しかるべき方にこの第1面を書いて頂くべき処と心得ている。しかしながら、今期の当クラブ広報委員会は、例年の活動以外に会長の命を受けてのIT推進に取り組んでいる。それならばいっその事、ブリティン1面でその取り組みを掲載しようではないか…、そんな話が委員会にて決定され、本来は編集長の立場である私が、臆面もなくここに書かせて頂く事をまずはお許し頂きたい。

さて、そのIT推進だが、具体的な課題として大きく2つの事を解決せねばならないと考えている。まず1つは情報の流通量が増える事によって、これまでは時間的、距離的制約との理由で潜在化していた問題が否応なく表面化する事だ。インターネットは大量の情報を瞬時に流通させてしまう。裏返せば、意思表示が無い事を否定する。知らなかった、聞いていなかった、連絡できなかったという言い訳で誤魔化せる幅をどんどん狭くする。そして個々の本音を露呈させる。批判を覚悟で自分の言葉で自分の考えを表明せねばなくなる。コミュニケーションが増える事の「明」の部分も「暗」の部分も際立たせる事になる。

もう1つの問題は、普及の過程で必然的に生じるデジタルデバイド(情報格差)だ。世界には電話すら無い地域が多くあるそうだ。そうした地域の人々に先進国と同様の生産性を求めても無理な事は明白である。しかし、だからと言って富は電話のない地域に留まってくれない。その結果、電話のない地域はますます貧困に陥る。こうした格差のミニチュア版が我がクラブでも起こるかも知れない。その場合の富とは、情報であり、コミュニケーションによって生じる楽しみであろう。

文字数の制約があつて十分に意を尽くせないが、IT推進は明らかに会長方針のモアークommunicationと合致する。一方で、前述の様に隠れていた様々な問題を表面化させる。しかしどうだろうか。ワイズメンズクラブの精神、建前からすれば、オープンなコミュニケーションは望むところではないだろうか。パソコンは全知全能の機械ではない。インターネットもまだまだ未知数の代物だ。問題があれば対策を講ずれば良い。生じるであろう問題を恐れて、便利なコミュニケーションの手段を否定するのは愚かな選択だと言えば極論だろうか。昔から道具は使いようと言う。道具に恐れをなす必要は無いのである。

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 為国 光俊
書記 西川 寿一
" 吉岡 明彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】Public Relations Wellness

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
9月第1例会	36名	切手	0pt	9月第1例会	6,000円	9月	0円
9月第2例会	31名	累計	0pt	9月第2例会	0円		
在籍者数	44名	現金	0円				
出席率	90.6%	累計	0円	累計	68,000円	累計	0円

> 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 <

9月第1例会報告-756回-

日時 平成14年9月11日
場所 京都ブライトンホテル

杉井 恭 敏

どこへ行く日本、バブルはじけて十余年、自殺者年間3万人、若者町でたむろして、年寄り元気に働いて、遊ぶ為かと思いきや、家のローンは二世帯ローン、若者ほとんどフリーター、借金返済どこ吹く風よ、そんなものは親まかせ、聞いてちょうだい見てちょうだい、親は50、60歳の団塊世代、せっせせっせと働いて、汗水流して借金返し、だけど、こんなデフレじゃ元本減らず、誰が詠んだか知らないけれど、働けど働けど我が生活は楽にならざると、じっと手を見てもショウガナイ、こんな日本に何故なった、宇野に始まり宮沢、竹下、橋本の、極悪人の三羽鳥、アメリカさんの言うがまま、プラザ合意をやったのが、今の不況を招いたとよ、(ここから九州弁になる)嘆いたところでなんとなる、現れたのは小泉さん、構造改革、構造改革とゆうけど、痛み、痛みはいつまで続く、堪忍袋の緒が切れる、信頼するもの何も無い、親に忠孝、国に忠義、こんな言葉はもう無かるとよ、なんばしよっと皆さんよ、立ち上がらんとばい、しっかと目をば見開いて、政府のやること見とかんと、ウカレとちやいかんばい。一揆じゃ、一揆じゃ。どんな一揆とお尋ねか、決まっとるがね、借金ほうびき。そう、もうやめよ、いい子ぶるのは。構造改革よりも大切なのは我々の意識改革じゃ。

大胆に言わせていただこう。禅の世界では、悪の根源は所有することにこだわることにあると言っている。裸で生まれてきたんやから、裸で土に帰ろうぜ。それで良いではないか、皆の衆。自分が世間に支えられていることに感謝して。

今日のゲストは堀池敏男先生。京都学園大学経営学部助教授。専門は「中小企業論」。何とも一風変わった先生である。下ネタ、ダジャレ何でもこなされ、むつかしい事をやさしく語られ、あたかも学生に接するがごとく。又、是非もう一度お招きしたい先生でした。



9月第2例会(京都部会)報告-757回-

日時 平成14年9月23日
場所 みやこメッセ勤業館

三尾 啓

この9月23日(月)の秋分の日、午後4時から8時まで、左京区岡崎のミヤコメッセ勤業館において第7回京都部部会が、めいぶるクラブのホストによって盛大に執り行われた。参加者は全体で450人という盛況なものであったが、会場となった2階のホールはそれに丁度相応しい広さと天井高で、見易くて、まとまりのある良いパーティーであった。この部会の次第は2パートに分かれており、前半の部では戸田昌伸京都部長の点鐘の後、白井征郎西日本区理事と酒井善弘京都YMCA総主事の来賓あいさつと続いた。白井理事のスピーチは、今期7月スタート時点で、西日本区の登録会員がとうとう1800名を割り込んだ事を重要視して、ぜひとも会員増強(エクステンション)に力を入れよう、との内容であった。酒井総主事は、あと4ヶ月で神崎主事にポストを譲られるのだが、あいさつとしてやはり、来たる来年の京都YMCA100周年への募金協力を強く訴えておられた。そしてその後、戸田部長をサポートする各主査等のスタッフが壇上にて紹介された。

その後、来年6月の西日本区大会が行われる彦根より彦根シャトークラブの面々が多勢で大会アピールに登壇し、京都部の積極的参加を強く訴えておられた。さて後半は壇上前を広くあけて若人達のダンスから始まり、その後「GYAO」という女性ばかりのジャズバンドの生演奏によるダンスタイムへと続いた。思わず昨年8月の台湾でのアジア大会を思い出した。あの時は我バレスクラブのメンバーがバンド演奏したダンスパーティーであったが、ああ、またあの時と同じ人達も踊っておられるなあと認めた時は思わず微笑んでしまった。食事の方もいろいろな国の料理を主体に、まぐろの解体ショーがあったり、めいぶるクラブメンバー自身がビールサーバーをかついでサーブしてまわったりと本当に手作りの工夫した良い京都部会であったと思う。例年なら全員に配られる目録や参加者リストも各テーブルに一部ずつ、必要な時にみたい人だけが見るというシステムで、これも地球環境と省資源の事を考えられた部会運営の方針との事であった。私も気持ちの良いホロ酔い気分、涼しくなった夜の岡崎を後にした。



リトセン閉設ワーク

日時 平成14年9月1日
場所 リトリートセンター

川勝政男

朝、8時過ぎに川上さんの会社の前で、川上さんと吉岡さんと3人で出発、9時頃には現地に到着、去年のファミリー例会以来2度目。

今年は残暑が特に厳しく炎天下のワークは、日頃のなまった体の私には、心地いい今年最後の夏を過ごすことができました。

でも1つ気になることがあります。それは出席者が8名だったという事です。確か、開設ワークは自由参加のハズ、誰も強制しない。自分の意思での参加でも？

いつも諸先輩から聞かせてもらっていた。パレスはYMCAをサポートするクラブのハズ。義務！何と嫌な言葉ではないでしょうか。仕事、家庭サービス、趣味、付き合い、諸々の理由。

思い出してもらいたい事が有ります。先輩たちの歴史を感じる建物の下で、クラブの人たちと食べたコロケ入りのカレーライス今年も格別美味しかったですよ。最近リトセンワークに来られていない先輩たち、ぜひクラブに入った頃を思い出して、来年は皆さん誘い有って開設ワークに参加しましょう。半人前のワークしかできない私が言います。都会の中では得られない爽やかな風が体をすり抜けて気持ちを開放的にしてくれますよ。ワーク出来ることに感謝、感謝。



YMCA留学生ホームビジット受入れ報告

日時 平成14年9月7日

西川寿一

9月7日中国の若くてかわいい女の子の留学生二人が我が家にホームビジットで訪れた。中国は吉林省出身の張劍虹(チョウ ケンコウ)さん22才と劉敏娜(リュウビンナ)さん21才です。久しぶりに我が家にかわいい花が咲いたひとときでした。皆さんも是非体験して下さい。数日後に二人からお礼状が届きました。その内の張劍虹さんの手紙を原文のまま掲載して報告と致します。

——張劍虹さんからのお礼状——

私が日本ホームビジットに参加しようと思ったのは、日本人の生活の様子をもっと知りたいからだ。日本に来て、もうすぐ半年になる。日本人とこんなに近距離で接触したのは、初めてだった。この体験した私は、その前後での自分の気持ちの変化が、自分でも驚くほどはっきりとわかる。

この前の私がいつまでも外人だと思って、日本社会に入れようという気持ちがあんまり強くなかったけれど、このチャンスをきっかけに、ずいぶん変わった。今回お世話になってくださった家庭はご夫婦だけ暮らしている。子供が二人いるけれど、全部結婚して、東京に住んでいる。ご夫婦と会話を通して、これはとても幸福な家庭と知れた。

中国人は漢字を書いたら、すぐ分かりやすいと言ったご主人が紙を用意して、通じなかった時によく役立てた。または、いつも料理を作らなかったご主人は、今日特別なお客さんがいたからと言って、一つだけの得意な料理を作ってくれた。ご夫婦の親切さが両親みたいだった。日本に来て以来、初めて感動された涙が出てきた。

今回の経験は私にとって、一生で忘れられないことだ。これから、日本社会にもっと入れるために、頑張りたいと思っている。

(※以上、原文のまま掲載させて頂きました。)

☆☆☆☆☆☆ 地域奉仕委員会より ☆☆☆☆☆☆☆

「和敬学園からのお礼状」

先月号にて速報をお知らせしました通り、和敬学園生より地藏盆のお礼状が届きましたので抜粋して紹介します。

- たこ焼きかきごうりおいしかたです。ありがとう。くらいなぎさ
- かきごうりがいちばんおいしかったです。小ざわさやか
- たこ焼きとかき氷とかいろいろどうも。かき氷がたべられなかった。でもたこ焼きが3つもたべました。たこ焼きがすごくおいしかったです。(へんじをください) 斉藤麻弥

※この他、樋口学園長および児童職員一同様より丁寧なお礼状が届いております。併せてお知らせ致します。



第21回九州部会に参加して

日時 平成14年9月22日

川上孝司

今期の九州部会は、熊本ジェーンズクラブのホストにより熊本YMCA阿蘇キャンプ場で開催されました。

関西からの参加は、和歌山、滋賀より10名程、京都からはトゥーピークラブより3名（内メネット2名）とパレスクラブより大野次期西日本区理事と私、私のメネットの参加でした。21日の夜、熊本入りした私は中秋の名月を熊本の町で眺めました。22日朝、熊本ジェーンズクラブのメネット二人に車で出迎えられ、熊本YMCA阿蘇キャンプ場に到着しました。会場となったYMCA阿蘇キャンプ場は、阿蘇山の外輪山の中にあり、メインキャビンは美しい森林に囲まれたすばらしい環境で、ポストアンドビームの素敵なログハウスで太陽熱を利用したOMソーラーハウス（熊本県で賞をうけた立派な建物）です。

14時30分よりオープニング、九州部評議会と九州部合同メネット会が、同時に二つに分かれて行われました。15時30分よりフリータイムで、阿蘇キャンプ場周辺散策や、乗馬体験など様々な楽しい催し物があり、17時より佐藤九州部部長の開会の点鐘で九州部会が開催されました。西日本区理事の挨拶などがあり18時に閉会、その後、

懇親パーティーが行われ、熊本ジェーンズのメンバー、メネットの手作りでもてなされ、屋外で牛肉の固まりを串刺しにバーベキュー等がふるまわれました。

屋外ステージでは音楽が始まり、会は大変盛り上がりしました。私と大野さんで何か一曲演奏しようと言う事になり、Homo on the renege、ホギーマウンテンブレイクダウン、それと今ヒットしているおじいさんの古時計、そして熊本ジェーンズクラブメンバーの堀さんのボーカルでカントリーロードを演奏し、最後は皆で大合唱となり、いつのまにかパーティーも終演を迎え、後片づけとなりました。

後片づけが終わったあともそのまま眠りにつくには名残惜しく、皆で歌を唄い、深夜まで阿蘇山にギターとバンジョーと歌声が響いておりました。



コラム

1の裏は6

「最近あった不思議な体験」 —体験から知ることの大切さ—

ちょうど1年前位からでしょうか、家の3階にへんなものを感じるようになったのです。普段は2階で生活しているのですが、夜に1人で3Fに上がるのがものすごく怖くなり、家に1人になったときなどは2Fのリビングで寝たりしたほどでした。そんなある日ふとこの話をある友人にしたところ、「自分も最近そんなことがあって、除霊してもらったところ」と言うので詳しく話を聞いてみると、ある人がいて、その人は除霊だけでなく前世や生い立ち、誰にもいえない秘密まで見抜いてしまう人であるということでした。一度あってみたいなと思っていたら、向こうからも見てあげるとのことでしたので会いに行きました。実際お会いしてみると何もかもお見通しで、「ちょうど階段上がって左の部屋に霊がいるよ」というのです。「家の間取り図もなにも持ってきてないのになんでわかるんや…これは家に来てもらうしかない」そう思った私はその日のうちに家にきてもらい、問題の部屋に入ってもらいました。ゾクッとしたなんともいえない感覚が私を襲うもの

の当然私には何も見えません。「あーそこに居るよ」といって手をかざした瞬間それまで漂っていたいやな感じが消えた気がしました。「終わったよ」それはほんの5秒くらいの出来事でした。「えっもう終わり？」テレビで見るようなたいそうな儀式もなくこちらが拍子抜けするくらいあっさり終わってしまいました。次の日以降あれだけ気持ち悪い感じがした3Fは全く何も感じなくなりました。

皆さんはこんな話信じますか？自分で体験した私は信じます。当たり前ですが、いままで半信半疑だったことも体験によって人に伝えられるまでの「確信」に変わるのです。と同時に私の中には新しい大きな興味ある世界が出来あがり、心の幅が広がりました。頭から否定せず、恐れず、面倒くさがらず体験して本当によかったと思っています。これをお読みの皆さんもこんな不思議な体験ありますか？えっ？荒川会長はワイズでの体験の方がよっぽど不思議って？なるほどねー。いろんな事が起きるものねー。まあワイズでの体験談は今度書いてもらうとして、わたしにとって「体験して知る」ことの重要性を改めて感じた本当に貴重な体験でした。

(不思議な体験屋)

京都YMCA100周年記念募金委員会報告

日時 平成14年9月6日

会長 荒川 徹

去る9月6日、YMCA三条本館にて酒井総主事、募金委員長柴田氏、パレスからはYMCA募金委員の杉本氏そして在京クラブ会長の出席のもと、100周年募金に関しての募金協力御願いの説明会が開催されました。

具体的には、目標金額は総額で5000万円（内半分くらいはワイズから）リトセンの施設を新たに建て直すというプランに支出される予定だそうです。各クラブに対しての募金額の目安としては、メンバー1人当たり3万円、任意でプラス1万円を考えて頂けないかと言う事を柴田委員長が話されました。募集期間は2002年9月から2003年12月ですが、特にこだわらないとの事でした。

また酒井総主事が来年の春に退任されるので、それまでに何とかできればとの話も柴田氏からありました。在京の各クラブの募金に対しての現状は、数年前から会費の中から積み立てられたり、100周年専用のニコニコをされたり、クラブによってまちまちですが、各会長の話からは、上記の金額に沿う形で協力しましょうとの見解でした。実際のリトセンプランの立案から施工業者、諸々に至るまで、ワイズとして意見を述べ、深く協力していかなければならないとの事で一致しています。

この件に関しては、柴田募金委員長並びに酒井総主事は、要請をして頂ければクラブに説明と御願いに参りますとの事でした。パレスクラブと致しましても、奉仕事業会計の繰越金の拠出等も踏まえて、皆さんで充分討議して頂き、YMCAに対して協力をしなければならぬと考えています。

YMCA記念募金委員会報告

記念募金委員 杉本 泰造

京都YMCA100周年記念募金委員会は、柴田委員長（さくらクラブ）のもと、目標募金額5,000万を目指して活動を始めています。その最初のスタートとして一番大きな募金額が期待されます、ワイズメンズクラブの各会長並びに代表の方々に集まって頂きました。この募金の目的は「青少年の健全な育成」のための事業を実施し、またそのための施設の拡充を目的にしています。

当日は熱心な質疑応答の中、各クラブは募金委員会が云う迄も無く、ワイズメンズクラブの使命として、募金にはすでに対応しているクラブが殆どで、募金額もメンバー1人3万円の予算を組んでおられるクラブが多く、募金委員会は意を強く致しました。又個人も1人1万円以上を目標にお願いしたいと云う委員長の願いも受け入れられ、目標募金額5,000万も、ワイズの協力が大きな力となって来ます。

募金もすでに、京都YMCA理事長佐々波元彦氏をはじめ、兼松豊牧師、募金委員長柴田善朗氏、同副委員長山田高士氏（リーダーOB）等の方々より多額の募金が寄せられており、100周年記念募金の心強い歩みであります。

YMCA会員集会(入会2年未満の方々へ)報告

日時 平成14年9月6日

YMCAの報告文より

当日はワイズの新入会員の方が15名、その他Yサ委員長等を合わせて約30名のご参加者を頂きました。お茶を飲みながらYMCAの活動内容等、予め頂いたご質問にYMCA会員委員会の方々とスタッフの神崎、藤尾が答える形で進められました。

その後ウイングワイズの藤田さんや、日本語のボランティアチューターの正田さんより、YMCAのプログラムに会員として参加することによって味わうことの出来た楽しさと意義を、それぞれ経験を通してお話し頂きました。一方、YMCAスタッフの藤尾は、担当の体育事業への思いと意義を話しました。

その後の懇親会には15名程の参加で少し寂しかったのですが、その場での皆さんよりYMCAの事が良く分かって良かったという評価を頂戴しました。ご参加頂いた皆さん、ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願い致します。

京都YMCA働きとしての専門学校

加藤 俊明

YMCAの活動紹介と言うことで、今回は専門学校の紹介をさせていただきます。現在、京都YMCA国際福祉専門学校は、昼間の二年制の「介護福祉学科」と「健康福祉学科」にて、高齢化社会に対応した人材養成、具体的には高齢者のケアにあたる介護福祉士の養成と広く身体活動を通じて全ての人の健康に関わる指導者の養成を行なっています。

2001年からは、夜間二年制で社会人を対象に社会福祉士の養成を行なう「社会福祉学科」をスタートし、さらに来年度からは健康福祉学科の中に保育士を養成する「スポーツ保育コース」を設けます。そうなれば福祉の3つの国家資格「介護福祉士」「社会福祉士」「保育士」が取得できる様になります。

ただ、現在の経済状況の中では、再就職の為に資格を取りに来ている者や、学費の工面に苦勞する者も増えてきております。学校も奨学金を用意していますが、予算の関係で支給人数も限られており、出来る限り支援しても十分希望に応えられないという悩みがあります。また、金銭的問題以外にも、様々な問題を抱えた学生への心のケアが近年の課題となってきています。築後30年以上になる施設の老朽化問題も、早急に対策を立てなければならぬ問題となってきています。

しかしながら、このような様々な問題を抱えながらも学生たちは明るく、そしてまじめに勉学に励んでおります。パレスクラブの皆さんも、京都YMCAの大切な働きの一つとして専門学校のことを知って頂き、是非とも関心を持って頂きたいと願っています。

役員会報告

第1号議案	10月第2例会スピーカーの件	承認
第2号議案	リトセンオータムフェスタの件	承認
第3号議案	ポテトファンドの件	承認
第4号議案	書記連絡方法の件	承認
第5号議案	西日本区大会の件	承認
第6号議案	臨時総会開催の件	承認

※詳細はホームページもしくは所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。

10月スケジュール

役員会	2日(水) 京都プライトンホテル
第1例会	6日(水) リトリートセンター
第2例会	23日(水) 京都プライトンホテル
ファンドポテト販売	20日(日) 京都中央卸売市場
第2回IT講習会	30日(水) 大塚商会

HAPPY BIRTHDAY

永井邦子	メネット	10月4日
荒川徹	君	10月10日
杉本笙子	メネット	10月10日
岡見紫	君	10月21日
井上均	君	10月29日
井上智子	メネット	10月29日

HAPPY ANNIVERSARY

野崎ひろ恵	君	10月3日
杉井恭敏・静	夫妻	10月5日
田中一馬・依里子	夫妻	10月5日
杉本泰造・笙子	夫妻	10月9日
菊井正弘・豊子	夫妻	10月10日
田中勝・淑子	夫妻	10月10日
西川寿一・和子	夫妻	10月10日
山田高弘・美雪	夫妻	10月10日
為国光俊・智子	夫妻	10月23日
西枝攻・美佐子	夫妻	10月29日
西中日向・美任子	夫妻	10月31日

お詫びと訂正

ブリテン9月号のHappy Birthdayの部分で、吉田享弘君のお名前にミス入力がありました。
誤：吉田享弘君 → 正：吉田享弘君
謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正をお願い致します。

(広報委員長)

編集後記

「一味違う広報(ブリテン)委員会」

今期の素晴らしい委員長、山本一博ワイズのリーダーシップのもと4回のブリテンが発行できた。これもパレスメンバ

☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆

1. 京都YMCA国際協力キャンペーン

10月1日～11月末の期間を京都YMCA国際協力キャンペーンとして国際協力募金を行います。皆様方の暖かなお志のもとに、世界の人々が国境や民族を越えて、人間らしい生活の出来る平和な世界を作り出すために使われます。

京都YMCAでは、ここで集まった募金を日本YMCAを通して、開発途上国の人たちや女性の社会参加自立への援助や、明日の国際社会を支える指導者養成のために使用いたします。また、自然災害被災者救援などの緊急支援の為に、若者に異文化に触れ、平和や貧困について考えてもらえるスタディーツアー実施を支える為に使われます。

例会にて募金袋を配らせていただきます。どうか皆様方の暖かな心をお待ちしております。また、街頭募金を11月10日(日)に予定いたしております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. ウィンタープログラム受付開始

今年も最高の冬をYMCAですごしませんか。スキーキャンプ、ウエルネススクール、鉄棒・とびばこが好きな教室を開きます。お友達をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。

〈スキーキャンプ〉

会員優先受付 11月5日～11日(日曜日を除く)
10時～19時 電話231-4388
一般受付 11月12日 10時～

〈ウエルネススクール/鉄棒・とびばこが好きな教室〉

会員優先受付 11月1日 10時～
一般受付 11月6日 10時～
ウエルネスセンター三条6階
電話 255-4709

※詳細は加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

広報委員会より

第2回笑顔と体力で乗り切るIT講習会を開催します!

日時：10/30(水) 18:30～20:30

会場：大塚商会(東洞院錦上ル西側)

内容：1. ホームページとメールの仕組み

2. パレスホームページの使い方

(予定表、出欠連絡、掲示板の利用方法等)

※参加申込みは書記まで。

一、その他ワイズメンの御陰である。又、担当三役の杉本副会長、為国副会長が委員会にべったりで感謝。委員会も為国印刷の校正にてらくちん、らくちん。お兄ちゃんの為ならエンヤコラ、エンヤコラ。(西中)



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

11 2002

CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

Bulletin

2002.11.1発行
第32巻第4号通巻365号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語 Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語 Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語 ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語 更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会と去る



聖句

命を愛し、幸せな日々を過ごしたい人は、舌を制して、悪を言わず、唇を閉じて、偽りを語らず、悪から遠ざかり、善を行い、平和を願って、これを目指せよ。

主の目は正しい者に注がれ、主の耳は彼らの祈りに傾けられる。主の顔は悪事を働く者に対して向けられる。新約聖書 ペテロの手紙1 3章 10-12

僕のワイズドップリ論

東京グリーンクラブ会長 浅見隆夫

年齢60を越えた私がメンバーから「タカオちゃん」と呼ばれている事知ってる？ 私もお返しにクリちゃん、ハッチちゃんと呼んでるけど。

私の叔父がYMCA 英語学校に通い、栗原さんを含む仲間が毎週のようにワイワイガヤガヤ。当時紅顔美眉の私は小学生。お兄さん達の使い走りをしたり、周りで遊んだりしていました。時移り江東クラブのエクステンションで栗原さん達がグリーンをチャーターする折りに誘って頂き、厚顔に変貌、現在に至りました。

お誘いの言葉「月に2度麻雀、お酒の好きな人はもっと楽しい集まりがあるんだ。」私は選手で酒はからきし駄目でしたが、麻雀のお誘い断ちがたく入会。記念講演は皆様良くご存知の小堀憲助氏の「親睦なくして奉仕はない」でありました。

11PMで麻雀、釣り、スキー等の遊びを担当していた大橋巨泉氏を評して「仕事を遊びにした男」とありましたが全く共感、私の人生観は何をするにも楽しもう、この世は楽しむ為にある！と思っています。徳川家康の

「人の世は重荷を負うて坂道を登るようなもの」な～んで1度も考えた事ありません。

ただし遊びにもルールはあります。「義務を果たしてこそ権利がある事を悟ろう」年頭に際して新手帳の予定欄にYMCAとY'Sの日程表を先ず書き込みます。冠婚葬祭以外は先約優先、この原則は曲げません。

もう1つ、将棋、麻雀、ゴルフのニギリ、例え100円でも負けたら悔しがらせる同じ土俵に相手を乗せる事。チャリティラン、チャリティゴルフ、音楽会、講演会等全てメンバーに同じ価値観を持たせる事が出来た時、その段階でプログラムは成功間違いなしです。

その任が終わった時、イヤー楽しかったね。次は何をやるか！ リーダーとはその方向へ誘導する任を果たせる人と考えています。

たとえ失敗しても、その反省を皆で笑いながら出来るようにしたいものです。笑う門には福来たる。さあ遊びに行こうぜ！

あ～あ駄目じゃんタカオちゃん。笑って笑って笑顔！

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 爲 國 光俊
書記 西川 寿一
" 吉岡 明彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】BF

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
10月第1例会	19名	切手	0pt	10月第1例会	0円	10月	0円
10月第2例会	38名	累計	0pt	10月第2例会	20,000円		
在籍者数	44名	現金	0円				
出席率	95.3%	累計	0円	累計	88,000円	累計	0円

10月第1例会(リトセン例会)報告-758回-

日時 平成14年10月6日
場所 リトリートセンター

平井久夫

屋外のワークの時、一番気掛かりなのは当日の天候と出席者の人数です。この時期はクラブはもとより、地域社会や学校の行事が目白押しです。そんな中、多くのメンバーの参加を望めないのが、このリトセン例会です。しかし、和敬学園からは元気で明るい園生が多数参加、ワークや昼食時に活気を与えてくれました。当時は夕方から雨の予報のもと、午前9時、屋外チャペルで開会を会長が宣言、続いてYサ委員長よりスケジュール及びワークの内容が告げられました。9月には閉設のワークが行われて来期を迎えるばかりに整えられた中、我々に課せられた内容は炊事場周辺の足周りの整備です。閉設時にパレスクラブが担当して舗石を敷き並べましたが、それだけでは長期の使用に耐えられないという事から、それをモルタルコンクリートで固めるというのが西岡主事の指示です。内容を即理解したメンバー及び園生は、工種、工区を分担、誰がリードする訳でもないのにスムーズにスピーディに作業を進めました。その後、予定外の区域にも工事を着手、準備したセメントが足りなくなりました。急遽、会長が調達に走ってくれて工事完了となりました。これぞパレスメンバースピリット!! 施工もプロ級です。仕上がった時点で河合君の厳しい竣工検査が始まりました。ただ一箇所どうしても見逃せないというクレームが付き、手直しを命じられました。そこで皆が検討した結果、昼食の時間も迫っているという事で、この手直しは来年のこの時期にやるという事を次期会長の堤君に引き継いで一件落着となりました。快い汗を流した後は、いよいよ昼食です。冷えた飲み物で喉を潤し、各々が得意の分野で腕をふるった焼肉、焼ソバ、サケのチャンチャン焼きを囲んで歓談、午後1時半、閉会が告げられました。



10月第2例会報告-759回-

日時 平成14年10月23日
場所 京都ブライトンホテル

山田高弘

荒川会長の点鐘で定刻通り開会。今回のスピーカーはメンバーの隠塚功ワイズ。拍手と笑い声中、入場されました。会長より11月の100人例会、ワイズデーの案内などのお話の後、和敬学園の中川昇君と松竹裕太君への奨学金贈呈。将来に向けて大きく羽ばたける様、パレス一同心より応援を送りたいと思います。食前の祈祷に続き、加藤主事より国際協力基金難民街頭募金の案内、ファンド委員長よりジャガイモの売上が予想を上回ったとの感謝の報告、EMC委員長からメンバー増強活動のアピール(日本一のパレスを目指して頑張ろうとの熱い思い!)、次期西日本区大会準備委員長より金沢クラブを訪問する旨の報告、書記よりウイングクラブ15周年の案内などが報告されました。



さて、本日のスピーカー隠塚功ワイズは、この度京都市長よりNPOアートテックまちなみ協議会の活動による功績を称えられ表彰を受けられました。今回はその表彰に至るまでの様々なエピソードをお話下さいました。NPO活動を始めて3年目、我々に馴染み深い祇園花見小路が新しく生まれ変わり、歩く人々にやさしい情緒ある街並みを呈しています。この街並みづくりに隠塚ワイズを理事長とするNPO団体が大きく貢献されたのです。

市民参加の町づくりは一朝一夕には出来ず、ご苦労も多々あったようです。

世の中が少しずつ変化し、数社のベンチャー企業が参加したNPOが中心になって動いてきた結果、行政サイドの案に市民が参加する形から、市民が作った案に行政が参加する方向へ移行出来た事が大きな成果であり、今回の祇園町美化へとつながったとお話されました。また、結果として市民案の方が完成後の管理コストも安くつき、商店は売上が3割アップ、ひいては今後の財政再建に寄与すること大なりと明るい見通しが嬉しい報告でした。

我々も「祇園恋いしや、だらりの帯よ…」つつられて何とやらにならぬ様、心引き締めて仕事に励みましょう。隠塚ワイズには我々の愛する京の町が住みよい町になる様、頑張ってくださいと思います。

ホームページで当選の河合ワイズ、大好きな焼酎を贈られてご満悦。川上ワイズのシンクタンクでの講演報告等々、ニコニコタイムで無事例会終了。今回は8組ものアニバーサリーで賑やかでした。

ファンドポテト販売報告

日時 平成14年10月20日
場所 京都市中央卸売市場

吉岡明彦

ファンド事業の主要行事である恒例のファンドポテト販売が、今年も10月20日の日曜日に京都中央市場にて早朝より行われました。

日曜日の早朝にもかかわらず配達に御協力いただける多くの皆さんにお集まり頂き、事前の予定通り山岸委員長・岡本副委員長・河合君・川上君・西中君・吉岡の車に分乗、じゃがいも・かぼちゃの配達が行われました。また、予約された方も続々とご自分のじゃがいも・かぼちゃを引き取りに来て頂きました。

今年も、各町の秋祭りと同なり大型トラックでの御協力が少なく心配されました。しかし委員長はじめ各委員の皆さんの事前の細かい打ち合わせの下、正確な配達プランや皆さんの元気一杯の頑張りのおかげをもちまして、雨にも遭わずお昼頃には主だった配達が完了しました。配達が完了した後戻って来られた参加協力されたみなさんと、中央市場にて簡単な軽食を取りながら「みんなで頑張った」という共通の意識の下、歓談に花が咲きました。

「ファンドポテト販売」という一つの行事ではありま

すが、その行事において皆さんが各々参加することでメンバー同士の親睦を深めることが、今期の会長方針である“モアコミュニケーション”ではないかと思えます。特にこの行事のような屋外活動への参加はとても素晴らしいと思えます。朝早くからの活動は、気持ちよかったです。

ポテト販売の数量的には、満足ではありませんが去年並の成績が上げられたのも、去年同様大量に買っていただいた方々や委員長・副委員長をはじめ、当日参加して頂いた皆さんのおかげだと感謝しております。来年には、もっと多くの皆さんが参加され、今年以上の成績が残せますように願います。みなさん朝早くから、本当にありがとうございました。



コラム

1の裏は6

参画しましょう

1978年、今から24年前にパレスクラブは日本区大会のホストをしました。約1000名のお客様を京都グランドホテルに迎えたのです。

昼の1時に登録開始、登録をすませた人は、まず部屋でシャワーを浴びたり、着替えをしてもらったりと、ゆっくり寛いでもらいました。ロビーでは舞妓さんと一緒に記念撮影やら、伝統工芸の名工達による工芸品の製作の実演、お茶席、カクテルやいろんなドリンクの100円サービス。もちろんメンバーがマーシャル(大会に関するご案内、あらゆるご相談係)になったり、バーテンダー、ウェイトレスになったりしました。

いよいよ大会の開始。府警音楽隊の先導でクラブバーナーの登場。市長や理事の挨拶、何やかやのセレモニーが終わりディナータイム。乾杯が終わると一斉に皿を持って料理の前に殺到するビュッフェはやめようと、一卓10名のテーブルサービスにしました。その食事もある事前の例会をグランドホテルで行い、リハーサルを兼ねて味はどうか、量は適当か試食済。当日メンバーには食事の席はありません。舞台では、あのNHKの宮本アナウンサーの司会で、舞妓さんの踊りや京都人で

もめつたに見られない六斎念仏踊り、斉藤英美さんの多彩なエレクトーン演奏、笈田敏夫さんのジャズスタンダード。ああ、お客さんになりたいなあと思えるようなホストぶりでした。メンバーは遠来の友に大会と京都を存分に楽しんでもらおうと、裏方に徹したものでした。

翌日、満足したような他クラブのメンバーを送り出してしまうと、ほっとすると共に何か胸にこみ上げてくるものがありました。

さて、来期パレスクラブは金沢のクラブと合同で西日本区大会をホストしようとしています。開催地は京都ではなく金沢で、他のクラブと合同で。うむう〜。

全く大野ワイズらしいですね。彼はパレスに少し無理かなと思える難題を持ってきて、皆でアイデアを出そうと言う。それは彼がパレスのメンバーを、心底から仲間を信じ切っているからです。

どんな大会にするかはこれからの事ですが、三人寄れば文殊の知恵、パレスには44名もの人がいるのですから。困難を乗り越えた時に一皮剥けてきたのがパレスです。今回も苦勞を楽しみながら、メンバー全員が参画(参加ではありません)しようではありませんか。

(老兵)

第7回びわこ部会に参加して

日 時 平成14年10月20日

杉 井 恭 敏

10月20日(日)第7回びわこ部会が、奥村びわこ部部長のもと、近江八幡ワイズメンズクラブのホストで琵琶湖のほぼ真中に位置する沖島(おきしま)にて開催されました。長命寺(近江八幡)からチャーター船に乗ること20分、万葉集にも歌われている沖島がありました。島は150世帯約500名の方が漁業一本で暮らしておられます。電気、上下水道完備、公的な施設は公民館と小学校があり、生徒は5名に先生が9名とか。会場は体育館で行われました。来賓の挨拶のお一人に、9月まで京都YMCAにおられた祝部康二氏が滋賀YMCAの総理事として御臨席になっておられました。今後のご活躍を祈念いたします。

記念トークは「沖島に学ぶ琵琶湖のくらしと歴史」と題し、嘉田由紀子様(京都精華大学教授)が3人の住民の方と、40年前の写真を皆で見ながら過去と現在を比較しての話し合いがもたれました。以前は琵琶湖の水で洗面をし、野菜を洗い、又飲料水にと、まさに命の水と利用されていたのが、最近はおみなが流れ着き汚れてきていると訴えられました。琵琶湖の環境を私たちの身近な問題として関わって行きたいものです。

島を離れるときに感じたことは、時計の要らない、のんびりした長命爺?なところでした。参加者は荒川、大野、平井、杉井の4人でした。



金沢3クラブ合同例会参加報告

日 時 平成14年10月26日

山 本 一 博

次期西日本区大会の合同ホストとなる金沢の3クラブ合同例会に、大野次期理事、田中慎一準備委員長と私の3名で参加して来ました。当日は山本中部部長の公式訪問の日でもあり、また、東京からはYMCA同盟の中上氏も参加されておりました。

例会では大野次期理事より西日本区大会成功への熱いアピールがありました。例会の前後には金沢および金沢犀川クラブの会長と田中委員長との間で具体的な合同ホストに向けた話し合いが行われました。昼食のバーベキューを美味しく頂き、特急雷鳥に乗って約2時間、夕方には京都に帰って参りました。



第2回笑顔と体力で乗り切るパレスIT講習会

日 時 平成14年10月30日

爲 國 光 俊

今では車社会という表現が死語となりつつあるように、若者は18歳を迎えると、あたりまえのように車のライセンスを取得する。彼らにとって免許を取得することは自分の世界と行動範囲を拡げ、新たな好奇心を満たすのに必要不可欠な手っ取り早い手段なのだろう。車社会の黎明期を体験してきた世代にとっては考えられないことである。



時は巡り、当然のようにIT化社会も当たり前時代の目前に到来しているのではなかろうか。一年前に、この著しい進歩を誰が予測できたのだろうか。パレスクラブのホームページのカウンターは半年も経たないうちに6000番台を突破し、会員専用BBSでは、白熱した議論が連日連夜、討議され続けている。もはや、パレスクラブでもインターネットを取り巻く環境は、私たちの社会活動の一部として無意識の中に取り込まれてしまっているのである。

パレスクラブの2回目のIT講習会は、自クラブのホームページを情報交換の場として活用できることをテーマに、1回目と同じく外部講師に頼ることなく行うこととなった。パソコンの操作はさることながら、インターネットの仕組みやホームページの役割を理解し合おうという発想である。おっかなびっくりで手探りで始めた1回目の講習会の時点では、パソコンって何ができるのと言った質問が多かったのが、ここ最近では、メーリングリストの仕組みが知りたい、インターネットの概念はどうなっているのと、かなり突っ込んだ質問になってきており、クラブのホームページの内容とIT化の意義を再認識する具体的な講習となったわけである。言うまでもないが、もう後は、習うより慣れろではなかろうか。電話やFAXとは違った新しいコミュニケーションの手段が自分の世界と行動範囲を拡げてくれるに違いない。



地域奉仕委員会より

和敬学園地蔵盆たこ焼きスタッフご苦労さん会

(別名：ロータリーピア88バーベキュー大会)

—日時—平成14年10月20日—

小西孝典

夏の残り香が消え去り秋に移る寸前の9月29日(日)に、地域奉仕委員会の岡見さんを中心に行われた8月末の和敬学園地蔵盆たこ焼きスタッフのご苦労さん会が、琵琶湖のヨットハーバー・ロータリーピア88で行なわれました。

田中慎一地域奉仕委員長が企画実行して、その時お手伝い頂いたゲストの方々やパレスのメンバー・メネット・コメットさんと共に、緑鮮やかな芝生でバーベキューをしました。和敬学園でたこ焼きを焼いた時は汗だくでしたが、まだ1ヶ月ほどしか経たないのにBBQの準備に炭をいこしていても汗もかかず、大変過ごしやすいのは、季節の移ろいの早さを感じさせられました。本当に日本の四季と自然に感謝です。

美味しい食事と美味しいお酒、そして慎一君のヨットでのクルージングと楽しい一日でした。もちろん田中委員長にも感謝です。

しかし当日はせっかくのBBQなのに生憎の曇り空、途中少し降り始めてしまいました。僕はいつも晴れ男なのに…。そこで河合さんと一緒に雨男探しをしました。結果は…内緒です!

参加した方はメンバー15名、メネット3名、コメット3名、ゲスト6名の総勢27名でした。



EMC委員会より

EMC100人例会へのご協力をお願い!!

EMC委員長 河合信也

今期 EMC 委員会では、荒川会長の会長方針のもと、メンバー増強を最大目標として9名のメンバー獲得を目指しています。その為には、メンバーの皆さんに一人でも多くのご友人、お知り合いの方をご紹介して頂かなければ到底実現出来ません。

本来ならば、いつの例会にお誘い頂いてもいいわけですが、EMC 委員会としましては11月をまずはメンバー獲得強調月間とし、11月第2例会に荒川会長紹介の小幡真一郎様をゲストスピーカに招き、審判員からみたJリーグ面白裏話などのご講演を企画しました。

各メンバー最低1名以上のご友人、お知り合いの方をお誘い頂きたいと思います。パレスの活性化、又、次期大野西日本区理事誕生に伴う西日本区大会ホストクラブとしての体制強化の為にも、是非とも御協力の程、宜しくお願い致します。

◆◆ 小幡真一郎様プロフィール ◆◆

京都市伏見区出身

元紫光サッカークラブ・日本サッカー協会1級審判員・国際審判員主審登録

Jリーグ開幕試合「ヴェルディ対マリノス」主審。

トヨタカップ、キリンカップ、オリンピック、ワールドカップ予選等、数々の主審副審を努められる。現日本サッカー協会審判委員会強化部会部員・日本サッカー協会審判インスペクター・関西サッカー協会審判委員会委員長・京都府サッカー協会審判委員会委員長

広報委員会より

皆さんからの原稿/写真をお待ちしています!

広報委員長 山本一博

荒川会長のターゲットでありますモアークommuniケーションを具体化すべく、広報委員会ではホームページやブリテンにて、各委員会の動向、メンバーの情報などをどんどん掲載して参りたいと考えています。今月も地域奉仕委員会の非公式行事?や、EMC 委員会からのPRを掲載させて頂きました。

既に何人かのメンバーや委員会からは写真などをお送り頂いています。必ずしも原稿の形でなくても結構です。写真と簡単なメモだけでもOK。ご自身の事、メンバーの事、委員会での出来事などなど、PR とコミュニケーションにブリテンをもっとご活用下さい!!

また、次月号からは、大野次期理事の動向や西日本区の情報などを掲載するコーナーを企画しています。ご期待下さい。(一馬事務局長、出番ですよ!)

役員会報告

第1号議案	11月例会ゲストの件	承認
第2号議案	YMCA 100周年記念募金の件	
各委員会の検討課題として次回役員会で再検討とする		
第3号議案	第2回IT講習会の件	承認
第4号議案	次期EMC主査依頼の件	承認
第5号議案	たこ焼き器購入の件	承認
第6号議案	西日本区大会PT委員選任の件	承認
第7号議案	西日本区大会PTへの仮払金の件	承認
第8号議案	和敬学園奨学金の件	承認
第9号議案	10月のHA/HBの件	承認
第10号議案	ポテトファンドの件	承認

※詳細はホームページもしくは所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。

11月スケジュール

役員会	6日(水)	京都ブライトンホテル
第1例会	13日(水)	京都ブライトンホテル
第2例会	27日(水)	京都ブライトンホテル
青少年センターバザー	3日(日)	青少年センター
京都部ワイズデー	10日(日)	国際協力街頭募金
YMCA オータムフェスタ	17日(日)	リトセン

HAPPY BIRTHDAY

爲 國 智 子メネット	11月10日
吉 岡 明 彦君	11月13日
川 上 ひで子メネット	11月17日
西 川 寿 一君	11月19日

HAPPY ANNIVERSARY

田 中 慎 一・増 美 夫妻	11月1日
小 櫻 武 彦・八重子 夫妻	11月3日
三 原 隆・美耶子 夫妻	11月3日
荒 川 徹・恵 子 夫妻	11月10日
山 本 幸三郎・加鶴子 夫妻	11月12日
宮 本 隼 史・眞知子 夫妻	11月15日
小 西 孝 典・和 子 夫妻	11月17日
鈴 木 俊 一・信 子 夫妻	11月20日
堤 雄 次・良 枝 夫妻	11月28日
隠 塚 功・文 香 夫妻	11月30日

編集後記

言葉というのは恐ろしい。書いた本人の本意とは全く違う受け取り方をされる事がある。先月号でも思いもよらない指摘を受けた。そういう意味ではブリテン編集は本当に良い

☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆

1. 世界 YMCA・YWCA 合同祈祷集会

毎年11月第2週は、世界 YMCA・YWCA 合同祈祷週として、同じ日に全世界に広がる両団体で熱い祈りがさげられます。京都 YMCAでは、今年も昨年につづいてYWCA と合同で祈りのひとときをもつべく計画しております。

と き 11月16日(土) 午後6時30分～8時

会 場 京都 YWCA

参加費 700円(軽食付き)

テーマ 「異なる信仰をもつ人びとと共に生きる」

2. リトリートセンターオータムフェスタ

森の中で美味しいお店がお待ちしております。ご家族やお友達と秋の自然をお楽しみください。

と き 11月17日(日) 午前11時～午後3時

場 所 京都YMCAリトリートセンター

入場料 大人2000円 小学生1000円 幼児無料

※チケットをお求め下さい。

3. 国際協力募金街頭募金にご参加を

11月10日(日)は京都 YMCA 国際協力街頭募金の日です。このプログラムは京都 YMCA 国際協力キャンペーンの一環として行われます。

と き 11月10日(日)

集合：午前11時45分

京都 YMCA 三条本館

募金場所 三条河原町ほか市内10数ヶ所 ※雨天決行

募金時間 午後12時30分～午後2時30分

※街頭募金終了後、三条本館にて国際理解プログラムが行われます。昼食は済ませてご参加ください。

4. スキーキャンプ会員優先受付

11月5日(火)～11日(月)10時～19時

※10日は閉館日のため除外

上記に限りFAX・Eメールでも受け付けます。

電話 (075) 231-4388

FAX (075) 251-0970

E-mail camp@kyotoymca.or.jp

※12日(火)からは会員外の方の受付が開始されます。お電話のみの受け付けとなります。

※以上、詳細は加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

学びの機会だと思っている。けれども正直言って、毎月めんどくさいなと思う不埒な自分がある。でも、誰かがやらなくちゃ。今期はあと何回だっけ？メンバー各位に「面白い」「役に立った」と言ってもらえるよう、いろいろ工夫する事を楽しみに変えて頑張るつもりだと思っている。(委員長)



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

12 2002

Bulletin

2002.12.1 発行
第32巻第5号通巻366号

CHARTERED 1971

CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語 Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語 Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語 ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語 更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会を去る



聖句 彼は光ではなく、光について証しをするために来た。
その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。
新約聖書 ヨハネによる福音書 1章 8、9節

100人例会を終えて

EMC委員長 河合信也

EMC委員会としては今回の100人例会の趣旨を、メンバー増強及びワイズメンズクラブを知らない人に知って頂くという事で、他クラブにアピールして単なる数合わせで100人にするのでは無く、あくまでメンバー候補のゲストに拘りました。各メンバーが一人ずつ知人を連れてくる事が重要と考え、正直80人位がボーダーラインとと思っていましたが、実際メンバー数を遙かに越える52名というメンバー候補のゲストに出席して頂き、101人での例会が実現したことは、大変意義のあることだと思います。何と云っても100人の迫り感や緊張感を体感出来たことの感動、そしてゲストに失礼の無いように、また魅力的なクラブと思ってもらえるにはどうすれば良いのか？そんな気持ちをメンバー全員が持つことによって、メンバー自身の意識改革にも繋がったのではないのでしょうか。

この長引く不況の中、奉仕クラブどころではない、メンバー自身が留まるのに必死なのに、メンバー増強よりもクラブ内の充実や活性化を計るべきとの意見もありますが、逆にその為にメンバー増強が必要であるという事を今回の100人例会で実感しました。

クラブの存続は常に新しい血を注入し続ける事であり、パレスクラブが常に西日本区でリーダー的な役割を担ってきたのは先輩諸氏がそういう意識を持ち続けてきたからであります。それを怠ると衰退の一途をたどるのは明白です。今こそ若いメンバーはそのパレスの伝統を継承し、またベテランメンバーはそれを思い起こす時ではないのでしょうか。魅力のある人が集う所には人は集まってくるものです。各メンバーが今一度自己研鑽に励み、マナーやルールを守り、義務を果せる良質なメンバーであることを自覚して、クラブを誇りに思える環境の下、今回来て頂いたゲストを一人でも多く入会してもらえようというフォローアップしていこうではありませんか。

EMC委員会の過去のアンケートで、適正なメンバー数は70名という意見が約半数ありました。大きな目標ではありますが、それぐらい目指しても良いのではないのでしょうか。迎ってきた35周年の為に、また、次期大野西日本区理事輩出に伴う、西日本区大会の合同ホストという大きな行事を成功に導く為にも……。

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 爲國 光俊
書記 西川 寿一
" 吉岡 明彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】EMC-M

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
11月第1例会	37名	切手	0pt	11月第1例会	0円	11月	0円
11月第2例会	42名	累計	0pt	11月第2例会	44,000円		
在籍者数	45名	現金	0円				
出席率	97.7%	累計	0円	累計	132,000円	累計	0円

11月第1例会報告—760回—

日時 平成14年11月13日
場所 京都ブライトンホテル

小 櫻 武 彦

山口組日本全土を制覇・・・？然して日本国は安泰か？正に世界の現状はこんな例えの如く展開しようとしている、というのが今日の例会でのテーマである。

本日のゲストスピーカー、龍谷大学教授、坂井定雄先生は東京都立大学理学部物理学卒業にして共同通信社に入社、南極から中東と世界各地の取材活動を経て55才で大学教授になられた1936年生まれの人材である。

杉本ワイズもゲスト紹介でパレスの国際感覚のレベルが上がればと、よく話を聞くように強調！坂井先生に話を取り持って頂いた蒲生野クラブの龍谷大助教授、豊島正利ワイズもご一緒に出席いただいた。

先ず話はイラク問題、アメリカ（ブッシュ大統領）が悪の3枢軸と指弾した国の一つであるイラクを攻撃したい気持は当然。サダム・フセインがミサイル、核、生物兵器等の大量破壊兵器に対する国連の査察を受け入れなければ即戦争、ブッシュ大統領の望む処となるであろう。しかしその後のニュースによるとフセインは査察を受諾、11月27日の第一団18人を皮切りに、年内に100人近い専門家の査察が入ることになりその内容が注目されている。

先のニューヨークのテロに対してアメリカがアフガンを攻撃した際は国連に提訴しないで行ったが、今回はアメリカ国内や世界の世論も無視できなくなったこと、イラクを攻撃した後の復興再建のことも考え国連に委ねたというのが本音らしい。一日30万バレルも産出する世界第二の石油産出国でもあり、首都バグダットを中心に破壊すれば復興に1500億ドル（約18兆円）もの復興費用が掛かるからである。

しかし乍ら「やられたらやり返せ」とはキリストの教えには無かったはずと思いますが？その昔「恨みに報いるに徳をもってす。」と言った蔣介石の言葉が思い起こされる。あとの質疑応答では北朝鮮問題に触れられ、今の金正日を排しても後を任せられる政権が果たしてあるのか？かの国の国民はどうなるのか？近隣が受け入れられるのか？等々、一時的感情論では片付かない問題であるなどと、国際情勢をすこぶる客観的に解説頂いた。

国連を中心にし国際法に基づき国際的約束を守って秩序ある世界になるよう、それぞれの国や国民が努力すべきであるというのが結論であり、パレスの面々も少しはレベルアップしたのではないと思われる授業であった。

会長挨拶、諸報告では次回11月27日の100人例会のアピールがなされ全メンバーで成功させたいという意気込みが感じられた。



11月第2例会(EMC100人例会)報告—761回—

日時 平成14年11月27日
場所 京都ブライトンホテル

高 岡 昇

11月27日、11月第2例会が100人例会として開催されました。開会30分前の6時半頃から例会場の前は沢山のゲストで人だかりとなり、いつもの例会前の雰囲気とは違って華やかな雰囲気が漂っていました。

定刻の7時より、101名の出席者を迎えた、文字通りの100人例会がスタートしました。西枝君の軽妙な司会により開会の点鐘、会長挨拶と続き、今期初の入会式が執り行われました。山本一博君、田中慎一君がスポンサーとなり、平野雅幸君を新しいメンバーとしてパレスクラブに迎える事が出来ました。平野君は30歳という事でパレスクラブに新しい風を吹き込んでくれるものと期待されます。

本日のメインはサッカーの元国際審判員である小幡真一郎氏のゲストスピーチです。小幡氏は主にJリーグの試合の審判を数多く手がけられており、その経験から、その試合を良くするも悪くするも審判の判定による事、良い判定を行うためには十分な体力と、常に多くの試合の審判をこなして試合の流れを読み取るカンを維持する事の重要性を話されました。

また国際審判員は45歳で引退しなければならないとの事で、いかに選手同様の体力が必要か、それを日頃のトレーニングによって維持していく事の大変さがうかがい知れました。ワールドカップの決勝戦の主審であったコリーナ氏が見かけによらず42歳であった事も納得がきました。国際試合の前には必ず体力テストとペーパーテストがあり、キャリアだけでは審判員が務まらない事を知りました。その他、試合での選手とのやり取りや、審判員を引退されるきっかけとなった誤審についてもお話いただき、大変示唆に富んだスピーチでした。100人を越える出席者も満足のうちに無事閉会となりました。



青少年センターバザー(国際福祉専門学校学園祭)

日時 平成14年11月3日
場所 京都YMCA国際福祉専門学校

荒川 徹

秋晴れの日曜日に今出川の国際福祉専門学校にて学園祭が開催され、パレスクラブはいか焼きを200円で販売致しました。約150食、26,400円の売上がありました。

参加各メンバーは、仕込み、焼き、販売、包装と、それぞれが持ち場を分担し手際よくこなして居られました。私も何か真剣になってきて、わき目もふらず「いか焼きマシン」になっていました。

皆さん時間と共に慣れてきて、本職並みの腕前でこなしておりましたが、これを商売として人件費に換算するとかなり高価ないか焼きになります。多分日本一高価ないか焼き、これ来年のキャッチにどうでしょう。

当日は一般の方が少なく、ワイズメンとリーダー等の仲間内の学園祭という感じで、外部にはあまり発信できていない感じでした。目的が内部向けならいいのですが、実際はどうなのでしょう？

パレスからメン、メネット、コメット合わせて20人程の参加がありました。



京都部ワイズデー報告

日時 平成14年11月10日
場所 河原町三条交差点

山岸 弘 侍

秋晴れの素晴らしい天候の中、田中慎一委員長の指揮の下、三条河原町を東西に4班に別れ、のぼり、募金箱、チラシの準備をして1時より開始する。「国際協力募金をお願いします！」大きな声で呼びかける。"チョットテレクサイ"

30分程してから、YMCAリーダーと小学生の子供達20名が応援に来てくれた。子供達はリーダーに教わった通りに大きな声で一生懸命に、「コクサイキョウリョクボキンヲ オネガイシマス!!」「難民の子供達に愛の手を・オネガイシマス、オネガイシマス、アリガトウゴザイマス!!」と、何度も声が枯れて出なくなるほど、頑張ってくれました。

その声に応じてくれるように、たくさんの人達が立ち止まり募金して下さいました。少人数では心細い募金活動も今回は参加メンバーが多く、活気にあふれ盛り上がり、大変感激した活動となりました。集計すると76,000円もの善意が集まり、田中慎一委員長も大喜びでした。

参加者：メンバー11名(田中慎一、荒川、吉田、井上彰、川勝、杉井、西川、三尾、安岡、吉岡、山岸) YMCAリーダー2名、小学生20名。



コラム

1の裏は6

IT旋風

近頃、パレスの中をそよ風や強風など色々な風が吹いて面白そうだ。その風を起こすのに一役も二役も関係しているのが、今期より始めたパレスIT旋風かも。残念ながら当方は旋風に巻き込まれる事もなく、少し離れた位置から見ていると思う。今期、わずか半年もたたない間に素晴らしいホームページ・・・と思う(残念ながら見る環境に至らない時代遅れ?の環境の中で生活をしている)が出来た。これは今期三役のチョットしたミスをも帳消し?にしても余りあるヒット作になるだろう。優秀な管理者がいてアーよかったネ!

パソコン時代はもう目の前を通過して、はるか彼方へ進んでいるみたい。大学のレポート提出はパソコンで、皆さんの仕事でも納品書、見積書など書類の手書きは何処へ? と思いませんか。今までパソコンを触ったことがない人間には良い機会を与えてもらったと思う。

まだ10年は地球上で生活しているつもりなら? 始めてみれば…。色々なものが見られるらしい。でも履歴が残るから、変なのは消去を忘れないこと。

メンバー全員が見られる環境が理想であり、必要だ。これはその気になればすぐに解決する。当方も今この文章をパソコンで作っているから、インターネットに接続すればOKなのだ! 何故つながらないか? 面倒? 今現在パレス伝言板は、携帯電話から見ているので大体は把握しているつもりだ。でも抜けていることもあるだろう。たまに辻褄が合わない事があるからそう思う。投稿をしなれば(メール打ち得意者は別として)携帯でも結構楽しめる。そして見るうちに投稿したくなれば、いや、成るだろう。だってパレスのメンバー、しゃべり多いもん。掲示板に伝言なければ寂しいデン、ごんす。フリー掲示板に多くのパレス以外からも投稿が…。一部メンバーの遊び? から全メンバーの遊び、そして情報源へと前進するのは…。

(意異加減太)

オータムフェスタ

日時 平成14年11月17日

場所 リトリートセンター

西川 寿一

秋の深まった日曜日、恒例のオータムフェスタがリトリートセンターにて開かれた。当日は快晴の秋晴れに恵まれた。いつもこのオータムフェスタが行われる時は雨が降ったりして大変寒い日が多かったのだが、今回は珍しく日中は汗ばむ程の良い天候になり、宇治名木百選に選ばれたメタセコイヤも紅葉して、充分に秋が満喫できた。台湾からプリンスクラブのIBCである台中エーバーモアクラブのメンバーをはじめ、YMCAの日本語学校の留学生や多くの会員・ワイズメン総勢200余名が参加し、多彩な食材と、森の音楽会と称してフルーツ中心の女性グループVIVOの演奏を聞き、屋外での楽しい一日を過ごした。

パレスクラブは昨年と同じく松茸ご飯（昨年より少し松茸が少ない様に思った）を準備したといっても、業者に頼んで炊いてもらったものを皆さんに提供するだけなので余り作業はなかった。そのせいか参加者も井上彰Yサ委員長を含め4名でちょっと寂しい状況だった。リトリートセンターも最近非常に良く整備され、来年の100周年募金で更に施設を拡充できれば、パレスクラブも一度は一泊例会をしてみてもはどうでしょう。その為には是非メンバー個人の募金も頑張ってもらいたいものです。

出席者：井上彰、大野、河合、西川。



委員会だより

EMC・ファンド・地域奉仕合同委員会

日時 平成14年11月11日

場所 木屋町「浜町」

田中 慎一

平日の月曜日でしたが木屋町の浜町においてEMC・ファンド・地域奉仕との合同委員会が開催されました。私は地域奉仕委員長で、当初はファンド委員会と合同委員会をしようと思っていました。しかし、11月第2例会の100人例会を成功させるために委員会を開くことになり、多くの方の参加を望まれる河合EMC委員長の気合いの入った委員会日程の発表を聞いて、これは合体してパワーを付けなければと思い合同させて頂きました。河合委員長の企画も良く、3委員会以外の方も多く参加され、何と総勢21名にもなりました。100人例会の成功に向けての決起委員会として大成功だったと思います。



西日本区大会準備PT委員会

日時 平成14年11月12日

場所 YMCA三条本館

PT委員長 田中 慎一

第2回目のPTを行いました。大会委員長は、金沢クラブの澁谷様になって頂く事になりました。パレスが企画・進行を行う事になり、只今は6名で大まかな企画を立てています。これから沢山の委員会を作り、パレス全員で取り組んで行きますので、ご協力の程よろしくお願い致します。尚、議事録はホームページに常に掲載致しますほか、例会においても報告致します。

特集：上半期写真集（その1）



広報委員会で集めた写真の数々。いつの写真か分かるかな？

大野ちゃんが行く vol. 1

今月から次期西日本区理事理事として奮闘されている我がクラブの大野さんが、具体的にどんな活動をしているのかを皆さんにお届けします。これを読んだら「大野ちゃん頑張れ！」と思うことは間違いありません。第1回目の今回は、ここまでの活動をご紹介します。

6/14~16	東日本区大会	沖縄
7/6~7	西日本区役員会	長浜
8/31	CS事業委員会	高槻
9/1	ワイズアカデミー委員会	高槻
9/7	西中国部部会	広島
9/15	中部部会	名古屋
9/16	阪和部部会	和歌山
9/17	金沢3クラブ会合	金沢
9/18	東京グリーンスピーチ	東京
9/21	九州部部会	阿蘇
9/23	京都部部会	京都
9/26	西日本区役員会 京都	
9/28	六甲部部会	有馬
10/6	中西部部会	大阪
10/13	ロースター諮問委員会	京都
10/20	びわこ部部会	近江八幡
10/27	金沢3クラブ合同例会	金沢
11/7~12	アジア次期理事研修	フィリピン
11/23~24	西日本区役員会	大阪
11/30	Yサ打ち合わせ	名古屋

始まったばかりなのにこの超ハードスケジュール！！やっぱりホストクラブが応援してあげないとって思うでしょ。大野さんお務めご苦労さんです。体に気をつけて頑張ってください。次回はアジアエリア次期理事トレーニングの内容なんかをお届けしようと思います。乞うご期待！！
(次期理事事務局長)

書記よりお知らせ！

1. 第8回京都部会 (第1報)
 ホスト：京都キャピタルクラブ
 日時：2003年8月31日(日) 16:00~19:30
 会場：京都パークホテル
2. 東京グリーンクラブ30周年記念祝会 (第1報)
 日時：2003年3月9日(日) 13:30~17:40
 会場：東京YMCA
 登録費：5,000円
 講演：法政大学工学部教授(都市歴史学) 陣内 秀信 氏
3. 京都ウイングクラブ15周年記念例会 (第1報)
 日時：2003年3月22日(土) 18:00~
 会場：京都全日空ホテル

◆◆◆ 新入会員紹介 ◆◆◆

11月27日の100人例会で入会式を行いました新メンバーをご紹介します。どうぞよろしく！！

平野 雅幸 君

誕生日：昭和47年(1972年) 10月14日

年齢：30歳

現住所：京都市北区 等持院中町46

勤務：(株)ひらのや 専務取締役

業種：ギフト卸

趣味：ヨット・バイク

家族：独身

推薦者：山本一博君、田中慎一君



特集：上半期写真集(その2)



広報委員会で集めた写真の数々。いつの写真か分かるかな？

役員会報告

第1号議案	11月第2例会ゲスト(小幡氏)の件	承認
第2号議案	11月HA・HB第2例会変更の件	承認
第3号議案	12月第1例会内容の件	承認
第4号議案	12月第2クリスマス例会企画の件	承認
第5号議案	クリスマスPT編成の件	承認
第6号議案	EMC新入会員(平野氏)の件	承認
第7号議案	次期京都部EMC事業主査の件	承認
第8号議案	100周年記念募金の決定方法の件	承認
第9号議案	同盟100周年記念募金の件	継続審議

※詳細は所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。

※尚、ホームページには常時掲載されていますので、ご確認下さい。http://www.tamekuni.co.jp/palace/

12月スケジュール

役員会	4日(水)	京都ブライトンホテル
第1例会	11日(水)	京都ブライトンホテル
第2例会	21日(土)	京都ブライトンホテル
クリスマスキャロリング	20日(金)	三条YMCA
ファン্ড餅つき	30日(月)	山岸宅
三役主催忘年会	30日(月)	光月

HAPPY BIRTHDAY

小 櫻 武 彦 君	12月4日
菊 井 正 弘 君	12月7日
為 国 光 俊 君	12月7日
川 勝 政 男 君	12月11日
河 合 信 也 君	12月16日
岡 本 由 希 メネット	12月16日
山 本 加 鶴 子 メネット	12月16日
井 上 有 子 メネット	12月18日
西 枝 美 佐 子 メネット	12月23日
山 本 幸 三 郎 君	12月26日
田 中 依 里 子 メネット	12月31日

HAPPY ANNIVERSARY

該当なし

☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆

1. 会員クリスマス礼拝とキャロリング

一般の方も参加できます

日 時 12月20日(金) 受付18:15 礼拝18:45

場 所 YMCA三条本館

2. ニューイヤー・チャリティ・コンサート

～みんなのものがひとつとなるために～

日 時 2003年1月17日(金) 開場18時 開演19時

場 所 京都コンサートホール 小ホール

入場料 2,000円(全席自由・ワンドリンク付)

3. スキーキャンプ参加者募集中!

受付は電話(075)231-4388まで

A. 白山スキー 初心者～初級者向き

日程 2月7日(金)夕～9日(日)夕

行先 白山瀬女(せな)高原スキー場(石川県)

B. ちびっこスキーB 初心者～初級者向き

日程 3月26日(水)朝～30日(日)朝

行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)

C. 少年スキーB 初心者～初級者向き

日程 3月26日(水)朝～30日(日)朝

行先 志賀高原横手山スキー場(長野県)

D. パワフルスキー 初心者～初級者向き

日程 1月5日(日)朝～1月7日(火)夕

行先 飛騨高山スキー場(岐阜県)

E. 中高生スキーB 初心者～中級者向き

日程 3月24日(月)夜～30日(日)朝

行先 野沢温泉スキー場(長野県)

F. チャレンジスキーB 中・上級者向き

日程 3月24日(月)夜～30日(日)朝

行先 野沢温泉スキー場(長野県)

4. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中!!

日 程 A 2003年3月28日(金)～31日(月)

B 2003年3月31日(月)～4月4日(金)

場 所 神戸YMCA余島キャンプ場

※以上、詳細は加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

編集後記

今年は暖冬と言いながら、先月末より今月にかけて寒い日が多かった。その影響もあって、今年は例年以上に鮮やかな紅葉を見ることができた。木々の変化は春に花、夏に青葉、秋に紅葉と続くが、四季を通じて最も人にアピールできるのは、一本一本色の違いを見せる秋ではないかと思う。

ところで、今月のパレスは本当に多くの行事をこなしてきた。青少年センターバザー、ワイズデー、オータムフェスタ、そして100人例会。YMCAの行事に参加して実績を残すことで

YMCAや京都部にパレスクラブをアピールしたのはもちろん、100人例会でもメンバーが知人友人に声掛けをしたことで50人以上のゲストにパレスクラブをアピールした。

クラブ運営も自然と同じく、一人一人の個性が外部に表現できたとき、他人には一番アピールできるのではないだろうか。そう考えると、今月のパレスメンバーの活動は京都の木々同様、他人の目には最も鮮やかで魅力あるものに映っていたのではないだろうか。

(副委員長)



CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

1 2003

Bulletin

2003.1.1発行
第32巻第6号通巻367号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語	Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語	Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語	ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語	更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会を去る



聖句

これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって、高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く。 新約聖書ルカによる福音書 1章 78、79節

上半期を終えて

副会長 為 国 光 俊

特別の準備もなく立ち上げたパレスクラブのホームページが、半年間で9000件を超えるアクセス数を獲得するとは誰が予想したであろう。さすがに新しもの好きであるはずのパレスも、ことITに関しては二の足を踏まざるを得なかったようであり、当初、まだ見ぬホームページと電子メールに対する不安感や、パソコン機器の購入といった課題を抱えてのスタートとなったのだが、実際にこれをクリアするのに、それほど時間を要しなかったのである。

ワイズは、単年度事業でリーダーが交替する特性をもつが、Yサ事業でスタートした今期上半期も、通常例会の充実をはじめ、例年の地域奉仕事業やファンド事業の実施、さらにEMC100人例会、次期西日本区大会ジョイントホストの受託と、歩み続けることができた。日を重ねるにつれメンバーの団結に支えられて徐々に結果に繋がられたのは、会長、三役、委員長と言った役職のみならず、クラブ内でのベテラン、中堅、若手と言われる立場からも、「打てば響く」、まさに、全員参画で自己の意見を明確にしていく、一人ひとりの資質向上が

求められたからであろう。ここにリーダーシップ育成と自己研鑽の醍醐味があるのではなかろうか。

やはり、例会や役員会、委員会活動を充実させてクラブライフを活性化するためのエネルギーの源は、メンバー同士が互いの膝をつき合わせ、クラブの未来やあるべき姿について本音の議論をすることである。個の存在を認めながら自己の主張をおこなう、あるいは全体の中から個を認めることによって、新しいアイデアや斬新な発想、不可能が可能となっていくエネルギーの種が芽生えていくのであろう。

クラブ内IT化を短時間で結果に結びつけた大きな要因は、これらのことをそのままホームページの掲示板に持ってあげたことだと言えるが、これはITを活性化の道具として受け入れたクラブの柔軟性と、意識改革を図ったメンバー諸氏の実行力のたまものであり、特に時間を惜しまずに、情報を常にオープンにして投稿し続けた掲示板の先駆者(常連?)達が上半期を引っ張り続けたのである。

会 長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 為 国 光 俊
書 記 西川 寿一
" 吉 岡 明 彦
会 計 田 中 一 馬
" 小 西 孝 典

【強調月間】IBC・DBC

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
12月第1例会	41名	切 手	0pt	12月第1例会	11,000円	12月	1,080,815円
12月第2例会	38名	累 計	0pt	12月第2例会	2,127円		
在 籍 者 数	45名	現 金	0円				
出 席 率	95.5%	累 計	0円	累 計	145,127円	累 計	1,080,815円

日時 平成14年12月11日
場所 京都ブライトンホテル

宮本隼史

開会点鐘、次第、食事終了後「更なる友情を求めて」を部長標語に掲げた、戸田昌伸京都部部長の公式訪問である。しかし、元パレスメンバーの部長は開口一番、「里帰りの気分です」と挨拶、緊張感がほぐれ和やかな雰囲気になる。篠原Yサ・ユース事業主査、渡辺書記がそれぞれ事業計画を発表、京都YMCAの100周年事業に協力、「難民に愛の手を」と難民救済事業、環境問題への取り組みなどをアピールされた。

引き続きハワイ州ヒロ市在住の森繁 昇さんのキリスト教理解のために「ゴスペルソングアワー」、素晴らしいギターとハーモニカの演奏、そして唄とトーク「無条件の愛・イエスの愛・神の愛」人に教えることは出来ないが説明することはできると論じられた。

その後、西日本区報告と'04年パレスクラブ西日本区大会準備委員長報告があった。大野嘉宏次期理事より西日本区9部部会に出席されたこと、1817名の現状についての報告をされ、クラブに於いての改革の難しさを痛感し、特に10名以下のクラブはより良い人間関係が必要と訴えられた。

'04年西日本区大会開催については難問もあるが、石川県加賀市に於いて開催が決定しており鋭意努力していると報告があった。



日時 平成14年12月21日
場所 京都ブライトンホテル

小西孝典

クリスマス・ナイトは大きなハナマル!! さあ皆さんお楽しみクリスマス例会の始まりです! 今年は曜日の都合で12月21日(土曜日)の開催となりました。本日の司会は森田さんです、やはり女性の方の司会は艶が有って特別な夜にはびったりですネ。なんて思ってる間に暗転? で真っ暗になったとたん本日ゴスペルグループ、フォーチュナータが一曲。そして厳肅な雰囲気の中、名誉主事の高谷泰一さんの聖書朗読、ワイズソングと続き、われらが荒川会長の点鐘・挨拶の後、コミカルな次期懇談会長の乾杯の挨拶と心憎いオープニング演出で皆さんの気分もクリスマス・ナイト一色です!! 盛り上がった所で食事の始まりです。今回は着席したままのテーブルバイキングだそうです。ものぐさな私は落ち着いてビールを飲みながら食事が出来るので大歓迎です。もちろん皆さんとワイワイ・色々お話も出来ました。

さて本日のメイン、ショーステージです! 先ほどオープニングで登場しました女性三人グループのフォーチュナータがクリスマスソングやゴスペルを熱唱してくれました。

そうこうしている内にカワイイ?? トナカイがドアから顔を覗かせています。サンタの登場です。コメントたちにプレゼントを配り歩き、チョットHなところにベルを付けたトナカイたちも今夜しか出来ない勢いで大はしゃぎです。

そしてほろ酔い加減の中、皆さんお楽しみビンゴタイムです! 今年は私が景品をご用意しました。目玉はカードサイズのデジカメ・話題のハロゲンヒーター・スチームクリーナー・ネックレス・キレイなカトリア等多数用意しました。ただビンゴシステムは今回が初めてだったので、景品の受け渡しがバタバタした事と綺麗なチューリップが暖房で開いてしまった事が残念です、しっかりお世話出来ず御迷惑お掛けいたしました。(反省!) 毎年お世話して下さった方や今年のPTメンバーの皆さんの大変さがスゴク良く分かりました。

私にとって今年は日にちが良くて(仕事の都合で)初めて妻を同伴出来たクリスマス例会です! その事も含め色々な意味で皆様に感謝・感謝のクリスマス・ナイトでした。

最後はサークルングです感動の内、本当に今年のパレスも皆さんも大きな大きなハナマルでした!!



第二回京都部評議会報告

日時 平成14年12月1日
場所 三条YMCA

会長 荒川 徹

去る12月1日に京都部の評議会が三条YMCAで開催されました。パレスからは幹事の杉井君、地域奉仕主査の三尾君と私が出席いたしました。以下、主な部分を報告します。

- ・次期役員研修会費用の負担について
 1. 主査に関しては次期の研修会費用を今期で負担する。
 2. 各会長に関してはクラブで負担していただきたい。
 3. 会計上では余裕があるので不足することはない。
- ・EMCシンポジウム開催予定 (2/1)
- ・ウイングクラブ15周年記念例会時に、韓国金浦クラブとIBC締結 (3/22)
- ・グローバルクラブ10周年記念例会時に、熊本クラブとDBC締結。(3/29)
- ・渡邊公夫ワイズを次々期京都部部長に選出
- ・ランティアバンク設立の要綱(案)を作成
- ・環境委員会設置の提案
- ・京都部部則の変更(部長選出に関して)に関して提案
- ・100周年募金の現在の募金額1858万円以上です。

京都YMCAクリスマスキャロリング

日時 平成14年12月20日
場所 三条YMCA及び河原町通

杉井 恭 敏

12月20日(金)京都YMCA恒例のクリスマスキャロリングが行われました。賛美歌練習、クリスマス礼拝を守り、午後7時から約20名の子供達と総勢40名位が、白いガウンをまとい師走の街へ出掛けました。

「救い主イエスが今日お生まれになりました。」

救い主とは？

心の弱い人、嘆く人、罪を犯した人、不安にさいなまれている人、重荷を背負っている人、病気で苦しむ人、悲しみの中にいる人、自分がちゃんとしていたら神や仏に頼んでもいいのと違うかと思っている人々(傲慢な人)を、そこから解放してくれる人、その方を救い主、イエスと呼びます。

ではどうすれば良いのか？

聖書に書かれていることに「イエス」(その通りという意味)と云えば良いのです。

聖書には何が書いてあるか？

人間が希望と愛に満ちあふれて生きるにはどうすれば良いかが書いてあります。

どうすれば良いのか？一言で言うと！

折々に祈ることです。(聖書要約)

以上の内容の賛美歌を街角で歌い、午後9時散会しました。本日の出席者は井上彰、西川、平井、杉井の4名でした。

瀬戸ワイズ宅のクリスマスイルミネーションを見る会

日時 平成14年12月26日
場所 瀬戸ワイズ宅

田中 慎一

12月26日、和敬学園の学園生(先生を含む)17名を、瀬戸家のイルミネーションに招待いたしました。

和敬の子供たちは、昨年より2回目で大変楽しみにしていましたし、今回も眩しい位の綺麗な電飾と美味しいシュークリームとジュースでおおはしゃぎでした。

瀬戸家のイルミネーションは今年で4年目で、昨年までは11mだったものを、今年は14mとより大きくされたツリーをメインに、庭一面に綺麗な電飾でデコレーションされています。

今年は、正月明けまでされているそうです。皆さんも是非、見にいかれては如何でしょうか。本当に綺麗ですよ。



ファンド委員会主催「餅つき」報告

日時 平成14年12月30日
場所 山岸ワイズ宅

吉田 享 弘

平成14年12月30日(日)午前9時から、快晴のもと、ファンド委員会主催の餅つき大会が岩倉花園町の山岸委員長の庭で開催されました。年末の忙しい中、18名のメンバー、4名のメネット、7名のコメット、2名のマゴメット、ゲスト1名の合計32名が集い、にぎやかに始まりました。

山岸委員長、山岸メネットの指導のもと、餅米を蒸し、2個の臼で餅をつき、つき上がった餅を均等に切り分け、形を整えて1キロごとに容器に入れる、という作業がスムーズに進み、午前中には合計48キログラムの餅をつき終わり、申し込んだメンバーに配られました。餅をつく際、夫婦でベアーになった人は息がびったりあっている場合が多く、感心させられました。その逆にすんでのところでは手を怪我しそうになった人もいましたが、何とか全員怪我なく終了しました。一番各自の個性が出たのは餅の形を整える作業で、出来上がった形、大きさもさまざまでしたが、これもご愛嬌ということで…。某メネット2人は終始かけ合い漫才のようにしゃべりながら作業をしておられ、まわりの人達はとても楽しい気分になりました。また、つきたての餅を皆で、きな粉、あんこ、大根おろしをつけて食べましたが、それはそれは美味しいものでした。

最後に前日までの準備に加え、当日6時に起きて準備をして下さった、山岸委員長、山岸メネットを始めとする山岸家の皆さん、ご近所の方々、このような楽しい場を提供して頂きまして、ありがとうございました。



三役主催忘年会 (+次期理事を励ます会)

日時 平成14年12月30日
場所 「光月」

安岡 忠 男

私が馳せ参じた頃は、宴もほぼ終宴の頃でした。河合ワイズよりホームページで8888番をゲットした懸賞ワインの受賞式をしたいと携帯に連絡が入り、慌てて会場へ駆け込みました。ホームページを開けるとカウンターがあり、今回はその番号の8888番が当り番号で、それを小生がゲットした次第です。受賞式もそこそこにゲットした賞品としてワイン2本の栓を開けると何処からとなくグラスが並び、一瞬にして私の賞品のワインはワイズメンの胃袋中へ…。美味しかった。ちなみにゲットした者が次回の懸賞品の提供スポンサーです。次の懸賞番号は11111番です。

宴会も終盤の頃に中締め、今回は「大野次期理事を励ます会」との副題も付いた忘年会であり、最後に大野次期西日本区理事の挨拶、続いて杉本副会長の音頭で三本締め、今年もこれで半期のクラブ事業も終わり。本当に楽しい三役主催忘年会でした。



次期西日本区理事事務局だより

大野ちゃんが行く vol. 2

第2回目となりました当コーナー。今月は12月の活動とフィリピンでのリーダーシップトレーニングの様子をお届けします。12月の活動は、4日：西日本区大会PT出席、8日：西日本区準備主任会、18日：西日本区大会PT出席、と言うことで少し小休止の1ヶ月ってところですか…。でもそれもつかの間。いよいよ1月の役員研修会を皮切りに本格的に忙しくなると聞いています。

次に先月号でご紹介できなかったフィリピンでの次期理事トレーニングの様子を少し報告します。正式には

「アジアエリア次期理事トレーニング」ということで、アジアの11リージョンの次期理事が一同に集まり11月8日～10日の日程で研修会が行なわれました。大野さんのお話ではワイズの研修というよりも経営者トレーニングのような内容でけっこう面白かったそうですが、そんなことよりもフィリピンでのワイズのステータスに驚いたということでした。マニラでは空港からホテルまで警察の白バイが先導してくれたり、フィリピンのワイズメンも現地の有力者が多かったり、けっこういい気分になれたようです。2003年の7月にアジア区大会がマニラで開催されますが西日本からも大勢で行ける事を希望されているようです。わがクラブからも多くのメンバーでマニラを満喫しに行きましょう。(次期理事事務局長)

ワイズの常識、社会の非常識?

バレスクラブのホームページが開設されて半年が経過した。現在、掲示板(BBS)には公開BBSと会員専用BBSとがあり、12月以降は2004年の西日本区大会専用のBBSも設置された。アクセス数は9000回、一日平均50回であった。また投稿数は、公開BBSは不明であるが、会員専用は860、西日本区大会専用は190であった。

投稿は西日本区理事、西日本区大会、YMCA100周年記念募金、さらにはクラブ運営に関するものが多数あった。アクセス数のみでメンバー間のコミュニケーションに益があったかの評価に議論はあるが、クラブの運営に関して誰もが自由に意見を表明し、それによってさらに問題点が明らかとなり、クラブ運営についてのオープンな議論の機会が増えたことについては異論のないところである。

インターネットの急激な発展で、多くのクラブがホームページを立ち上げ、メンバーへの連絡も従来の葉書からFAXへ、そしてホームページ、Eメールと方法においても時間において長足の進歩を遂げた。また、メンバー相互のコミュニケーションのあり方も、例会、役員会、委員会、二次会での「ダベリング」から会内BBSを使っての意見交換、部、区単位での掲示板、さらには他クラブ設置のBBSへの投稿等、クラブを横断しての議論の手段が出来、本来は相互の意見交換が活発になるはずではあった。

しかし一方で、それを使うことに躊躇や、使いこなせないメンバーにとっての疎外感、そしてそれが新たなコミュニケーションについての反感へと繋がり、俺は見ない、投稿はしないとの口実のもと、クラブ活動への逃避をし始めたメンバーの存在も現実である。しかし、コミュニケーションの多様化、高速化は時代の必然であり、飛脚時代に戻れないことをも認識すべきである。そして多様な意見表明手段が必然的に裏工作やボス交渉の場を狭くし、物事の決め方も民主、公開、平等となり、メンバーの納得こそが最大の武器となることも充分認識すべきなのである。

この数年、多くのクラブがホームページを開設し、西日本区、京都部も鳴り物いりでホームページの開設や運用を宣伝した。しかし現在、部、区のホームページがワイズ活動やメンバーのコミュニケーションに寄与しているかを見るなら、それはうそ寒い状態にあり、また、一部のクラブBBSは怪しげな広告媒体と成り下がってしまっている。これは区、部や当該クラブメンバーの資質が疑われ、ワイズ活動そのものの評価の低下にも繋がるものである。

ホームページを開設したのなら、そこには当然のごとく社会的責任、義務が発生するものであり、奉仕クラブだから許されるとか、無報酬だからいいんだとい

う問題ではないはずなのである。社会評価を低めるようなBBSや無内容なホームページであるならば、管理責任者はその責務として当該ページの閉鎖を決断すべきである。それが開設したクラブのせめてもの良心であろう。

BBS等の運用を機会に、ワイズ運動における「親睦」の意味合いの再確認を行う必要もある。クラブ活動における「親睦」とは、単に飲んで騒いで親交を深めるといった意味ではなく、「親睦」を通して各々の人格を高め、「親睦」を通してより高い社会参加を行う仲間を生み出すことにあることは当然である。また、「親睦」の進め方として、ワイズ運動に「世俗の論理をもちこまない」ともいわれるが、これは奉仕クラブメンバーはまさしく世俗の論理の中に生きており、世俗の論理から解放されるのは困難ではあるものの、せめてクラブ活動を進めるに際しての議論では、何が正しいかを虚心坦懐に見極め、意見交換をし、物事を決めろという意味である。それはワイズ独自の価値観と称するもので決めてもよいということではなく、社会ルールに則って行われるべきであることは当たり前のことで、社会と隔絶した独自の論理を持ち出すことは許されるものではない。

「親睦」はまともな議論には真正面から立ち向かう姿勢からスタートする。真剣な意見に対しては必ず反応する。反対、賛成いずれであっても意思表示をする。それが「各人」の成長への第一歩であり、最も忌むべきは「無関心」「無反応」である。無関心は「無愛」であり「無慈悲」であり、「親睦」を疎外する第一要素である。

ワイズメンズのメンバーの中には、何でも「愛」とうことで全てを水に流し、それで一件落着との風潮がなくもない。「愛」は相手を許容することに始まるが、無批判、無反応とは無関係である。

奉仕クラブも時代の中にあり、「世俗」の中で生活しているメンバーの集まりである。即ち、奉仕クラブであってもその運営、合意の形成はまさしく「世俗」の方式、我々が生きている経済・社会生活の論理、枠組みのなかで行われるべきである。そしてそのルールを守ることを通して「愛」が生まれ親睦が醸成されるのである。

議論、討論、決定、役割分担、実行、反省、その全ては社会常識、社会ルールを全うして始めて奉仕活動となり、メンバーの人格の豊かさへと繋がるのである。お酒を飲んだうでの「まあ許してや」「了解してや」からは真の「親睦」や「友情」は生まれ得ないし、本来の「奉仕クラブ」も育たない。

あんたの横にも、そんなメンバーがたくさんいるのではないか。あなたもそうかも知れない?

湯(喝)言居士

役員会報告

第1号議案	上半期事業報告書の件	承認
第2号議案	上半期会計報告の件	承認
第3号議案	次期三役の件	承認
第4号議案	トスファンド例会の件	承認
第5号議案	EMC委員会補正予算の件	承認
第6号議案	3月第二例会(100人例会)会場の件	承認
第7号議案	3月第二例会(100人例会)内容の件	承認
第8号議案	EMC研修旅行の件	承認
第9号議案	2004年の西日本区大会開催地選定 に関する説明文の件	承認

※詳細は所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。

※尚、ホームページには常時掲載されていますので、ご確認下さい。http://www.tamekuni.co.jp/palace/

1月スケジュール

役員会	8日(水)	京都ブライトンホテル
第1例会	8日(水)	京都ブライトンホテル
第2例会	22日(水)	京都ブライトンホテル
ニューイヤーコンサート	17日(金)	京都コンサートホール
地域奉仕 献血	30日(木)	YMCA専門学校

HAPPY BIRTHDAY

杉井 静	メネット	1月1日
河合 美也子	メネット	1月4日
安岡 政江	メネット	1月4日
西枝 攻	君	1月10日
田中 一馬	君	1月11日
堤 雄次	君	1月18日
井上 彰	君	1月21日
小西 孝典	君	1月23日
山本 智子	メネット	1月24日
山田 美雪	メネット	1月28日
三尾 幸子	メネット	1月29日
野崎 ひろ恵	君	1月31日

HAPPY ANNIVERSARY

安岡 忠男・政江	夫妻	1月1日
平井 久夫・恵美	夫妻	1月30日

編集後記

14年度もあつと言う間に終わりました。

今年の目標の1つであるIT化 ホームページの開設は、なんとか達成できました。しかし、インターネット、ホームページ閲覧、Eメールをしようと思って講習会にも参加しましたが、なかなか活用できてないのが現状です。

●●●京都部からのお知らせ●●●

「チャリティ絵画展」

今期の部長方針の1つに「スペシャルオリックス(SO)への支援」を掲げています。この度、SOアイルランド世界大会選手派遣協賛事業としてチャリティ企画「現代国際巨匠絵画展」が開催されます。京都部としても後援しております。是非お立ち寄り下さい。

日時：2月9日(日)～11日(祝) 10時～16時

場所：京都産業会館4F展示場(入場無料)

※詳細についてはパレス三役までお問い合わせ下さい。

●●●会員情報●●●

新入会員の平野です！

平成14年11月第2例会(100人例会)にて入会させて頂きました平野雅幸です。仕事は贈答品の卸売業をしています。入会のきっかけは地域奉仕のバーベキューをされていたところ、偶然、傍にいて一緒に参加させて頂きました。その後、いろいろな方を紹介頂き、何度か例会と委員会に参加させて頂いて、非常に有意義な会であると感じ、入会を希望しました。

小学生の頃、YMCAの野外活動をしていた友人を見ては、うらやましく思っていました。その頃は活動に参加するという事は無かったのですが、これからパレスの一員として活動できることをとても幸せに思います。

正直なところ、まだ、活動の内容を詳しく把握出来ている訳ではないのですが、出来ることは何でも取り組んで行きたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。

☆☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆☆

1. 三条本館バザー

日時 2月9日(日) 午前10時～午後3時

2. 英会話ショータイムコース(初級～上級)

期間 1月24日(金)～3月14日(金)

3. 京都YMCA発会114年創立100周年記念集会

日時 2月15日(土) 夕刻より

4. 正会員希望者のためのオリエンテーション講座

日時 1月24日(金) 午後7時～9時30分

※以上、詳細は加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

15年度上期には、これらに積極的に取り組んでいきたいと思っています。

あと、例会の出席率を100%達成を目指し、頑張ります！

(瀬戸)





CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2 2003

Bulletin

2003.2.1 発行
第12巻第7号通巻368号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunikation

国際標語 Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語 Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語 ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語 更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会と去る



聖句

兄弟たち、あなたがたは自由を得るために召し出されたのです。ただ、この自由を肉に罪を犯させる機会とせず、愛によって互いに仕えなさい。
律法全体は「隣人を自分のように愛しなさい」という一句によって全うされるからです。 新約聖書 ガラテヤの信徒への手紙 5章 13、14節

次期西日本区大会に向けて

次期西日本区大会副委員長 田中 慎一

次期大野西日本区理事の意向を踏まえて、金沢クラブと金沢犀川クラブと京都パレスクラブとが、3クラブで次期の西日本区大会のホストを引き受けることになりました。大会委員長は金沢クラブの澁谷洋太郎君、副委員長は金沢犀川クラブの高木啓一君とパレスクラブの私、田中慎一に決定しましたので、皆さんよろしくお願い致します。大会会場は加賀市文化会館、宿泊宴会場は山代温泉のホテル百万石を貸切で行いたいと考えています。

さて、パレスクラブとしては、既に西日本区大会PTを立ち上げ、今までに4回の会議を行いました。まだ、具体的な構想を発表するまでには至っておりませんが、差し当たり今年6月の彦根での西日本区大会にて、どの様にアピールさせて頂くかを決めなければなりません。つきましてはPT内に広報製作委員会としてPR企画、制作面を専任で担当する部門を作り、現在、準備を進めております。一方、広報実働委員会という部門を、西日本区の役員なども経験も豊富な井上均君を委員長として立ち上げ、今後の西日本区大会や各部会、例会等を通じてPR活動を展開して参りたいと思います。

上記の様にパレスの西日本区大会PTは、担当業務毎に委員会を作り、全員で役割を分担して活動をして頂くようにして参ります。

そのためにも、我々がやはり現地に行き、文化会館の設備、ホテル百万石の設備、料理、1000名収容の宴会場、各部屋、館内の飲食遊興施設、周辺環境などなど、具体的にどの様なものを体感して情報収集をしなくてはアピールできません。そこでEMC委員長にて研修を兼ねた下見旅行を企画して頂きました。3つのホストクラブの面々が現地で交流をしながら、情報収集に努める機会にしたいと考えています。

大会セレモニーは加賀市文化会館で行いますが、第二部の宴会は、日本最大級のホテル百万石を貸し切り、ゆっくり露天風呂に入り、浴衣を着て、1000名が一同に着席しての大宴会…。さらに二次会・三次会も同じホテル内で、様々な地域の様々なワイズメンが入り乱れて懇親を深める…。もう館内がワイズメンで一杯になる様子を想像してみてください。何かわくわくしてきませんか？

年に一度、日本の心・和の文化と触れ合いを北陸加賀市で味わい、ワイズをゆっくり・ゆったりと朝まで語り明かしましょう。

金沢クラブ・金沢犀川クラブとパレスクラブの力が一つに成り、我々の思いが西日本区メンバー全員に伝わり、大会が成功するように頑張りたいと思います。皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 爲國 光俊
書記 西川 寿一
" 吉岡 明彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】TOF・CS

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
1月第1例会	35名	切手	0pt	1月第1例会	29,000円	1月	17,000円
1月第2例会	36名	累計	0pt	1月第2例会	35,000円		
在籍者数	45名	現金	0円				
出席率	95.5%	累計	0円	累計	209,127円	累計	1,097,815円

1月第1例会(新年例会)報告-764回-

日時 平成15年1月8日
場所 京都ブライトンホテル

森田 美都子

日本列島にすっかり不況風が居座っての2003年が到来。いつもの所でいつもの時間、いつもよりグッと貫禄が付いてきた荒川会長年頭の挨拶で、バレス1月第1例会開会宣言。只、私個人のワイズ歴で特筆すべき初体験アリ。いつも耳慣れたソフトな加藤主事の食前の祈りが、何と今日は杉井ワイズ登場!! 響き流れる聖書一言一句が会場の皆の五臓六腑に清みわたり、今年初の厳かなる面持ち、心一つに「アーメン」。例会食としては、これ又珍しく説明? 付きの中華料理。アルコールも種々取り揃えられての豪華コース。会場が静やかであったのは「アーメン」までの一瞬のみ。我々のテーブルは二年前のIBC台湾旅行で有名円山飯店のフルディナーが、何故か「〇〇〇堂」と云うマニアックな店で台北の夜が終わったという話で大盛り上がり。どんなテーマもひっきりなり永遠に楽しい思い出話になるバレス談義は、本当に愉快でハッピー!

今年からも盛り沢山の各委員長諸氏の報告の後は、三原ワイズ紹介のエンターティナー登場、和洋のプロ奏者中西貞都様。最初のステージはスパンニッシュギター弾き語り。時間の都合上四曲のみの限定プレーに「マラゲーニャ!」とか「アルハンブラの思い出!」とか、リクエスト曲にないおねだり野次が場内を明るく飛び交う。これも又アルコールの入った新年例会ならではのテンション。アンデスの山々を彷彿とさせる「コンドルは飛んでゆく」アシタクワンゾー?? の「キサス・キサス・キサス」さすが実力派、迫力ありました。第二ステージは、パフォーマンスバレーダンサー森井裕子様と熱い郷愁を甦らせてくれるリアル三味線とのコラボレーション。不思議な幻想の世界を味わう演出でした…

ハッピーバースデー、ハッピーアニバーサリー、ニコニコタイムと、ハンドマイクが会員の人数分必要な程の賑やかさで盛り上がった新年例会は、大きく時間オーバーでやっと終了!!

地球は四十六億年前に誕生し、人類は四百万年前に誕生。天体の時間から考えれば人間の存在なんて蜻蛉よりもはかないもの。そのはかない人生の一部でどうワイズ活動を楽しむか…バレスそれぞれの2003年の幕開け、モアコミュニケーション! モアテイストアップ! with “Hot Hearts” 今年もすばらしい集いに素晴らしい足跡が刻まれますように…



1月第2例会(半期総会)報告-765回-

日時 平成15年1月22日
場所 京都ブライトンホテル

谷口 武士

暦の上では大寒のこの時期、めっぽう寒くなりました。荒川会長の“モア・コミュニケーション”の標語で始まった今年度もはや半期総会を迎えることとなりました。

ドライバー委員会の杉井恭敏Ysの司会のもと荒川会長の落ち着いた挨拶で例会開始。

まず最初に、規約に基づいて2/3以上の出席者数が確認された事を西川寿一書記より報告されました。次に各事業委員長の事業報告・会計の田中一馬Ysの会計報告と続き無事承認されました。また、EMC委員長河合信也ワイズよりEMC100人例会を二度する為、予算の追加を提案され承認されました。

次期西日本区大会会場現地視察のEMC懇親・研修旅行の参加案内のパンフレットは、パソコンの技術を存分に駆使されたカラフルで楽しいもので、さすがと声をかけたくなるものでした。又、京都YMCA100周年記念募金にバレスクラブより寄付する事が承認されました。

次期会長の堤雄次ワイズより、副会長山本一博ワイズ・森田美都子ワイズ・書記に河合信也ワイズ・平野雅幸ワイズ・会計に西枝攻ワイズ・岡見紫ワイズと次期三役の報告が有りました。

直前会長の鈴木ワイズより次々期会長山岸侍弘ワイズの発表が有り満場一致で盛大な拍手をもって承認。以上で半期総会を終了致しました。

例会の最後に副会長の杉本泰造ワイズのメンバースピーチ。京都YMCA100周年記念事業に対するYsメンとしての心がけをアピールされました。

クラブ標語“モア・コミュニケーション”を若い会長・三役がみごとに実践されているとつくづく感じた上半期総会でした。



京都YMCAニューイヤーチャリティコンサート

日時 平成15年1月17日
場所 京都コンサートホール

杉本 泰造

松もとれ、ようやく平常の活気が戻った気がする17日（金）に、四回目を迎える京都YMCAのニューイヤーチャリティコンサートが、京都コンサートホールで開演されました。

今年は京都YMCAが100周年記念を迎えるので、会員委員会も気合いが入り、約500人の席も満席でした。

ピアノは西脇小百合さん（京都YMCA評議会の西脇稔さんのお嬢さん）、ヴァイオリンは田村安祐美さん、大菅亜希子さんは田村さんのピアノ伴奏、ソプラノは祐森由香さんと、それぞれの方が東京芸大、国立音大、桐朋音大と一流音大卒であるから、やはり素晴らしい。選曲も聞き馴れたクラシックの曲ばかりで、日頃クラシックに馴染んで無い小生も聞き惚れるばかりでした。その中でヴァイオリンの田村安祐美さんが奏でる、マチスのタイスの瞑想曲は特に好きな曲で、皆さんも何処かで聞いておられると思います。又今回もチャリティコンサートのため、皆さんがチャリティー出演されていることを聞き、さすがと感じ入った新年に相応しいコンサートでした。それに比べて我がクラブの新年の集いは如何でありましたかな…。

パレスクラブもチケット24枚協力して、まずまずではありますが、この演奏会の収益は奉仕活動募金（地域におけるボランティアの支援、ユースリーグの育成、心のケアを行う相談室事業補助などに用いる）と国際協力募金（世界の難民救済、自立支援、災害被災救援や国際理解を進めるプログラムに用いられる）に用いられますので、次はもっと協力したいものです。パレスでは西川さんが委員としてお世話しておられました。

地域奉仕「献血」報告

日時 平成15年1月30日
場所 京都YMCA青少年センター

小櫻 武彦

今年の冬は風邪がひととき流行し、特にインフルエンザが猛威を振るうという兆候の中、パレスのメンバーも数名がその洗礼を受けている真っ只中で、ワイズ三献の一つ、献血が行われた。

当日は今冬最高の寒波襲来という寒い日にもかかわらず、パレスからメンバー25名とメネット・コメット・ゲスト合わせて15名の計40名が参加して頂きました。さくらクラブ、グローバルクラブとも共催し、YMCAの学生さん、先生方その他の協力も得て合計97名の受付を得ましたが、内22名が不適合となり結局75名で28,200ccの貴重な血液が集まりました。

若い女性に不適合者が多く、不摂生や過剰なダイエットで身体を傷めている事が反映されました。

特に冬場は血液が不足するため、いつもこの時期に行われる献血は不可欠、貴重との事であり、今後も大いに期待されるものと思われます。献血者には後程血液の質量及び生化学検査等のデータが送られてきますので健康状態の参考にもなります。今回来れなかった方も、次回は身体を鍛えて是非ご参加下さい。人の為にも自分の為にも、今後とも献血を続けて行きたいと改めて実感させられた一日でありました。



次期西日本区理事事務局だより

大野ちゃんが行く vol. 3

だんだんお馴染みになってまいりました当コーナー。今月は1月の活動を中心にお届けします。1月の主な活動は、

- ・1月12～13日 次期役員研修会 六甲研修センター
- ・1月20日 西日本区大会PT出席 京都

です。この月のハイライトはなんと言っても次期役員研修会です。神戸六甲研修センターに、西日本区の現役員と次期役員（三役、主任、部長）が集い、役員の仕事の研修や各役員の引継ぎを行いました。ここでの主役は当然大野さんです。「開講式」、「次期役員を迎えるにあたって」という講義の後「次期理事発題」のセッション

で登場です。2003年～2004年の事業方針・活動計画を堂々と述べられ全役員が聞き入っていました。また夕食終了後のフレンドシップアワーではお得意のバンドで再び登場。プログラムの次日には備えて22:30で散会の予定でしたが、なんと深夜1:00まで大野さんのギターと参加者の歌で盛り上がったようです。そして研修会の締めくくりは2日目の「次期会長研修会に向けて、方針作りとプレゼンテーションの準備」です。要するに大野さんの所信を受け、フレンドシップアワーで親睦を深めた次期役員のメンバーが私は次期はこう活動しますということを宣言する場です。事前に集まり、コミュニケーションをとり、真摯に活動された大野さんの思いを受け全員が自分の持ち時間をオーバーするくらい熱のこもった発表となりました。大野さんしっかりじっくりの2日間本当にお疲れ様でした。次期の西日本区は楽しみ（次期理事事務局局長）

役員会報告

前回の1月号に12月の報告を掲載するべきところを、1月の報告を掲載してしまいました。つきましては今回、12月及び1月の報告を合わせて掲載させていただきます。

12月役員会報告

第1号議案	クリスマス例会ゲスト食事代の件	承認
第2号議案	ファミリーファスト献金の件	承認
第3号議案	新年例会の臨時会費の件	承認
第4号議案	新年例会のゲストスピーカーの件	承認
第5号議案	2月第1例会ゲストスピーカーの件	承認
第6号議案	2月第2例会会場変更およびTOF ゲストスピーカーの件	承認
第7号議案	2月第2例会時間変更の件	承認
第8号議案	11月第1例会ゲストお菓子代の件	承認
第9号議案	京都YMCA100周年記念募金の件	承認
第10号議案	洛中クラブ15周年お祝いの件	承認
第11号議案	ウイングクラブ15周年お祝いの件	承認
第12号議案	次々期会長選任の件	承認
第13号議案	YMCAコンサートチケット販売の件	承認

1月役員会報告

第1号議案	上半期事業報告書の件	承認
第2号議案	上半期会計報告の件	承認
第3号議案	次期三役の件	承認
第4号議案	トスファンド例会の件	承認
第5号議案	EMC委員会補正予算の件	承認
第6号議案	3月第二例会(100人例会)会場の件	承認
第7号議案	3月第二例会(100人例会)内容の件	承認
第8号議案	EMC研修旅行の件	承認
第9号議案	2004年の西日本区大会開催地選定 に関する説明文の件	承認

※詳細は所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。

※尚、ホームページには常時掲載されていますので、ご確認下さい。http://www.tamekuni.co.jp/palace/

2月スケジュール

役員会	5日(水)	京都ブライトンホテル
第1例会	12日(水)	京都ブライトンホテル
第2例会	26日(水)	三条YMCA
京都YMCA創立100周年会員集会	15日(土)	三条YMCA
全国車いす駅伝	23日(日)	西京極・宝ヶ池
EMC研修旅行	2月28日(金)～3月1日(土)	ホテル百万石

編集後記

今期広報委員長のリーダーシップがすばらしいと思う。
判断力、ハグレ、バランス、委員会の持ち方すべてが揃っ

広報委員会 委員長 山本一博/副委員長

HAPPY BIRTHDAY

高谷 泰市君	2月1日
山本 節子メネット	2月3日
川上 孝司君	2月7日
大野 三恵子メネット	2月12日
田中 慎一君	2月13日
隠塚 文香メネット	2月25日
吉岡 由紀メネット	2月25日

HAPPY ANNIVERSARY

山岸 弘侍・百代夫妻	2月3日
井上 彰・智子夫妻	2月6日
三尾 啓・幸子夫妻	2月11日
谷口 武士・愛子夫妻	2月14日

※1月のAniversaryでデータに間違いがありました。安岡君ご夫妻の結婚記念日は1/11です。謹んでお詫びと訂正を致します。

☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆

1. 京都YMCA発会114年創立100周年記念会員集会

日時：2月15日(土)午後6時30分

会場：京都YMCA三条本館 マナ・ホール

講演：「これからの社会と市民活動の働き」

～世界の中の日本と聖書の間観・世界観～
奥田昌道氏(元最高裁判事・京大名誉教授)

参加：無料

2. 新年度プログラム募集

・スイミング ・アウトドアクラブ

3. 京都YMCA三条本館 ワイワイバザー

日時：2月9日(日)午前10時～午後3時

4. 春休みスキーのお知らせ

各種プログラム参加者募集中。お問い合わせ下さい。

5. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集

場所：神戸YMCA余島キャンプ場

日程：A 3月28日(金)～31日(月) 3泊4日

B 3月31日(月)～4月4日(金) 4泊5日

6. 春休みスイミングスクール

期間：3月25日(火)～30日(日)

場所：京都YMCAウエルネスセンター三条

7. 幼児・小学生ウエルネススクール

各種プログラム有。お問い合わせ下さい。

8. 鉄棒・とび箱が好きになる教室

日時：3月25日(火)～29日(土)

場所：京都YMCA今出川センター体育館

※以上、詳細は加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

ている。委員長は大変である。又三段の杉本ワイズ、為国ワイズ、委員の瀬戸ワイズ、隠塚ワイズの協力なしでは委員会も成り立たないが皆な息ピッタリ。

バレスメンバーの若いパワーは全開である。

(西中)

隠塚 功/委員 瀬戸伊佐雄 西中日向



CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

3 2003

Bulletin

2003.3.1発行
第32巻第6号通巻369号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアーコミュニケーション

国際標語	Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語	Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語	ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語	更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会を去る



聖句

まちがってはいけない、神は侮られるようなかたではない。人は自分のまいたものを、刈り取ることになる。すなわち、自分の肉にまく者は、肉から滅びを刈り取り、霊にまく者は、霊から永遠のいのちを刈り取るであろう。
わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる。 新約聖書 ガラテヤの信徒への手紙 6章 7～9節

イザという時の大黒柱—JWF

JWF管理運営委員長 野村 秋博
(名古屋東海クラブ)

お金があるとそれをアテにしてプログラムを始めたくなるものである。それが多くの人に係わるお金であっても例外ではない。そこでJWF基金についてもその活用をめぐるさまざまな提言が寄せられる。

JWF基金は第51回熱海国際大会に全国から寄せられた拠出金と国際本部からの還付金によるアタミ記念基金が源流である。その後、多くの機会に基金への拠出をして頂き、現在23百万円余となっている。基金の用途はYMCAおよびワイズの運動継続のための重要な案件にのみ活用される。これまでYMCAのリーダー養成やワイズ70年史作成支援等に用いられてきた。

YMCAのスタッフ養成のためには過去にポール・アレキサンダー奨学基金があった。これはその後の社会情勢の変化によってその使命を終えて解散した。戦前、学生YMCAが次代の指導者の育成に寄与したように、戦後、ワイズメンが各地のYMCAと協働したように、新会員の獲得と指導者の育成は、運動体にとっては常にどこかで誰かがその責務を果

たしてゆかなければならない。

全国YMCAではアメリカでの成功体験にならってYMCA会員の中に「担い手会員」を養成すること(メンバーシップ・バイ・デザイン)に取り組み始めた。本年2月にはこの運動を進めるためのトレーナー養成を開始し、東京で45名、大阪で55名が受講した。ワイズメンであるYMCA関係者も参加された。今後各地のYMCAで「担い手会員」づくりのトレーナーを主体にYMCAの活性化が進むものと期待されている。

組織維持のために、イザという時のために、この程度の基金が入り用であると考えられる。同時に組織活性化の絶えざる刺激のために、例えば前記の「担い手会員」の育成のような具体的なニーズへの支援にJWF基金を役立ててゆかなければと考えるので、尚一層の基金の積み増しが要請される。

JWF強調月間にあたって、今月良い事のあったメン・メネットのみなさんに、基金へのハッピー拠出をお願いします。

(日本YMCA同盟委員長)

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 爲國 光俊
書記 西川 寿一
" 吉岡 明彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】EF・JWF

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
2月第1例会	34名	切手	0pt	2月第1例会	17,000円	2月	0円
2月第2例会	33名	累計	0pt	2月第2例会	30,000円		
在籍者数	46名	現金	0円				
出席率	88.9%	累計	0円	累計	256,127円	累計	1,097,815円

2月第1例会報告 -766回-

日時 平成15年2月12日
場所 京都ブライトンホテル

永井 孝

NHK番組のプロジェクトXを引き合いに出して「人を動かすのは言葉より感動を与える事」と開会直後の荒川会長の挨拶。最近ではテレビ他のマスコミで取り上げる浅く浅薄な感動、やらせのお涙頂戴物があふれる中、心よりの感動を得るのは難しい。これは矢張り軽く簡単に飛躍できるものではなく、一步一步地に足を着け日々努力するものが報われるという当然のことが実行されると、その希少価値ゆえ感動を与える事が出来るのだと思われます。

本日のゲストスピーカーは西枝ワイズ紹介の土屋医院院長、土屋守様。「精神科医からみた日本と世界の危機」との演題にてスピーチをいただきました。幼年時代から学生時代、友人の自殺を機に「生と死を考えた」そこから精神科医としてのスタートが有った。現在に移りデフレによるうつ病の増加とそこからの死が社会問題として重要で有るにも関わらず、精神病に対してあまりにも偏見に満ちた社会、そしてその小さく不当な扱いである事を訴えられる。

アメリカ映画「ビューティフルマインド」を例にアメリカの精神病患者に対する社会全般の適切な対応、処置がなされるが故に統合失調症（精神分裂病）の人でもノーベル賞を獲得することが出来、人としての誇りを失うことなくその人生を全うすることが出来るという事。この国としての対処の違いはあまりにも大きく、この種の病を患う日本の人達の悲劇の傷口をより深くし、社会を悪くしている。

続いて、先生は子供の教育で現在の偏差値による評価は疑問であるとの御意見。誠にごもっとも。子供を数字だけで評価するような事は許されることなく、大切な子供達の将来大きく伸びる芽をそこで潰していることを関係者は強く反省すべきであろう。



2月第2会 (TOF例会) 報告 -767回-

日時 平成15年2月26日
場所 三条YMCA

三原 隆

今日は待ちに待ったタイムオブファースト (TOF) の日!。例会には食事が出ませんヨ、それでいいのダ。だって例会の食事なら TOF みたいなもんだから、一層の事、毎回 TOF でも良いな。だからと言ってはなんですが、今日はブライトンホテルじゃなくて YMCA 三条本館なんです。習慣とは恐ろしいもんで知らず知らず、足はブライトンに向いてますわな!!

無事? 皆様が揃ったところで会長の点鐘、続いて本日の TOF についての意味や、我々の食事 1 食分ではあるがそのお金が国際を通じて恵まれない人達に使われることなど三尾ワイズよりのが解説の後、今年初めての新入会員入会式が行われました。

会長の隠し玉、佐藤大臣仁君・45歳。今までにも色々な所で活躍されて来られたとのスポンサーの会長よりの紹介。若い方がいいなあ~やっぱり輝いている。若い人が中心になって我クラブを盛り立ててもらわなくては、期待しています!!

とは言うものの年配には年配にしか出来ない話術と言うものも欠かせません。理事や会長と言った役職は身を捧げてまっとうする物であると、入会式の後に行われた元日本区理事の岡本尚男ワイズの軽妙なお話に会場一瞬静まり返り聞き入り、大野ワイズ次期西日本区理事も神妙に聞いておられました。御講演に感謝!!。会長、身を捧げてまっとうして下さい。

例会終了後ホールにおいて YMCA 100周年記念事業に当クラブより150万円の基金の贈呈が会長より酒井総主事に贈られました。有意義にお使い下さい。



「京都部EMCアワー」参加報告

日 時 平成15年2月1日

小 西 孝 典

2月1日(土)に京都三条YMCAのマナ・ホールにて京都部主催のEMCアワーが行われました。我バレスクラブからは河合EMC委員長はじめ、荒川会長他総勢9名が参加いたしました。参加クラブ中一番参加者が多く、他クラブの方よりさすがバレスさんですね!なんて言われました。戸田部長挨拶の後、立命館大学助教授の石崎祥之先生の「人が集まるには理由(わけ)が有る」と題した講演が有りました。

石崎先生は国際観光論などが専門分野で、各地の観光地の再構築や各種イベント等のプロジェクトを手がけられ、いかにすれば人が集まるかを研究されているとの事でした。そしてお話を聞いているうちに!!これはバレスの次期西日本区大会にピッタリの話では無いでしょうか? 寺社仏閣のライトアップのお話から、ボランティア海岸清掃での人員動員に水着美女を使って動員に成功された話とか(でも、水着の美女をライトアップしたって絶対失敗するそうです。)まったく我がバレスのために呼んでいただいたゲスト・スピーカーでは無いでしょうか? 京都部のお役の方々には感謝・感謝です。講演終了後、早速に非公式ですが我がクラブにも講演をお願い出来ないでしょうか?と軽く打診してしまった次第です。後日石崎先生には我がバレスのEMCアワーで講演いただく予定です。皆さんどうかお楽しみに!

さて、お待たせいたしました我々にとってメイン・イベントの河合委員長のスピーチです!! 現在のバレスクラブは年代別に40代50代60代の人員バランスが程よく取れていて理想的な形で、IT化も急速そして順調に進み、特筆されるのは若手の良い意見がすなおに反映される理想的なクラブとなりつつ有る事で、このままクラブの意思疎通を固めつつ、目標はバレスを西日本区一のスケールにする事!だそうです。そして、今後はもっと30代の若い人が入りやすいような環境を整え西日本区大会に臨みたいとの事でした。

私も同感です、会員数の少ない他クラブのEMC委員長が異句同音に言っておられたのが会員数の減少と新規会員の勧誘の難しさでした。小人数のクラブの委員長さんからは嘆きとも取れるようなスピーチも多々有りました。しかし私は今回のEMCアワーのおかげで我バレスは、まだまだ進化系で有る事をしっかり確信致しました。



京都YMCA100周年会員集会

日 時 平成15年2月15日

杉 本 泰 造

京都YMCA 発会114年、創立100周年を迎えた会員集会と記念講演会が2月15日「土」マナホールで持たれました。

今回の集会の実行委員は岡本都さん、司会は岩本敬子さんと女性の出番は和んで楽しい。奨励は「見えないものに目を注ぐ」と題して、100周年委員長の佐伯牧師からメッセージがありました。又100周年記念行事のアピールが100周年副委員長の堀一行ワイズから巧みな話術でスライドを交えて発表されましたが、特に11月23日みやこメッセで行われます「100周年記念フェスタ」の実行委員長は西川さんがされますので、皆さん良く覚えておいて下さい。

第3部の記念講演会は今回の集会のメインであります。元最高裁判所判事、京都大学名誉教授と云う、重い肩書きの奥田昌道先生を迎えての記念講演でありました。YMCAからお願いした議題は「これからの社会と市民活動の働き」でありましたが、YMCAに気を使われたのか、講演されたのはクリスチャニティのお話ばかりであり、元最高裁の判事さんからの演題のお話しは何も聞けませんでした。又期待していた裁判関係の話も無く、結局は牧師さんのお話でありました。

YMCAの会員集会が以前と同じキリスト色を濃くすると、又会員集会の参加者が減少するのではないかと危惧する100周年会員集会でありました。

次期西日本区理事事務局だより

大野ちゃんが行く vol. 4

2月の大野さんの主な活動は、

- ・ 2月10日 西日本区大会PT出席 京都
- ・ 2月10日 西日本区次期役員会 京都
- ・ 2月17日 西日本区大会PT出席 京都

でした。今月は3月に予定されている会長研修会の準備作業がメインです。1月の時期役員研修会で先に発表された大野さんの事業計画に応じて、各事業主任さんが自分の事業計画を立て、予算をたて、ゴールを設定していきます。またそれを受けて西日本区全体の予算も決まっていきます。ここでの計画は大野さんの年度の事業がどのように展開していくかを左右する非常に重要な作業なわけですから。決められた計画は3月の会長研修会で発表されますが、当クラブからも堤君が参加予定です。隠塚君は欠席かな? まあ、どんな計画が発表されるのかお楽しみに…

(事務局長)

「京都部合同メネット会」参加報告

日時 平成15年2月22日

荒川 恵子

去る2月22日に60名ほどの参加者により、七宝において開催されました。我がパレスクラブからは井上有子さん、河合美也子さん、杉本笙子さん、谷口愛子さん、為国智子さん、為国コメットが参加されました。

京都部メネット主催メイブルクラブの岡本さんの挨拶により開会され、ご来賓の方々もたくさんお見えになり楽しくにぎやかな会が催されました。

各テーブルごとにより行われたゲーム大会や、各クラブから集められた商品によるバザー、健康チェックが催されたりで、女性ならではの会（華やかな…）の雰囲気が感じられ十分楽しませて頂きました。

また手作りのメネット会にとおっしゃって通りの会で、和気藟々のうちの4時間でしたが、他のクラブのメネットの方々との会話が出来、日頃はパレスの方々だけでは、又違った角度からパレスを見る事が出来ました。

パレスではメネット会はございませんが、メネット会が活発に行われているんだなあとしひしと感じました。今後に置きましても出来る限り参加し、ワイズのメネットとして心と心のつながりを大切に参ります。

今回ご参加していただきましたメネット様に御礼を申し上げますと共に今後のメネット会のご繁栄をお祈り申し上げます。



コラム

1の裏は6

今こそパレス

今年は京都YMCAが100年を迎えます。2月15日の創立100周年会員集いをキックオフとして、主な記念行事は10月11日に京都コンサートホテルに於て創立100周年記念式典、そして11月23日には京都みやこめっせに於て、会員・一般市民を対象にした3000人規模の京都YMCA100周年フェスタ、更に12月19日には京都駅構内の大階段を舞台にして市民クリスマスを開催します。

ワイズメンズクラブの目的は「まず第一にYMCAのためのサービスクラブとして活動する」と国際憲法に明記されています。ワイズメンとして今こそYMCAにサービスする絶好のチャンス到来です。YMCAの活動をもっと一般市民に知っていただき、YMCAのボランティアアソシエーションとしての顔をアピールし、YMCAのサポーターを多くつくる事がこれからの100年を更に発展させる大きな力になるのではないのでしょうか。その為にもYMCAの維持会員としてのワイズメンひとり一人がもっとYMCAに関心をもってもらいたい。

パレスクラブにとって7月には33年目にして初めて西日本理事を輩出します。パレスクラブの言動は西日本区の注

「車いす駅伝」報告

日時 平成15年2月23日

吉岡 明彦

2月23日（日）全国車いす駅伝競争大会2003が行われました。開催当日は、心配された前日の雨も上がり比較的穏やかな日となり、全国から集められた多数の選手、役員、ボランティアでごった返すなか、11時30分に宝ヶ池プリンスホテル前をスタート地点とし、始まりました。

リラックスした雰囲気の中、初めて参加の選手、回数を重ねられたベテランの選手、各々の大会に賭ける思いを胸にされた、その熱意を感じながら選手の乗車補助のお手伝いをさせてもらいました。

選手がレーサーに乗られる際、「足が動かない」ことがどのようなことか改めて現実を考えさせられました。日頃から、この日の為に練習し鍛えられた太い腕・たくましい上半身を見るにつけ、転倒などのケガがないようにと願わずには居れませんでした。また、レーサーのスピードに圧倒され、選手の皆さんのファイトに感動した冬の日でした。

早朝からにもかかわらず、参加された川勝さん・杉本さん・田中慎一さん・西中さん・平井さん・三尾さん、



ありがとうございました。休日の行事では有りますが、多くのメンバー（特に若い方）の参加をお願いします。

目的であります。パレスクラブの会則に「親睦の内に素晴らしい人間を創るための愛に基づく自己研鑽の場である」と記されている通り、今こそこれまで培ってきた親睦とメンバー間の信頼を基にその力を発揮すべき時がきたのです。この時の為に今迄クラブ活動をやってきたのです。

現在西日本区大会のホストに向けてPTを中心に議論が続けられています。立命館大学助教授の石崎祥之先生もおっしゃってられます。人が集まるには理由（わけ）がある”即ち人を集めるにはそこに思い、熱意が伝わらなければ人は集まらない。今回の西日本区大会にしても会場や温泉だけでは人は集まらない。そこにホストクラブの熱い思いが伝わらなければだめである。3人寄れば文殊の知恵の如く、クラブメンバー全員がこの西日本区大会ホストに向けて熱い情熱を傾け、議論を重ね、知恵を出し合えばきっと良い大会にできると思うし、又その事が大野理事を勇気づけ励ます事になるのではないのでしょうか。結果も大切であるが、そのプロセスも大切であり、その過程でメンバーの意識も変化しクラブの活性化につながるのです。何事も一生懸命やれば、きっと終わった時には大きな感動があります。今こそその感動を全員で味わおうではありませんか。

（古時計）

EMC研修旅行

日時 平成15年2月28日～3月1日

荒川 徹

1泊で加賀百万石にパレスから総勢16名、金沢クラブからは数沢会長、会長メネット、高口メネット会長、金沢岸川クラブからは北会長、三谷次期会長そしてJTBさんの参加のもと研修旅行が実施されました。

夕方に到着し、夕食はそっちのけで会場見学、800人収容の大宴会場は流石に圧巻です。お膳を並べて確認するメンバー有り、端まで歩いて大きさを実感するメンバー有り、畳の部屋では最高の大きさです。また館内には櫓を組んだお祭り広場もあり、夜になるとイベントが開催されます。

宴会では各クラブ会長の挨拶の後メンバー紹介、そして宴会も盛り上がり(ここだけの話ですが2隻の船盛り、地ビールがおもてなしとして私達のお腹に入りました。ここだけの話です。)杉本副会長の3本締めでお開きです。その後、温泉に入る方、バーにいかれる方、3役会を待っておられる方、違う部屋の前で待っている方など色々と…。大野次期西日本区理事は数沢会長と密談じゃなく親交を深められていました。その後、翌朝までにあったことは各メンバーにお聞き下さい。

朝から再度ホテル探訪、各部屋タイプの確認です。そしてホテルを出て文化会館の見学。ここは1000人位のホールでホテルからは10分足らずの場所です。次に駅の見学。ここで突如大野さんがのほりを立てる許可を取りに行くと駅に入り、駅長のOKを取って来られました。流石は前進前進又前進の大野流。最終は小松空港の見学。昼食はガラス館で金沢の皆さんとともに頂きました。

今回のツアーで現地の状況把握はできました。前回の例会でも申し上げましたが、今回はクリスマスのPTとは訳が違います。動くお金、動く人、場所すべてがスケール大です。今、起こっている事に対してご意見、アドバイス、ご示唆を下さい。決まってからでは遅いんです。今回の西日本区大会は一体誰の為に開催されるのでしょうか、誰の為にホストを受けたのでしょうか。ご協力をお願いします。



◆◆新入会員紹介◆◆

2月26日のTOF例会で入会式を行いました新メンバーをご紹介します。どうぞよろしく!!

さとう たかひろ
佐藤 大臣仁 君
昭和32年11月17日生
京都市中京区在住



株式会社洛東工芸
代表取締役

(商業施設設計、施工、装飾、展示)

＝＝会 員 情 報＝＝

★「おんづか功を励ます会」★

日時 平成15年2月16日

隠塚 功

小雨の降る2月16日(日)、4月の京都市議会議員選挙に立候補を予定している私のイベント「おんづか功を励ます会」を京都国際会館にて開催させて頂いた。国際会館と言えば、パレス30周年記念例会の会場であり、また当時の杉井部長のもとで開催された京都部部会の会場である。何かとパレスに縁のある会場で、約400名の方にご参加頂いて私の会合が開催できたことは大変喜ばしいものであった。

私は日頃のNPO活動を通じて「市民が置き去りにされていた京都市政から、市民が政策決定に関わるのことができる京都市政への改革」を目指して活動しており、この日も参加者にこのことを訴えた。多くの参加者にご理解頂けたものと考えている。

現在パレスでは、連日の西日本区大会に関する議論、3月のEMC100人例会やIBC・DBC訪問の準備など、調整必要な行事が目白押しである。そんな中、貴重な時間を割いて、多くのメンバーに駆け付けて頂いた。中でも山本一博君、吉田享弘君は当日の司会や裏方としてご協力頂いた。こうしたパレスのメンバーに支えられ、今の自分が活動できていることに心から感謝すると共に、皆さんの気持ちにしっかりと応えなくてはならない自分の責任の重さを改めて実感しているところである。花見例会は選挙本番中であり出席することはできないが、4月の第二例会には京都市議会議員として出席できるよう、残りの期間頑張りぬくことを心に誓う一日であった。



☆☆☆EMC委員会より☆☆☆

EMC100人例会（3月第2例会）のPR

メンバー増強及びクラブの活性化、また他クラブとの交流を深める為にも、今期2度目のEMC例会を企画しました。今回は、元吉本興業(株)常務取締役の木村政雄氏をゲストスピーカーに迎えて、お笑いビジネスを結びつけた経験をベースに、この不透明な時代を斬る軽妙なトークで、皆様方と共に楽しく学ぶ機会にしたいと思っています。

ゲスト・メネットお誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしています。

■日時 3月26日（水）19時～21時

■会場 ホテルプリンセス京都（下京区烏丸高辻東入）

■会費 ゲスト及びメネット 6,000円

昭和21年京都市生まれ。
昭和44年同志社大学卒業、
同4月吉本興業(株)入社。
「やすきよ」のマネージャーを
8年半務め数々の事件を処理。
昭和55年東京事務所に赴任、
数多くのタレントを売り出す。
平成4年取締役に就任、全国展開を推進。
平成9年常務取締役に就任。平成14年10月退職。
現在、新たな自分興しプロジェクトを構想中。



役員会報告

第1号議案	4月第一例会の会場と内容の件	継続審議
第2号議案	4月第二例会の内容の件	承認
第3号議案	新入会員（佐藤大臣仁君）の件	承認
第4号議案	東京グリーンクラブ30周年お祝いの件	承認
第5号議案	グローバルクラブ10周年お祝いの件	承認
第6号議案	ウイングクラブ15周年お祝いの件	承認
第7号議案	彦根クラブ50周年お祝いの件	承認
第8号議案	次期会長研修会援助金の件	承認
第9号議案	宮本隼史君ご長男ご結婚お祝いの件	承認

※詳細は所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。
※尚、ホームページには常時掲載されていますので、ご確認下さい。<http://www.tamekuni.co.jp/palace/>

編集後記

正直な事を言うとブリテンの制作は毎月の役員会の少し前にバタバタと行っている。だから一生懸命にチェックしたつもりでもタイプミスがあるし、校正漏れも生じてしまう。これは言い訳になるけど、催促しなくても皆さんからどんどん原

3月スケジュール

役員会	5日（水）	京都ブライトンホテル
第1例会	12日（水）	京都ブライトンホテル
第2例会	26日（水）	京都ブライトンホテル
YMCAリーダー卒業祝会	9日（日）	三条YMCA

HAPPY BIRTHDAY

小西和子メネット	3月9日
谷口武士君	3月10日
西中日向君	3月13日
鈴木俊一君	3月17日
小櫻八重子メネット	3月18日

HAPPY ANNIVERSARY

川上孝司・ひで子夫妻	3月13日
佐藤大臣仁・典子夫妻	3月21日
井上均・有子夫妻	3月22日

☆☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆☆

- 2002年度卒業生リーダー祝会
とき 3月9日(日) 午後2時～5時
会場 京都YMCA 三条本館マナホール
- 新年度プログラム募集
スイミングスクール・幼児少年体育活動・グローバルアウトドアクラブ
- 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中
場所 神戸YMCA余島キャンプ場
A：日程 3月28日(金)～31日(月)3泊4日
対象 小学1年生～6年生
費用 48,800円
B：日程 3月31日(月)～4月4日(金)4泊5日
対象 小学2年生～高校3年生
費用 54,000円
- 英会話無料サンプルレッスンのご案内
幼児(年中・年長) 3月12日(水)・20日(木)
小学生1年～3年 3月12日(水)・20日(木)
小学生4年～6年 3月11日(火)
中学生1年 3月24日(月)
中学生2・3年 3月28日(金)
高校生 3月18日(火)・28日(金)
成人・初級 3月18日(火)・27日(木)
成人・中級1.2 3月19日(水)・25日(火)
中級3.4 3月24日(月)

※以上、詳細は加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

稿が寄せられる様になると、もう少しゆっくり出来るかも知れない。それともう1つ。FAXで頂く原稿の大半はワープロで打って頂いている。そこまで出来ているのだったら、後はメールで送って頂ければFAXを見ながら再入力する手間が省けるのだけれど…。まあ、来期への引き継ぎ事項としよう。(委員長)



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

4 2003

CLUB OFFICE
京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

Bulletin

2003.4.1発行
第32巻第9号通巻370号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語 Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語 Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語 ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語 更なる友情を求めて

心球めて例会に到り境地を得て例会を去る



聖句

互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがなくてはなりません。
人を愛する者は、律法を全うしているのです。

新約聖書 ローマの信徒への手紙 13章 8節

それでもなお、人を愛しなさい

京都YMCA 総主事 神崎清一

2003年4月1日、創立100周年を迎えました京都YMCAの第11代総主事として歩むこととなりました。

聖書には「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められたときがある」とされています。私が拝命した総主事という役割の大きさ、責任の重さを考えますと、本当に小さき人間であります「私」にとって、神に自分自身の「仕事」を委ねたものではありませんが、あらためてこの聖句を考えさせられ、何度も何度も読み返しました。

ワイズメンの方々、会員、リーダー、スタッフの皆さんとともに、これからも京都YMCAが神の定められたように歩んでいくことが出来ますように、すべての思いを尽くし、すべての力を尽くし、そして神に委ねていくことを、あらためて強く確信しています。

さて過日、「それでもなお、人を愛しなさい」：ケント・M・キース著を読みました。この本は人生の意味を見つけるための逆説の10か条として書かれています。

人間は本当に弱く、小さいものであります。そんな私たちがYMCAを通じて世界に、地域に、家族に、人にメッセージを伝えていくときに肝に銘じなければいけないことが多くありました。いくつかご紹介させていただきます。

人は不合理で、わからず屋で、わがままな存在だ。それでもなお、人を愛しなさい。

何か良いことをすれば、隠された利己的な動機があるはずだと人に責められるだろう。それでもなお、良いことをしなさい。

今日の善行は明日になれば忘れられるだろう。それでもなお、良いことをしなさい。

人は弱者をひいきにはするが、勝者のあとにしかついていかない。それでもなお、弱者のために戦いなさい。

世界のために最善を尽くしても、その見返りにひどい仕打ちを受けるかもしれない。それでもなお、世界のために最善を尽くしなさい。

世界の様々な不幸な出来事、あってはならないこと。意見の違いや価値観の違い、言葉の行き違いからの些細ないざござから紛争まで。多くのあってはならないこと。すべては所詮、弱く小さき「人間」の行い。それでもなお、YMCAは人を愛します。弱者のために戦います。世界のために最善をつくします。

どうか今後ともYMCAの運動、諸活動をご支援いただきますようお願いいたします。

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 爲國 光俊
書記 西川 寿一
" 吉岡 明彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】YMCAサービス・ASF

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
3月第1例会	34名	切手	0pt	3月第1例会	24,000円	3月	188,000円
3月第2例会	38名	累計	0pt	3月第2例会	21,000円		
在籍者数	46名	現金	0円				
出席率	91.1%	累計	0円	累計	301,127円	累計	1,285,815円

3月第1例会報告 -768回-

日時 平成15年3月12日
場所 京都ブライトンホテル

山岸 弘 侍

3月と言うのに、連日の寒波で冬に逆戻りの中、3月12日(水)3月第1例会が開催されました。

本例会は年に一度のトスファンドと次期委員長承認の臨時総会です。開会30分前より、ファンド委員会によるメンバー提供の品物の受け付けが始まりました。開会定刻が迫るにつれ品物の山が築かれました。先刻、森田ワイズの司会により荒川会長の開会点鐘と形どおりのセレモニー、会食ではトスファンドの雰囲気盛り上げるために、アルコールが出され会話がはずむ中、ファンド委員会によるトスファンドのオークションが開始。

今期の超目玉商品は井上彰YS手作りの切絵(市場価格2万円以上)、小西YSのチタンフレームメガネ(市場価格4万円以上)、岡本YSの舶来生地で作られたオーダーメイド仕立ての背広、平井YSの春日灯笼(三州、6尺)据付込み、と豪華商品が多数提供されましたが、あっという間にせり落とされ、売上金額は188,000円(現金提供含む)でファンド委員会の目標額を十分達成することができました。メンバー各位のご厚意に心から御礼申し上げます。

トスファンド終了後、臨時総会が開催され、堤次期会長より来期事業委員長の件が提案されました。YサASF・岡本委員長、地域奉仕・三尾委員長、EMC・小西委員長、ファンド・杉井委員長、交流・川上委員長、ドライバー井上均委員長、広報・山田委員長、満場一致で承認されました。



3月第2例会(EMC120人例会)報告 -769回-

日時 平成15年3月26日
場所 プリンセス京都ホテル

河合 信 也

本日は今期2度目のEMC例会です。今回はメンバー増強やクラブの広報活動だけに留まらず、他クラブとの交流も視野に入れ、DBC公式訪問の熱海クラブを始め、他クラブメンバー・メネット、入会候補のゲスト、バレスメンバー・メネット、総勢120名の参加です。

会場のプリンセス京都ホテルにて、定刻の7:00に荒川会長少し遅慮気味の点鐘、バレス・熱海両クラブ会長の挨拶で賑やかにスタート。慣れてないゲストには少し苦痛の高速ディナーのあと、彦根シャトークラブ、長浜クラブによる今期の西日本区大会のアピールが行われました。もうすぐ我々もこのようにアピールに回らなければなんて思いながらも、いよいよ御待ちかね本日のメインゲストの元吉本興業常務取締役 木村政雄様の登場です。

テーマは「不透明な時代をぶち破る、吉本興業から学んだオンリーワンのすすめ」で、時代は確実に変わっていて競争のルールも同質間から異質間に、吉本の敵は松竹芸能では無く、ジャニーズ事務所やディズニーランドかもしれない時代に入りつつあると、また他よりも優れていることよりも、異なるということに価値があるというオンリーワンのすすめ、これからは独自性や存在感が非常に大事にされる時代であり、今までのように自分を殺して全体に尽くすのではなく、自分自身をしっかり持って自己主張の出来る人間にならないと…等々。吉本のタレントを例にあげて非常に分かりやすく楽しい内容で、我々のビジネスやクラブでの活動に大変参考になるご講演で、40分間の延長例会があっという間に終了しました。

バレスも今後は古いルールや枠組みにとらわれては衰退してしまいます。どんどん自分の意見を述べて21世紀型の独自性のある奉仕クラブを目指しましょう。



東京グリーンクラブ訪問記

日 時 平成15年3月9日

三 尾 啓

東京グリーンクラブの創立30周年記念式典が、神田の東京YMCA会館ビルに於て、この3月9日（日）午後、盛会裡に開催された。出席者274名という盛大さで、DBCのわがバレスからもゲスト3名を含む総勢16名で参加した。式典は3部構成で、1部が記念礼拝、2部が陣内秀信法政大学教授（建築史・都市工学専攻）による「東京の水辺景観の変遷：神田川」と題する講演であり、3部では同会館3階のホールに場所を移して立食パーティー形式の記念祝会が催された。パーティーではグリーンクラブIBCのマニラダウタウンクラブ会長の挨拶やバレス荒川会長の祝辞の後、森下昇とFRIENDS演奏による「カントリーウエスタンの夕べ」へと、華やかな雰囲気の中に続いていった。浅見隆夫会長の挨拶にもあったように、この東京YMCA会館ビルは近々に取り壊される予定との事で、全く残念な事である。

さて私が一番期待していたのは、2部の陣内先生の講演であった。私は約20年前、東京の建築設計事務所で10年間働いていた経験があるが、当時ヴェネチア留学から帰国された陣内先生の東京ウォーターフロント改修計画の講演や著書に触れた事があり、当時としては先駆的な水辺景観を切り口にメガロポリス東京を眺めるというユニークな視点に興味を持っていたのだ。東京グリーンクラブが続けてこられた「神田川・船の会」運動による水辺景観美化運動の足跡と歩調を一にしており、テーマにもピッタリと合った演者とテーマであった様に思う。前夜祭にも参加したが、それは東京湾河川をクルージング客船で約2時間かけて食事と夜景を楽しむというものであったが、水辺側から見る大東京の夜景はやはり、京都・大阪にはないビッグビューであった。創立時から見ると、ほぼそのままメンバーが高齢化したようなもの、と浅見会長がおっしゃっていたが、加齢して益々元気なグリーンクラブの電位に触れた気がした。

（出席者：荒川会長、川勝交流委員長、井上均、大野、杉本、鈴木、田中勝、為国、西川、平井、宮本、吉田、三尾、他ゲスト2名、コメット1名）



京都グローバルクラブ10周年記念例会

日 時 平成15年3月29日

杉 井 恭 敏

3月29日（土）京都グローバルワイズメンズクラブ設立10周年記念例会がリーガロイヤルホテル京都にて盛大に開催されました。

同クラブはわがクラブが1993年3月に5番目の子クラブとして西中会長の時代に田中勝君を実行委員長として誕生したクラブです。その時、我がクラブから会長経験者4名他計9名のキーメンバーを送り出しました。現在、メンバー数は51名（内13名が女性）と西日本区最大のクラブとなられ、5年前の澤田会長時代と2年前の山岸会長時代、2度も西日本区最優秀クラブ賞に輝いておられます。その秘訣は明るく、元氣よく一致団結されていることと推察いたしました。記念アクトでは京都YMCA100周年募金として50万円の寄贈と支援先の修光学園に記念品を贈呈されました。同時に熊本ワイズメンズクラブとDBCを結ばれました。又、席上阪田民明初代会長がクラブで5年間検討に検討を重ねられたグローバル宣言なるものを発表されました。ここにご披露させていただきます。

グローバル宣言 未来に向かって

- ・私達は、良質の人間関係を保ち、有効の輪をグローバルに広げます。
- ・私達は、地域社会に親睦のエネルギーを放出し、限りない奉仕をします。
- ・私達は、YMCAと良きパートナーシップを保ち、国際社会に奉仕します。



彦根ワイズメンズクラブ創立50周年記念例会

日 時 平成15年 3月29日

杉 本 泰 造

今年初めて春日和の3月23日、彦根ワイズメンズクラブの創立50周年記念例会が彦根プリンスホテルで開会されました。

大野さんと二人で出席致しました。車の中で大野さんのワイズ、仕事の多忙なスケジュールを聞いて、恐れ入りました。西日本区理事としての情熱と夢は広がっています。

さて、記念例会は160名の出席が有りました。彦根の地域の特徴は、記念例会には必ず市長、地域の奉仕クラブの代表を招いて、それぞれのスピーチがあり、交流を深めていることです。例会で印象深かったのは、50年の歴史の重みもしかる事ながら、当日の記念演奏会のプログラムでありました。戸部豊さんのトランペット、奥様のピアノ伴奏、お子様二人の賛美歌、そして演奏のお手伝いと、家族をあけての微笑ましい演奏でありました。戸部さんの家族は今日本には見られぬファミリーで、家族共々アメリカで賛美歌演奏の布教されているという、誠に感動と感銘を受けた演奏であり家族でありました。

その後、大野さんの楽しいスピーチと乾杯でディナーが始まりました。以降は余談になりますが、昼の事でありますのでジュースを一杯頂き、食事が進み、もう一杯ジュースかウーロン茶をと頼みました所、なんとなんと、400円の現金払いというじゃありませんか、登録費は10,000円ですぞ……京都のワイズでは考えられない。彦根さん、僅かの事ケチらんといて。さもなくば近江商人発祥の地の為せる業か……。その他、色々学ぶ所の多い記念例会でした。

YMCAリーダー卒業祝会

日 時 平成15年 3月 9日

井 上 彰

春とはいえ少し肌寒い3月9日にリーダー卒業祝会が行われた。YMCAから卒業していく各リーダーは羽織袴、振袖、ドレス、等大変華やかないでたちである。

礼拝式では型通りの聖歌、聖書朗読、奨励、祈禱等、順次進行していき、黙禱を最後に式典を終え、少しの休憩をはさんで第2部の交流会へとうつる。

ゲームをしながらの自己紹介、あまり若者と話をする機会がないので話題を選びながら話している自分に「少し年をとったかな……？」と心の中でつぶやく。卒業リーダーの紹介コーナーではスクリーンにリーダーの活動している様子を写しだして、そこにプロップを入れたり、パソコンと携帯電話を接続して音声と画像を同時に送りメッセージをもらったりと我々には思いもよらないような企画が飛び出してくる。

そんな若者達の中に入って楽しい時間を過ごしている自分自身が少し違和感を感じつつ、青春時代のかけがえない貴重な時間を過した彼らを見てみると今の若者にもすばらしい人材が育っている事をつくづく感じさせられた1日であった。



コラム 1の裏は6

輩論

近頃ちょっと気に入らない輩の多いこと多い事。今日は諸々の「輩論」を展開してみよう。

自分が正義で何時も正しいと思ひ込む輩、自分の価値観を押し付ける輩、強い者にはベコベコするが弱い者には威張る輩、権限委譲と丸投げの区別がつかない輩、事の重要度の判断が出来ない輩、寄らば大樹の陰に隠れたい輩、責任ある表側には出ずに陰で人を操りたい輩、古びた経験ばかり自慢する輩、中身が無いのに若さばかり強調する輩、責任は取らないが成果は取る輩、他人がどう思っているか全く気がつかない感受性の鈍い輩、人の評判ばかりを気にしすぎる輩、虎の意を借りればやたらに強く成る輩、常に群れてないと落ち着かない草食動物型の輩、危険は自分を避けて通ると信じ、何の備えも無い輩、常にマイナス思考の輩、ポケの始まりを認めたく無い輩、理論だけで行動の伴わない輩、何にでも反対する輩、約束を守らない輩、期限内に終わらなくても責任を感じない輩、新しい事や変わったことは拒否する輩、

常に規則に縛られている事に快感を持っている輩、場の雰囲気を見殺し持論のみを展開する輩、道具を与えれば競争したがる輩、競争は悪だと確信している輩、金は出すが汗は出さない輩、借りた金を返さない輩、金も汗も出さないが口だけ出す輩。

思いつくままに現在の社会世相を考えながら色々と殴り書きをしていると、ハタと気がついた。

おいおい待てよ、この様な輩は我がクラブにも居るのではないか、暇に明かせて自分はどれとどれに該当するのか、嫌われ者の誰かさんはいくつぐらい当てはまるのか考えながら一人笑うのも一興かな？

(斜遊人)



京都YMCA総主事就退任式

日 時 平成15年3月21日

杉 本 泰 造

春寒も少し肌にゆるむ3月21日、京都YMCAにて総主事就退任式が行われました。式には、海外、日本各地の総主事、又多数の来賓の出席がありました。

今年3月をもって退任される第10代総主事酒井善弘さんは、10年間京都YMCAの総主事を勤められました。しかし、この10年間はYMCAにとっても誠に厳しい時代でありました。そしてこの時代を乗り越えられたのも、時代の救世主、酒井さんの耐え忍ぶ手腕、誠実な人柄があったからだと思います。いつもニコニコして苦しさを笑顔で隠して、京都YMCA崩壊の危機を救われました。厳しい時代の10年間ご苦労様でした。しばらくは心身を休めて次の仕事に励んでください。

また、次の京都YMCAの舵取りをされる第11代総主事の神崎清一さんの就任の挨拶があり、秘めた力を京都YMCAの更なる発展に尽くされる期待が見えました。

その後の歓談では京都部部長の戸田さんから、ワイズ一同からと、酒井さんに記念品を神崎さんに花束を贈り、それぞれの労をねぎらわれました。



次期会長研修会

日 時 平成15年3月21日

堤 雄 次

3月21日の金曜日、研修会場のYMCA六甲研修センター目指して出発、名神に入ってしばらくすると、大渋滞に巻き込まれストップ。なんでやね〜ん。

何とか無事時間前に到着、早めに出発して大正解。開講式も無事終了した後で、いよいよ研修会が始まり、始まり、苦行？のスタートじゃ。なんでやね〜ん。

まず、大野次期理事より、西日本区理事方針を聞く。理事標語は「未来に架ける橋」と決定。私も会長標語をそろそろ考えないと（皆で橋を渡ろう）はだめだね。早口でのスピーチで聞き難くないかと、言ったが、それなら、ゆっくり話す練習したら？なんでやね〜ん。

少しの休憩をはさんで、なかなかハードスケジュールの研修で、夕食前には、腰が痛くなった、なんでやね〜ん。

フレンドシップアワーの適度のアルコールで腰痛が緩和、一安心、それにしてもワイズメンバーの芸達者には、脱帽するわ、皆一芸持ちすぎ。なんでやね〜ん。

そして、部屋に戻っても、談話室？で遅くまでワイズ談議、よくそんな話すネタが、有るネー、ネタ無し人間は睡眠が一番、ベッドに直行。なんでやね〜ん。

次の日も、結構ハードな研修、また腰痛なりそう、閉講式は、都合で早退しちゃった。なんでやね〜ん。



次期西日本区理事事務局だより

大野ちゃんが行く vol. 5

3月の大野さんの主な活動は、

- ・ 3月3日 次期会長研修会準備会議 京都
- ・ 3月4日 メネット事業主任会議 京都
- ・ 3月6日 西日本区大会PT出席 京都
- ・ 3月8日 東京グリーンクラブ30周年 東京
- ・ 3月21日～22日 次期会長研修会 六甲
- ・ 3月22日 京都ウイングクラブ15周年 京都
- ・ 3月23日 彦根クラブ50周年 彦根
- ・ 3月29日 京都グローバルクラブ10周年 京都

でした。やっぱり7月からの本番を前にして忙しくなってきました。

ハイライトは21日、22日の両日にYMCA六甲研修

センターで行われた次期会長研修会です。西日本区の役員はもとより、西日本区9部の部長と事業主査、西日本区84クラブのクラブ会長が一同に神戸六甲研修センターに集い次期に向けての研修を受けました。当クラブからも堤次期会長が出席しました。連休の渋滞の中遅刻者も見受けられましたが、研修会がスタートし、開講式の後大野さんが次期理事として西日本区の方針を「未来に架ける橋」というテーマのもと熱く語られました。前回の次期役員研修会のときよりさらに鮮明に、そして具体的に自分の考えを述べられ、本番を間近に理事としての風格が出てこられたなーと感じるスピーチでした（誉めすぎ?）。その後もプログラムが順調に消化され無事2日間にわたる研修会が終了しました。参加された皆さん本当にご苦労様でした。そして大野さん本当にご苦労様でした。

(事務局長)

役員会報告

第1号議案	3月第2例会ゲストスピーカーお礼金の件	承認
第2号議案	4月第1例会アトラクション費用の件	承認
第3号議案	5月第1例会の件	承認
第4号議案	5月第2例会の件	承認
第5号議案	和敬学園ボーリング大会の件	承認
第6号議案	5月第2例会スピーチの件	承認

※詳細は所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。
 ※尚、ホームページには常時掲載されていますので、ご確認下さい。<http://www.tamekuni.co.jp/palace/>

4月スケジュール

役員会	2日(水)	京都プライトンホテル
第1例会	9日(水)	浜町(春の懇親例会)
第2例会	23日(水)	京都プライトンホテル
次期準備役員会	16日(水)	京都プライトンホテル
夜桜フェスタ	20日(日)	リトリートセンター

※CS親善ソフトボール、台湾エバグリーンクラブ訪問は、それぞれやむなき事情により中止となりました。

HAPPY BIRTHDAY

森田 美都子 君	2日
佐藤 典子 メネット	2日
谷口 愛子 メネット	15日
高谷 町江 メネット	18日
高岡 麻美子 メネット	20日

HAPPY ANNIVERSARY

吉岡 明彦・由紀 夫妻	17日
瀬戸 伊佐雄・智恵子 夫妻	18日
高岡 昇・麻美子 夫妻	20日
河合 信也・美也子 夫妻	30日

編集後記

今月号は第2例会で配布するので時間的には余裕があった。そこで一切原稿の催促をしないという実験？を密かに行った。その結果は……。いやいや、さすがはバレスである。きっちり締め切り数日後には何も言わなくても原稿は集まるものだ。これが締切当日には……となればもっと素晴らしい訳で、今後はそうなる事を期待したい。もっとも、原稿がきちんと集まっても編集する私が怠慢すれば今回の様にギリギリの入稿になって、瀬戸ワイズに頼んでいた編集後記を書いてもらう時間が無くなってしまう(ゴメンナサイ)のだけれど……。そんな訳で、今これを書いているのは4月半ばである。情報の

☆☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆

1. ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申し上げます。おかげさまで今年も16名のボランティアリーダーが果立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。いただきました寄付金は記念アルバムや写真、祝会の運営費として用いさせていただきました。ありがとうございました。

2. 奉仕活動基金のご協力のお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、国際協力のための援助、障害を持つ人々への援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただきます。今年も下記のとおり行いますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

キャンペーン期間 4月～6月

一口募金額 1,000円

納入方法 京都YMCA各館受付へ
(郵便振替でも受け付けております。)

3. ボランティア・チューター募集!

日本語科で日本語を学んでいる外国人を相手に1週間に1回、1時間程度日常会話の練習をしてくださる方を募集します。(説明会も予定しております。)

4. リトリートセンター第4回夜桜フェスタ

とき 4月20日(日)午後4時30分～8時

ところ 京都YMCAリトリートセンター

現地集合・解散

参加費 2,500円(花見弁当つき)

5. キッズチャレンジクラブ参加者募集

学校が休みの土曜日に、豊かな自然に囲まれた施設で手作りおもちゃを作ったり、森や川を探検します。

対象 小学生1～6年生

場所 京都YMCAリトリートセンター

定員 30名(申込み順)

※以上、詳細は加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

告知という面では半月遅れでは意味がない。これも来期以降への引き継ぎ事項かな。

ところで個人的な話だが、私の周囲では4月は悲喜こもごも様々な事が起こっている。嬉しい方では隠塚ワイズの当選があった。親友の結婚もあった。悲しい方ではいくつかの計報が届いた。残念だったのは、三尾主査や吉田ワイズが準備を進めて来られたソフトボールの中止とSARSによる台湾訪問の中止。その他にも……4月は激動の月になりそうだ。でも、いろいろある事こそクラブの醍醐味、人生のスパイス？だと思ふ。余談だけど、参加できなかった川柳大会の作品集を誰か発行して貰えないだろうか。(委員長)



CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075)432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

5 2003

Bulletin

2003.5.1発行
第32巻第10号通巻371号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語 Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語 Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語 ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語 更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会を去る



聖句

人の歩む道は主の御目の前にある。その道を主はすべて計っておられる。

旧約聖書 箴言 5章21節

YMCAへの想い

京都YMCA 前総主事 酒井善弘

本年、3月末で大阪・広島・京都 YMCA 約40年の働きを終えました。京都 YMCA の30年のうち、とりわけ最後の10年間は、一個の社会人としてもワイズメンの皆様からご指導を賜り御礼を申し上げます。

YMCA は、会員団体であると共に事業型の財団法人であり、国や地方自治体の助成や補助を受けない団体であります。こうして“自立と自律”を保持しつつ、京都 YMCA は100年の歴史を刻んできました。しかし、その時々には艱難もありましたが、先達の祈りと働きによって今日があるものと感謝いたします。90年代の財政上の問題で、2年ごとに募金を実施し、随分ワイズメンズクラブの皆様にもご迷惑をお掛けいたしました。バレスクラブは、「分かった」と即座に多くの支援を賜りましたことに感謝いたします。

前世紀末に問われた YMCA の真の課題は、多くの法人や団体と同様に「存在の原点」を検証することでした。しかし財政問題に余りにも固執しすぎ、総主事の責務で

ある「21世紀における京都 YMCA 全体のビジョンや方向性」を打ち出さないまま退職いたし、大変申し訳なく存じます。

そこで私の夢ですが、以前のような右上がり時代の到来は無いと考え、「大規模ソフト、小規模ハードな YMCA」をイメージしています。大規模ソフトとは、人間の側に価値観を置いた世界や社会を創造することを指します。そのために、このような価値観をもった小コミュニティを YMCA 内で子供や親・会員によって形成する。その上、地域社会や人々の中であってそれらの人々が核となって新たなコミュニティを作っていくという仕組みです。一方、小規模ハードとは、人的・財的な構造の改革をさらに進め、適正化をより進めることです。つまり規模が小さくとも大きな働きの YMCA を夢見ています。

100周年を迎えた京都 YMCA の次の形成に向けて、ワイズメンの協力を心からお願いいたします。

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 爲國 光俊
書記 西川 寿一
" 吉岡 明彦
会計 田中 一馬
" 小西 孝典

【強調月間】LT

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
4月第1例会	34名	切手	0pt	4月第1例会	0円	4月	0円
4月第2例会	39名	累計	0pt	4月第2例会	5,750円		
在籍者数	46名	現金	135,000円				
出席率	93.3%	累計	135,000円	累計	306,877円	累計	1,285,815円

> 出席第一・時間厳守・親睦・奉仕・古切手蒐集 <

4月第1例会(花見懇親例会)報告 -770回-

日時 平成15年4月9日
場所 浜町

西 枝 攻

4月第1例会は花見懇親例会。本年は従来の趣向から一歩出て、桜の花を見ることのない、木屋町浜町での懇親例会です。司会は室町の旦那、パレスの重鎮、古株いや古狸の杉本副会長が「今年のドライバー委員会はなっとらん、わしがお手本を見せたる」ということで、自ら買って出ていただきました。今年のメインはパレス川柳大会です。

メンバー全員一首を用意することとのプレッシャーを受けながらの参加。川柳回収はこれも元日本区副区理事の西川君。先輩メンバー自らが雑用を引き受けてのスタートです。このあたりが西川君のキャラかな。

お酒も入り調子が出かけたところで、呉服屋のお上が、舞妓さん、芸者さんを引き連れ、ご挨拶となりました。芸者さんはなんと荒川メネット、舞妓は為ちゃんメネットじゃないか。

それやこれの浮かれ気分の中、森乃福郎師匠の一席で、ちょっとエッチな小話を楽しみました。師匠は最後にはきっちりと独演会の宣伝。落語家やはりタダでは起きんわ。いや失礼、ゲスト会費払ってのご参加。感謝です。パレスのほうがタダでは済まさんですね。

そして最後は、司会者と元副区理事の独断と偏見での川柳の優秀賞の発表がありました。笑いと癒しのひと時でした。

宴は予定の9時を過ぎても果てしなく続き、ドライバー委員としても、このまま続けば明日の朝までぶっちぎりの危険を感じ、中締めをしました。しかし宴は終わりそうもなく、10時前に追い出しをかけなければならないほどの盛り上がりでした。

そしてお聞き後に盛り上がりついでか、路上や喫茶店でのバトル。「ほんとお元気のメンバーでいらっしやること」とは浜町の店長のコメントでした。



4月第2例会報告 -771回-

日時 平成15年4月23日
場所 プリンセス京都ホテル

平 井 久 夫

笥梅雨と思われる空模様の中、久々に出席のドライバー委員長の司会により、4月第2例会は定刻に始まりました。

会長挨拶では愛知県新城市で起きたJ C会員誘拐殺人事件に係わったと思われる同じJ Cの会員が逮捕された事に触れて、我々メンバーも入会時の原点に戻り、自分とクラブのかかりを見つめ直す機会と捉えた発言がありました。

諸報告の後、食事となる所ですが、今日は変則的な例会プログラムで行われました。先ず前半1時間、ゲストスピーカーの立命館大学経営学部助教授石崎祥之様より「人が集まるには理由がある」というテーマでスピーチを頂き、そのスピーチの内容を話題に後半、食事をしようという事です。次期西日本区大会をにらんだ企画です。

話題作りの切り出しは、近年少子化で大学経営に危機を感じて、学生の要望を取り入れたりユニークな講座の開講等、学生集めの対応に迫られる大学の姿に始まりました。次いで大阪のUSJの年間割引入場券の発売という手段が吉と出るか凶と出るか…。観光開発に多額の資金をつぎ込んでプランを作成したもの、実行の伴わない長崎県平戸市の話。明治時代の黒い壁の銀行の建物を利用して人を集め、町の活性化に成功した長浜市。ひなびた温泉の良さを全面に押し出して客を集めている熊本県の黒川温泉。立地の悪さ故、訪れる人に満足してもらおうの努力を惜しまない我々クラブ例会場のブライトンホテル等々、人を集めるには、人・町・企業の熱い思いと、策を仕込んで仕掛ける、それも細く長くが必要と、テンポよい口調で説かれました。

我々も「ホテル百万石」に多くの人を集めて大会を成功させようとする熱い思いはひとつ！ どの様な仕掛けをするかはメンバーの智恵と努力だと思います。

石崎先生を満場の拍手で送り出し、定時閉会となりました。



夜桜フェスタ報告

日時 平成15年4月20日
場所 リトリートセンター

川上孝司

前日からの雨で現地は水浸し、それでもその日の成功を願って12時ごろから舞台の設営や屋台の準備やらで雨の中大変でした。私達は、音響の設営舞台照明を担当、無事4時30分ごろ開会されました。今回出演が予定されていたお琴と尺八の演奏が急遽中止された為、催し物は、私のバンジョウ演奏とパレスステップーズのカントリーラインダンスのみでした。

私の演奏はキャピタルの落語家「京遊亭鈴之助」こと野原君にドラムを入れてもらい、ドラムとバンジョウのセッションをやりました。バンジョウによる「さくら」なんかもやってみました。

その後河合メネット、森田ワイズ、私と3人でカントリーダンスを披露しました。お二人のカントリースタイルは、見るものの目を釘付けにしてしまい、ダンスを踊り出したとたん何人かのカメラのフラッシュを浴びました。見られなかったパレスの諸君惜しい事しましたよ。6時30分頃にリトセンの桜が一齐にライトアップされました。素晴らしく美しい景色に来て良かったの一言でした。

森田美都子

雨空にレンガ色の雨ガッパがステキな神崎総主事の、あたかも我が責任の如く「昨年雨降りだったという事で…」と申し訳なさそうな開会の挨拶。

そんな雨などおかまいなしで、カントリーダンスやりましたヨ!! お弁当ナシの空腹を抱えて…。ウソで一す!! 豚キムチや豚汁や中華チマキや西川さんのお弁当付きやらで大満足。踊ってダイエットとの目標はもろくもオフデー(笑)。

ワイズに入ったからには、何でもチャンスがあれば経験してやろうという私の欲求度は100%楽しませていただきました。辛抱強く教えて下さった川上ワイズ、河合メネット感謝しています。西川、三尾、井上ワイズ耐えがたき?を観客になって頂き有り難うございました。来年こそ、カラッと晴れた夜桜フェスタになります様に!



次期西日本区理事事務局だより

大野ちゃんが行く vol. 6

4月の大野さんの主な活動は、

- ・4月8日 西日本区次期三役会 京都
- ・4月12日～13日 西日本区役員会 大阪
- ・4月27日～28日 宮崎クラブチャーターナイト 宮崎
- ・4月29日 西日本区PT会議 京都

でした。

西日本区役員会は次期の準備役員会も兼ねて行われ、現と次期の役員が一同に会しました。私も次期事務局長としてはじめて正式な役員会に参加しましたが、ピーンと張り詰めた緊張感を感じました。途中から現と次期に会場を分けてそれぞれが議事を進めていきましたが、次期準備役員会は、大野さんが事前に会合を幾度も重ねた成果が現れ、活発かつスムーズに議事が進行しました。監事の灰谷さんからもお褒めの言葉をいただき、まずまずの滑り出しが出来たようです。今後も順調な航海となるようみなさんのご協力をお願いいたします。

(次期理事事務局局長)

◆◆◆広報委員会より◆◆◆

役員会報告に関するお詫びと追記

毎月のプリテンに掲載の役員会議事録ですが、3月号には2月役員会報告を、4月号には4月役員会報告を掲載しておりました。

つまり、3月の役員会報告については掲載漏れをしていた事になります。記録性重視と言いながらの失態で、心よりお詫び申し上げます。

つきましては、以下に大変遅ればせながら3月の役員会報告を掲載致します。ご確認下さいます様お願い申し上げます。

3月役員会報告

第1号議案	4月第一例会(懇親例会)の件	承認
第2号議案	4月第二例会内容の件	承認
第3号議案	5月第一例会内容の件	承認
第4号議案	5月第二例会内容の件	継続審議
第5号議案	リーダー卒業祝会お祝い金の件	承認
第6号議案	新入会員佐藤君の委員会配属の件	承認
第7号議案	宮本隼史君ご長女ご結婚お祝いの件	承認
第8号議案	次期事業委員長の件	承認
第9号議案	3月第二例会(100人例会)費用の件	承認
第10号議案	3月第二例会(100人例会)時間延長の件	承認
第11号議案	第6回西日本区大会登録費補助の件	承認
		以上

会員情報

頑張ります!!

佐藤 大臣仁

この度、入会させて頂きました佐藤大臣仁(タカヒロ)と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、京都に住んでようやく20年。色々な事に慣れてきたかなと言う所でございます。幸い、周りの方々に今日まで何かとお助け頂き、今回も荒川様・田中様のご紹介でワイズメンズクラブに入会の運びとなりました。今のところまだまだ、会の為に何が出来るか? どうすれば皆様のお役に立てるか解かりませんが、私なりに出来るだけ頑張ってみようと思えます。

実は私の娘が、小学校のころ随分とYMCAでお世話になっておりまして、キャンプやハイキングなど、とことんインドア派の娘もYMCAの野外活動だけは、進んで参加させて頂きました。そんなYMCAをサポートする会ですので少しでも恩返しが出来れば、という所が入会の動機でもあります。まだ外部の幾つかの団体に所属しておりまして、何かと忙しく、それらの方も京都・地域に貢献する事で、スタンスはそれぞれ違いますが、頑張っている所でございます。何かとご迷惑をお掛けするかも知れませんが、今後とも宜しくご指導賜りますようお願い申し上げます。



コラム

1の裏は6

創業者の責務・後継者の自立

創業者は、自分の想いがあって会社を起こし、頼るものがない状況でも自分を信じ、人とは違う自分なりのものを求めてがむしゃらに時代を創り上げてきた。カリスマ性が求められ、それに貢献する一途な社員が社長を支えつつ、大きなエネルギーを生んでいたのである。よく企業の存続年数は30年と言われるが、それには後継者問題が大きな位置を占めるのではなかろうか。常に新しい人材を求めて育成し、活性化を図りながら世代交替によって足場をさらに強健にしていくことが求められるのであり、ここをクリアしなければ、衰退の道をたどり、その企業は消滅していくのであろう。無論、わかりきったことであるが、しかし「言うは易し…」である。

次期西日本区大会の成功を目標としているパレスクラブも今、まさに、そのときを迎えているのではなかろうか。従来のワイズとは違う価値観を求めてエクステンションしたパレスは、当時の異端児として扱われつつも、その若さのエネルギーを「良質の親睦」と位置づけて団結と活性化を進めてきた。小堀理論と融合して一時代を築いたのである。と同時に、多くのメンバーがパレスに入会し、幾たびも人

材が育っていたのだが、たび重なるエクステンションによって将来を担う中堅や若手メンバーが流出したことも、まぎれもない事実であろう。パレスが30周年を迎えたときに人材不足で将来を憂う声があつたが、本来ならば、それ以前に気づくべきではなかろうか。奉仕クラブは、一人ひとりの自主性の上に成り立っているが、自己研鑽とリーダーシップといったパレスのブランドは過去のものとなり、先輩諸氏は、「人材育成」「義務と権利」といった題目を唱えるのみで、次世代の育成をついに成し遂げられなかったのである。

先輩諸氏が描くパレスの将来像とは、どのようなものであろう。自分たちは、過去に活躍したのだから後は若手に任せて楽をするのが夢なのであろうか。一堂に集まり、今後のパレスについて語られるもの一案かと思う。クラブに対する自分たちの役割を再確認し夢や希望が見つけれられたときにこそ若手がついてくるのであり、過去の名声ではない現在の先輩諸氏のリーダーとしてのあり方を見せつけてこそ、いつかはその先輩を越えてみたいという若手の自立欲求がぶつかり合い、次世代への夢の架け橋が現れるのであり、ひいては西日本大会成功への団結のエネルギーとなるのではなかろうか。

(先輩を尊敬したい若手)

会員情報

京都市議選、初当選！

隠塚 功

この度の京都市議選では、パレスクラブのメンバーを中心に、多くのワイズメンの応援により当選させて頂きました。心より感謝申し上げます。

私は4年前にも立候補しましたが、計らずも次点に終わり、議員ではないという限界のある中で政治活動を続けてきました。また一方で地域活動、市民活動、そしてワイズ活動には議員の肩書きも不要なことから、率先して携わってきました。そうした活動の中で、多くの仲間にも恵まれ、その仲間を支えられて今回の選挙を戦うことができました。このことが、京都人でもない私の当選へとつながったと感じています。

今回の選挙では、投票率が低い中、現職議員が苦戦する場面が大変多く見られました。このことは議員に対する市民の目が厳しくなっていることを裏付けており、日々の議員活動が市民の代弁者としての活動であったかが問われた結果であったと感じています。そうした選挙で当選させていただいた私は、左京区の皆さんに市政報告することはもちろん、行政区に関係なくワイズメンな

どの団体に積極的に市政報告をさせていただき、多くの方々に市政への関心を高めていただくための活動を行わなければならないと考えています。

どんな組織にも権利と義務が発生します。私たちが住んでいる自治体と私たちの関係も同じです。同じであることを皆さんに実感してもらうためにも、市政情報をしっかりとお伝えし、関心をもっていただけるように努力していきたいと考えています。今後は京都市に対する忌憚ないご意見、私までお願いいたします。お待ちしております。



コラム

1の裏は6

その2 温故知新

先般、何の気もなく本棚の隅にあったパレス20周年記念誌「心を求めて」を手にした。そして読んだ。バラバラと眺めたのではない。まさしく読んだのだ。その中に「温故知新」とタイトルが付いたページがあった。

「私は忘れ難い或るシーンの事だけを書く、15年も前だ、パレスがホストして盛大な部会を終へた時の事、一室のテーブルを囲んで皆んなが座っていたが、唯黙って泣くばかりなのだ、私もこの有様に打たれて涙を流した。コイツラは大したもんだ、もう30才近くに成ると云ふのに、この感動性、人間としての最高の喜びを噛みしめている。将来が楽しみな奴等だ！」

これは一体何なんだ？と思った。これ程の事が本当にあったのだろうか。無論、過去の事実を疑っている訳ではない。これ程の団結、これ程の懸命さ、これ程のバイタリティ、そしてこれ程の感動は、何時の間にか何処へ行ってしまったのか。果たして今のパレスに、これ程のパワーはあるのだろうか。「親睦」が活力を生み、「奉仕」の源泉となるという考え方に異論はない。この考え方からすると、今のパレスには「親睦」が足りないのだろうか。

毎年、会長をはじめとする執行部が入替わる奉仕クラブのスタイルと、その継続性を指して「非連続的連続」という言葉を聞いた事がある。奉仕や親

睦を行う個々の会員の顔触れや執行部のメンバーが毎年替わるとしても、そこに息づくポリシー、活動、雰囲気、そして経験は継続して引き継がれ蓄積されるからこそ、クラブとしての成熟があり、歴史あるクラブにはそれなりの重みがあるという意味だそう。果たしてパレスはそうした「非連続的連続」を為し得て来たのだろうか。

来期、パレスは西日本区理事を輩出する。この機会に、かつての様な「熱さ」を取り戻す事は出来ないのだろうか。25年前に涙したメンバーは、その「体験」を語るべきだ。そして、その再現に努力を惜しんではならない。もっと言えば、気安く引退を言う前に過去の経験を伝承するという責務がある筈だ。一方、25年前の涙を知らないメンバーは、過去の「熱さ」に耳を傾けるべきだ。決して冷笑すべきではない。誤解を恐れず書くが、面倒だからとダンマリを決め込むのであればパレスに在籍する意味があるのだろうか。

もしパレスに30年以上の「非連続的連続」の蓄積があり、真の「親睦」があれば、恐らくは眠りから目覚めた獅子の如き働きが見られるであろう。私はパレスにはそうした蓄積があると信じる。過去の賞賛、過去の実績は伊達ではない筈だ。パレスの歴史をそのメンバー自身が放棄してはならない。当事者意識を強く持ったメンバーが、様々な困難を克服して一種の感動へ到達する…そう願ってやまない今日この頃である。

(浪花節)

5月役員会報告

- 第1号議案 5月第二例会(西日本区大会アワー)の内容の件 承認
- 第2号議案 和敬学園ボーリング大会日程変更の件 承認
- 第3号議案 6月第二例会(引継例会)の件 承認
- 第4号議案 西日本区大会準備委員長の件 承認および一部継続審議
- 第5号議案 新入会員(別所君、石原君)の件 承認

※詳細は所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。
※尚、ホームページには常時掲載されていますので、ご確認下さい。<http://www.tamekuni.co.jp/palace/>

5月スケジュール

役員会	7日(水)	京都ブライトンホテル
第1例会	14日(水)	京都ブライトンホテル
第2例会	28日(水)	京都ブライトンホテル
次期準備役員会	21日(水)	京都ブライトンホテル
次期西日本区大会準備委員会	23日(金)	三条YMCA
和敬学園ボーリング大会	31日(土)	上賀茂ボウル

HAPPY BIRTHDAY

山田高弘君	6日
宮本隼史君	19日
荒川恵子メネット	22日
大野嘉宏君	23日
永井孝君	24日

HAPPY ANNIVERSARY

加藤俊明・圭子夫妻	2日
岡本圭司・由希夫妻	4日
永井孝・邦子夫妻	14日
大野嘉宏・三恵子夫妻	19日
高谷泰市・町江夫妻	26日

編集後記

今期も早いもので残すところ2ヶ月。この時期はバレスにとってプラザクラブへの訪問が集中する時期。にもかかわらず、アジア各地で蔓延しているSARSのために、台湾・韓国への訪問はやむ無く中止。そのため、今月号のブリテンも国際色の薄いものとなり、何とも寂しい限り。でも、バレスでは幾人もの論客が黙ってはいない。寂しくなりかけた紙面をしっかりと賑やかにし、あたかも、当初からこのように紙面の割り振りがなされていたかのような出来映えにしてくれる。文章には書き手の個性が現れる。それだけに、今後と

☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆

- 1. 定期会員総会のご案内**
日時 5月30日(金) 午後6時30分
場所 京都YMCA三条本館 マナホール
- 2. 京都YMCA「会員のつどい第2回ワイズ編」のご案内**
(共催 ワイズメンズクラブ京都部Yサ主査)
新しく京都YMCAの会員になっていただいた方に「YMCAのことを知っていただき、早く京都YMCAに親しみ、そして担っていただく」ための企画です。プログラムの概要は、京都YMCAの事業内容や維持会費の用途、YMCAの国際的な働きなどを、ゲームやスピーカーを交えてわかり易く解説出来るような懇談形式を考えています。
対象 ワイズメン(京都YMCAの会員)になられて約3年以内の方で前回参加されていない方
日時 2003年5月17日(土) 午後7時~9時
場所 京都YMCA三条本館 マナホール
参加費 無料
- 3. グローバルアウトドアクラブ・キッズチャレンジクラブ ボランティアリーダー希望者説明会**
日程 5月1日(木)・5月6日(火)・5月15日(木)・5月22日(木)・5月27日(火)
いずれも午後6時30分~午後7時30分
場所 京都YMCA ウェルネスセンター三条
対象 4年生大学の新1回生、2回生。短大や2年制以上の専門学校の新1年生
- 4. 京都YMCAリトリートセンター(キッズチャレンジクラブ)リーダー募集**
対象 大学生・社会人(おおよそ30才くらいまでの男女1年間を通して活動ができる人)
- 5. 英会話ショートタイムコース**
対象 成人(初級~中級レベル)
費用 週1回(全8回) 18,000円
週2回(全16回) 34,000円

※以上、詳細は加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

も全メンバーが積極的にブリテン発行に協力することで、ブリテンが結果報告だけでなく、メンバー紹介を側面からフォローできるツールとなることを期待したい。

(次期EMC主査)





CLUB OFFICE

京都YMCA青少年センター
京都市上京区烏丸今出川下ル
☎(075) 432-3191 〒602

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

6 2003

Bulletin

2003.6.1発行
第32巻第10号通巻372号

CHARTERED 1971

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ標語 モアークommunication

国際標語 Growth through service (奉仕による成長)
アジア区標語 Into the bright light of selflessness (無私の奉仕で輝く未来へ)
西日本区標語 ベクトルを合わせ、地域と共の活動を
京都部標語 更なる友情を求めて

心球めて例会に至り境地を得て例会と去る



聖句

五羽の雀がニアサリオンで売られているではないか。だが、その一羽さえ、神がお忘れになるようなことはない。それどころか、あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。恐れるな。あなたがたは、たくさんの雀よりもはるかにまさっている。

旧約聖書 ルカによる福音書 12章6～7節

期待と不安

副会長 杉本 泰造

「荒川は思った。今改革の時だと。」
「そして彼は静かに実行に移した。」

～パレスプロジェクトXより～

今 NHK の番組の中で、プロジェクトXの評価が高い。これは様々な出来事に立ち向かって行った挑戦者達のドキュメンタリーで、人々に感動を与えています。今期荒川会長の活動も、NHK のプロジェクトXを彷彿とさせました。

先ずパレスクラブの永年の課題であり、歴代会長が誰も手を染めようとしなかった YMCA の維持会費のクラブ負担と、尚且つ会費の値下げを決行した。特に維持会費のクラブ負担に付いては、これまでに百花繚乱の議論が有りましたが、見事に全員一致に導いた。これで維持会費未納者が多いと云うクラブの汚名も返上出来、又会費の値下げにより入会者の門戸が広がったのも確かであり、正に「プロジェクトX」であった。

新しい取り組みが期待されていたホームページの立ち上げとメール連絡の実施は、当初様々な期待と不安が生

じ、又、ハンドルネームによる会員専用掲示板では、社会人としての常軌を逸した投稿も有り不安を抱かせたが、今は解消されている。しかし掲示板は使いようで、良くもなり悪くもなる事が証明され、これからは会員諸兄の良識に期待したい。

今後に期待と不安を抱かせるのは、荒川会長時にスタートした西日本区大会開催クラブとしての対応である。パレス側の準備委員長が5月に健康上の理由で暫く休みたいとの申し入れが有り、今は荒川会長が委員長代行で進めているが、委員長の早い健康の回復と復帰が望まれる。大会に向かってメンバー全員が一丸となって、大会開催の楽しい夢を画きながら、明るく、前向きに進みたいと思う。これからは「きれる」「すねる」「おこる」「やめる」は絶対禁句だ。メンバー諸兄の研鑽を期待したい。

最後に、荒川会長と河合 EMC 委員長のお二人がクラブ浄化の為に身を挺して働かれ、パレスクラブの正義を守って頂いた事に深く感謝申し上げる。

【強調月間】評価・計画T

例会出席		BFポイント		ニコニコ		ファンド	
5月第1例会	32名	切手	0pt	5月第1例会	7,000円	5月	110,228円
5月第2例会	34名	累計	0pt	5月第2例会	12,000円		
在籍者数	45名	現金	0円				
出席率	86.4%	累計	135,000円	累計	325,877円	累計	1,396,043円

会長 荒川 徹
副会長 杉本 泰造
" 爲 國 光 俊
書記 西川 寿一
" 吉 岡 明 彦
会 計 田 中 一 馬
" 小 西 孝 典

5月第1例会報告 —772回—

日時 平成15年5月14日
場所 京都ブライトンホテル

川勝政男

5月第1例会は、雨の影響もあり少し遅れて荒川会長の点鐘で始まりました。本日のゲストスピーカーは、平井ワイズの高校時代の恩師であり、現在は立命館大学教授の岡尾恵一先生で、お話のタイトルは「健康で豊かな生活を送る為に」でした。

先生がイギリス留学された際に感じられたスポーツのあり方、どのようなスポーツでも1ポンド程度で競技場が借りることができる環境、スポーツを身近に置く事がいかに大切かを話されました。特に日本のスポーツは型から（あいさつ等）入るため、身近ではなくなるという弊害があるとの事でした。

イギリスの場合、傾斜地でもテニスコートがある。これは日本の場合にはまず考えられない。でもチェンジコートと言うルールを作ることで、傾斜地でのテニスを可能としていて、高価な工事をすることなく、又、自然環境も変えることなく安く出来る工夫をされている等、スライドを交えながら分かりやすく説明され、熱き講演に感謝せずにいられなかったのは、私だけではなかったと思います。

その後、ハッピーバーズデー、ハッピーアニバーサリー、ニコニコと進み、最後にIBCのアメリカ、ノースウエストクラブから京都YMCA 100周年への寄付を、荒川会長より加藤主事に渡し、無事に例会終了。



5月第2例会報告 —773回—

日時 平成15年5月28日
場所 京都ブライトンホテル

吉岡明彦

5月第2例会は、川勝ワイズご紹介の別所修君の入会式で始まりました。メンバーの退会に付随する問題で重苦しい気分がクラブにあっただけに、入会式で例会が始まったことは素晴らしい、気持ちも初夏の天気のようにさわやかになりました。

新しい仲間が増えることは非常に素晴らしいことです。新しい仲間がバレスに入会してよかったと思ってもらえるクラブをみんなで作っていききたいと思います。

その日はメンバースピーチで、宮本ワイズの鳥の糞の話からはじまる、わかりやすいYMCAとのかかわり方、奉仕の心の持ち方、奉仕の実践、地域社会とのかかわり方について説明がありました。日々の生活の中での意識の持ち方の大切さを感じられました。

続いて、西日本区アワーとして金沢クラブの澁谷洋太郎次期西日本区大会実行委員長から、大野次期西日本区理事応援の大会成功に向けての温かいスピーチが頂けました。

次に荒川会長より大会のギャランティ、その他詳細についての説明があり、メンバーの西日本区大会への気持ちが高まりました。そしてJTB、ホテル百万石の方からの宿泊施設等のより具体的な説明がなされ、実際の宿泊部屋、宴会場等を見るに付け、西日本区大会がよりはっきりとして感じられたと思います。

そして、圧巻は川上ワイズ・為国ワイズ・小西ワイズによる西日本区大会招致の寸劇でありました。メンバー各人は、そのパフォーマンスに圧倒されつつも是非参加しようという気持ちになったものと信じて余りあるものであったと思います。

メンバーの皆さん、ホテル百万石での西日本区大会の成功に向けて、クラブが一致団結して進んでいきましょう。



和敬学園ボーリング大会報告

日時 平成15年5月31日
場所 上賀茂MKボウル

三尾 啓

5月31日の土曜日午後から、上賀茂のMKボウルにおいて、恒例の和敬学園生との親善ボーリング大会が開催されました。我バレスクラブからはメンバー9名とコメットやゲスト4名が参加し、総勢34名の賑やかで楽しい大会となりました。参加してくれたのは小学生低学年から高校生までの男女20名の学園生達で、MKボウルでは今年からマイクロバスを送迎用に用意してくれましたので、非常にスムーズで安全な移送ができ、随分と運営が楽になりました。

小学生や中学生には男女に分けてハンデを与え、競技参加者全員が3ゲームを投じて競い合うのですが、栄えある優勝者は小澤さやかちゃん（小学4年生の女子）で、合計得点は478点でした。ボーリングは本当に今も昔も老若男女が共通で楽しめるレクリエーションです。

参加してくれた学園生やコメット達全員に景品が行き渡るように、その景品選びを吉田地域奉仕副委員長がバレスへの置き土産に買い出しに行ってくれましたが、陶器製の置き物の景品やぬいぐるみが多く、皆喜んでくれました。レーンで一挙一動にはしゃぐ和敬の子らの喜ぶ顔を見て本当にうれしくなりました。

小生は常日頃から運動不足で、真剣に投げられるのは2ゲームまでで、3ゲーム目からは握力が落ち、肩が張って困りました。最近老け込みの激しい人や運動不足の方はぜひ来期チャレンジしてみてください。

（出席者：荒川会長、田中慎一委員長、岡見、小西、鈴木、西中、安岡、山本一博、三尾）



～和敬学園生の作文より～

ボーリングをして

3ねん2くみ 松田 縁

ボーリングに行くときは、ばすでいきました。

そのとき、とてもねむたかったです。

MKにつくとボーリングがうまかったです。

1かいめにちょうせんしました。

1かいだけあたりませんでした。

そのうちだんだん上手になってきました。

そとでさんどいっちを、たべました。

それとジュースを、のみました。

2かいめもやりました。

2かいめは上手にできました。

しょうこちゃんも上手にできていました。

まさきくんがたすけてくれました。

1かいめから、すとらいく、いきました。

2かいめもたすけてもらいました。

そのときは、すべあでした。

つぎのちーむは、ファールでした。

つぎのちーむは、2かいファールがありました。

まさきくんがたすけてもらいました。

とてもおもしろかったです。

わたしもやりました。

1こか2こか3こか4こでした

おとめちゃんはいっかいだけ、ファールができました。

それで、すごいとおもいました。



ぼーりんぐをして

3ねん1くみ 木口 乙女

ぼーりんぐにいて、めちやたのしかったです。

あっちゃんとか、じょうずだったし、

おとめは、くりあできて、

そのつぎは、みゆちゃんが、くりやできて、

それから、つかれて、さんどいっちをたべました。

すごく、おいしかった。

3かいめ、しっぱいしました。

2かいめが、むずかしかった。

はじめて、やったけど、おもしろかったよ。

かえりし、つきと、ばすにすわりました。

かえったときは、なぎさとあそびました。

すごくおもしろかった。

またいきたいな。

ボーリングで、おもしろいんだもん。

それに、みゆちゃんとか、じょうずだったし、

なんですごくじょうずなの。

おとめは、じょうずくないし、

もっと、じょうずになってみたいし、

ゆかりには、まけたし、くやしかったよ。

宮崎クラブチャーターナイト参加報告

日時 平成15年4月27日
場所 宮崎ワールドコンベンションセンター

川上 孝司

宮崎クラブのチャーターに参加してきました。朝8時の飛行機に乗り伊丹空港より一路宮崎へ。機内で彦根シャトーのメンバーに出会いました。いつものあの大段幕は、しっかりと持っておられました。天気はスカッと晴れた快晴、フェニックスの似合うきれいな街です、会場は、ワールドコンベンションセンターサミット、会場となった部屋の天井にはなんと世界最大のシャンデリアが設備されておりすばらしいものでした。

14:00開会の点鐘、ワイズソングと厳かな雰囲気の中、国際加盟承認伝達式が行われました。藤木会長の率いるメンバー数25名の宮崎クラブが九州部で12番目のクラブとして熊本ジェズクラブのホストにより宮崎県で初めてのクラブが誕生しました。祝賀会では大野次期西日本区理事が挨拶、さすがなかなかのもの、大野節を久々に聞きました。私も京都パレスワイズメンズクラブのいちメンバーとして、お祝いの言葉と次期西日本区大会のアピールをして参りました。

プログラムとして大変面白かったのは、九州部のスタッフによる寸劇ドラマです。宮本武蔵などのパロディーを用い宮崎クラブが作られていく経緯をおもしろおかしくプロジェクトX風に演出した物でした。これが最高の出来で、会場全体が笑いの渦、私もほっぺたが落ちるくらいに笑いました。印象として、宮崎にワイズメンズクラブを作りたいと言う熱い九州部全員の思いと、先頭に立ち奮闘した宮崎クラブの上田佳士偉副会長と佐藤典子九州部部長の二人の女性の涙ぐましい努力と熱意、それを支えた九州部のワイズ達、そんなドラマを感じずにいられませんでした。私はこの劇的な瞬間のいち証人として、その場所に居た事に感動を覚えました。



金沢犀川クラブ10周年記念例会参加報告

日時 平成15年5月24日
場所 金沢市・北間楼

為 国 光 俊

金沢犀川クラブ創立10周年記念例会のお祝いに行ってきました。道中は2台の乗用車に分乗して、片道250キロ3時間半の道のりを快調に走り、車中では、いつものワイズ談義に花が咲きながら、あっという間に到着しました。

ちなみに、城下町金沢は、江戸時代には、江戸・大坂・京都に次ぐ第4番目の規模として栄え、数多くの文学者や芸術家を生み出してきた歴史ある町です。少し早めに到着したメンバー一行は、その金沢文化に触れようと、まずは、喫茶店のオープンテラスに陣取り街角ウォッチング。「うーん、最近の若者たちは……」とか「僕たちってオッサンに見られているんやろか」とかのレベルの高い話題についていけない人もなく、××談義?に花が咲きました。

金沢犀川クラブ北会長のご実家的高级老舗料亭「北間楼」での記念式典と懇親会は、白井西日本区理事、大野次期西日本区理事をはじめ、元、現、次期、次々期の中部部長、その他多数のゲストで大盛況となり、おいしい料理に舌鼓を打ちながらの懇親会では、来年の西日本区大会への期待で盛り上がり、再び、ワイズ談義に花が咲きました。金沢の市街地を貫くように流れる二本の川の本一として象徴される犀川は、川幅も広く大きく悠々とした流れが特徴であり、「男川」と呼ばれているそうですが、まさに犀川クラブのイメージと重なり、その存在を象徴していると理解を深めました。

帰りの車中では、高速道路上で、またまたワイズ談義に盛り上がりかけたところ、荒川会長所有の高級外車のフロントバンパー下のカバーがいきなり外れかけて大きな音を発し、慌てて急停止しましたが、そのとたんに、なんとドアミラーのカバーもポロリと脱落。幸いにも事なきを得ましたが、このハプニングに思わず大爆笑…。最後の最後まで楽しい1日となりました。この様子は、どうか写真をじっくりとご覧下さい。さらにはホームページでは、カラーで鮮明に何枚もしつこく掲載されています。必見。



京都YMCA定期総会参加報告

日時 平成15年5月30日
場所 YMCA マナホール

西川 寿 一

午後6時30分より京都YMCA 2003年度定期総会が、佐々浪理事長をはじめ理事・常議員・正会員の参加のもと、三条YMCAのマナホールにて開催された。正会員207名の内、当日の出席者が43名と大変少なく寂しい総会となった。

第1部礼拝に続き、第2部の総会議事に入った。佐々浪理事長の挨拶の中で、京都YMCAを取り巻く環境はまだまだ厳しい状況であるが、全国の他のYMCA、例えば東京YMCAのように会館を売却せざるをえなくなった事に比べると、うまく難局を乗り越えて順調に良い方向に進んでいる、全国YMCAの会合において良い見本として紹介されているという大変すばらしい報告があった。これも理事・常議員の方々の献身的な働きと、職員の皆様の努力、そして会員の協力があつたからであり、まだまだ厳しい状況下であるが少し明るい兆しが見えてきた。

議事も滞りなく承認され、2003年度に向けて活動がスタートした。第3部はフェローシップアワードとして若いリーダー約30名を交えて、食事の後100周年のアピールとユースボランティア認証状が、YMCAの活動をささえている若いリーダーひとり一人に佐々浪理事長から手渡しされた。その後新正会員紹介とワイズメンズクラブに対する感謝状の授与があり、午後9時に閉会となった。(出席者 杉井、杉本、宮本、西川)

次期西日本区理事事務局だより

大野ちゃんが行く 最終回

永らくご愛顧頂きました当コーナーも、今月が最終回になりました。本番が間近に迫り大野さんの活動も慌ただしくなってきました。5月の大野さんの主な活動は、

- | | | |
|--------|---------------|----|
| ・5月1日 | 京都YMCA総主事送別会 | 京都 |
| ・5月5日 | 宝塚クラブ15周年 | 宝塚 |
| ・5月7日 | 西日本区三役会 | 京都 |
| ・5月10日 | 神戸ポートクラブ15周年 | 神戸 |
| ・5月14日 | 京都トゥビークラブスピーチ | 京都 |
| ・5月17日 | 西宮クラブ55周年 | 西宮 |
| ・5月19日 | CS資金研究会 | 京都 |
| ・5月21日 | 新旧理事打ち合わせ | 大阪 |
| ・5月24日 | 金沢犀川クラブ10周年 | 金沢 |

でした。いよいよ6月の西日本区大会での理事引継ぎ式まであと数日を残すだけとなり、キャビネットのメンバーも緊張が高まっています。次期理事として1年間活動された成果を本番で発揮して頂けることをお祈りしています。

今後の大野さんの活動は理事通信にてお届けすることになると思います。これにて「大野ちゃんが行く」全7巻無事終了いたします。ご愛読ありがとうございました。

(次期理事事務局長)

コラム

1の裏は6

奉仕って何？

「奉仕クラブとは一体どんなクラブのことを言うのでしょうか？」今更何を言うのかと多くの方が思われるでしょうが、本当にこの言葉を深く考え、受け止め、そして実行できている人がどれだけいるのでしょうか？

では、ワイズメンにとっての「奉仕」とは何に対する奉仕なのでしょう？ワイズメンズクラブはYMCAのサポートクラブなのだから、YMCAに対してだけ奉仕活動をすればいいのでしょうか？このことについては「NO!」と答える人が多いと思います。と言うのも普段のクラブ活動において、YMCAに直接関係ない事業を企画し、そして実行している経験から、このように限定的に捉えるべきではないとの判断がなされ、多くの人がこう答えるのだと思います。

それでは「奉仕クラブ」の「奉仕」とは一体何に対する奉仕なのでしょう？ある辞書によりますと「奉仕」とは「国家・社会・目上の者などに利害を考えず尽くすこと」とあります。国家とはあまりにも大きな単位でありこの場では考えないとしても、社会に利害を考えず尽くすことが必要とあるわけです。

しかし、ここで言う社会というのも大変漠然とした言葉です。そこで「社会」をまた辞書で調べてみますと、「生活空間を共有したり、相互に結びついたり、影響を与

えあつたりしている人々のまとまり。また、その人々の相互の関係」とあるわけです。

こう見てみると、奉仕クラブの奉仕の対象とは大きくは私たちの住んでいる地域全体でもあり、小さくはそのクラブに集う仲間に対してでもあるわけです。こうした社会に対して利害を考えずに尽くすことが、奉仕クラブの一員である私たちには求められているのだと考えなくてはならないと思うわけです。つまり、パレスクラブのメンバーはYMCAや地域、そうした外への奉仕もさることながら、パレスクラブそのもの、内への奉仕も求められているわけです。

この一年間、パレスクラブではHPやBBSの件、西日本区大会の件など、色々と議論が繰り返されてきました。しかし、未だにこの議論が全体のものにもならない状況が続いていることは、実は奉仕クラブの本質をクラブメンバーが全員で共有できていないことにあるのではないかと改めて感じざるを得ないのであります。誰が理解していて誰が理解していないと言うのではなく、まずは自分が本当に「奉仕クラブ」の本質を理解して行動できていたのかを見詰めなおすことが必要な時期を迎えているのではないのでしょうか。今一度足元から見詰めなおして、奉仕クラブの一員として活動しようではありませんか！

(奉仕者を目指す者)

67th HAWAII REGIONAL CONVENTION に参加して

日 時 平成15年5月16日～18日

井 上 有 子

HAWAII Regional Convention が5月16日～18日までハワイ島ヒロのナニロアホテルにおいて開催されました。ハワイリージョンには22のクラブがあり、今回はヒロのヒロクラブがホストでした。私は今回を含めて6回のリージョンコンベンションに参加しています。

そして、3年前にオアフ島のカイクラブのメンバーになりました。今回はハワイリージョンの続きで5月19日～21日までカイクラブの40周年記念式典も開催されました。

参加していつも思うことですが、それぞれのクラブ会員数は少ないのですが、クラブ独特の持てなしをして下さいます。

今回はブラザークラブアッセンブリーも有ったので日本からも沢山の出席者が有りました。東日本区理事をはじめ、西日本区からは大阪泉北クラブ、大阪土佐堀クラブのメンバーなど、京都パレスクラブからは鈴木さんご夫妻も参加されました。

ヒロ YMCA でのバーベキューパーティーでは、ハワイアンミュージックとフラダンスのデモンストレーションを楽しむことが出来ました。メンバーそれぞれが手作りのプレゼントを交換したり、手作り料理をいただいたりと心のこもった接待をしていただきました。

ハワイという大自然の中でゆっくりと時間が過ぎて行くのを感じながら、ハワイのワイズメンの大きさ、また感情いっぱい表現するそんなワイズメンと一緒にコンベンションと記念式典を楽しみました。

来年のリージョンコンベンションはオアフ島で開催されます。きっと楽しいコンベンションになると、来年も参加したいと思いを期待しています。



大学教授のホームビジット

日 時 平成15年5月18日

杉 本 泰 造

アメリカのジョージア大学の教授団が日本文化を理解する教育プログラム開発のため、視察を兼ねて京都 YMCA に来られました。2004年から同大学の学生が夏季研修プログラムとして、京都に来る事になっています。今回のホームビジットは京都 YMCA の教育事業委員会で引きうける事となり、私も委員会にありますので協力することになりました。

私の家には5月18日（日）に、セレスト嬢とトーマス氏が来られました。セレスト嬢は独身で大学は環境問題が専門、トーマス氏はアジア地域の研究が専門の教授であります。お二人共屈託がなく、明るく、朗らかな大学の先生で、すぐに打ち解けました。

早速に、日本文化理解のため、家の前の仏光寺本山を訪れましたが、夕方まで本堂は閉まっていた。が、そこは勝手知ったる近所のお寺と、閉まっている本堂の大戸を開けて中を見せてあげましたら、ワンダフルの連呼で大喜びのお二人でした。カタコトの英語では親睦も進まないで夕食には、日本文化、世界の歴史文化に造詣の深い友人の阿部恒夫に通訳に来てもらい話が盛り上がりました。

プレゼント交換を終えて、お待ちかねの食事に移りましたが、日本の食文化理解を深めてもらう為、様々な料理を出しましたが、どれも、これも、美味しい、ワンダフルと見事に平らげておられました。食事の後はアトランタの写真を見せてもらったり、セレスト嬢の夢であった着物を着せてあげたり、昔のソロバンや計量器を見せて日本文化??の理解に努めました。

遅がけから西枝夫婦が来られ、英語がお上手な美佐子メネットとセレスト嬢の話しが盛り上がり、女性四名のまるで井戸端会議でありました。12時頃まで楽しい時間を過ごしましたが、帰りは名残惜しい感じでした。

来年には沢山の学生達が来ますのでパレスの皆さん宜しく頼みます。美人の女子学生がわんさときますのでお楽しみに…。



新入会員紹介

5月第2例会で入会式を行いました新メンバーをご紹介します。どうぞよろしく。

別 所 修 (べっしょ おさむ) 君

昭和27年10月2日生まれ、京都市西京区在住。

家族は、メネットとコメット(男)2人。

仕事は、株式会社
ビーテック 代表取締役
(電話設備工事業)。



「パレスの来し方行く末」

よりよいクラブになるために

杉井 恭 敏

日々生かされ、ワイズメン活動に参加出来ることを感謝いたします。さて今、世の中では、有事法制即ち危機管理についての議論があちこちでなされています。国、地域、職場、家庭と様々な処で、勿論奉仕クラブでも論外ではありません。では、我がパレスクラブでの危機管理とはどのような事で、それにはどう対処したら良いのでしょうか。メンバーの減少と高齢化、例会出席率の低下、クラブ内の閉塞感等、いろいろな現象として現れてきています。日本国のデフレが国民にまで浸透してきて人間デフレが起きている。私たちはデフレ人間になってはいないのでしょうか。いや、もうきつとなっている。

組織や制度の構造改革も大切ですがもっと大切なのは我々人間の構造改革こそ大切であります。このことを良く認識しなければ、日本国のデフレ脱却などとてもおぼつかないことでしょう。ではどう人間改革をすれば良いのでしょうか。それは簡単なこと。国際憲法にある「強い義務感を持つ」と。言葉で言えばこれだけのこと。これを実践すればどんなことでも解決できるはず。

最初は義務感でやっていたものでも、しばらくすれば習性となり達成感を味わい、それが喜びに変わり、活力を生み出す。原点に戻り頑張ろう。

そして今ひとつは「パレスという存在は自分にとって人生のステージ」と、とらえてはどうだろう。まさに人生劇場だ。そこは自分を作り育ててゆく処。個性のある50人のメンバーがそれぞれの役割を演じながら・・・パレスというステージを大切にしたいものだ。みんなのものだから。ここで自己実現をする。又楽しからずやである。

西日本区大会ホストに向けて

西川 寿 一

最も大切な知人を自宅にお招きをする時、皆さんはどのように思われますか、私の場合は「どうしよう、大変だなあ」と思うと同時に、それ以上にわくわくするのです。

その準備にまず普段あまり掃除をしたところのないすみずみまできれいにし、テーブルクロスも取り替えて、花を生けて、部屋をきれいにします。そしてその知人が好まれる食事は何が良いかを考え、その方はお肉より魚料理が好きだからメインは魚にしようと考えたなら、魚は小浜へ直接行ってその日の朝に獲れた食材を買って来ます。又最近知人は痛風をわずらっているという情報を聞けば痛風にはビールより焼酎が良いのでチューハイを用意します。そして来られる数分前にはお香でも炊いて雰囲気をはらげて待機。いよいよ知人が

訪れ食卓の料理とお酒で話も盛り上がり、大変料理も美味しいとお褒めの言葉をいただき、お酒も充分よばれて楽しいひと時でしたと満足げにお帰りなられたら、ああ良かったなあ、あんなに喜んでいただけてと胸をなでおろし、その余韻にしばらく浸るのです。

ホストをするという事は大変な事ではあるが、招いた人に喜んで頂けているその笑顔を見ているだけで、充分気持ちが癒されるのです。

今回の西日本区大会もホストをする、つまり人をもてなす心で準備し、互いにアイデアを出し意見交換をして、一生懸命やればきっと良い大会になるし大きな感動も味わえる。そしてパレスクラブはこれを機会により一層絆を深めなければ、ホストをした意味が無くなるのではないのでしょうか。もう一度あの感動を全メンバーで味わえるまたと無い機会です。やりましょう楽しく皆で・・・



モアコミのキモ

広報委員長 山本 一 博

今年の広報委員会の活動は、会長方針の「モアコミュニケーション」を推進すべく努力してきたつもりであります。しかしながらその活動は、とすればホームページや電子メールの導入だけを指しているかの様に思われてしまった側面があり、委員長としては忸怩たる思いを持っておりました。

ブリテン誌上では何度も自発的な寄稿を呼び掛けて参りました。この最終号においても、私の勝手な我が儘を委員各位に理解して頂き、この企画を実施させて頂きました。パレスの来し方行く末について、どの様な内容でも結構、「意見」や「思い」の発表の場を、誌上に用意させて頂きたいという趣旨でありました。頂戴した原稿は何ページになろうとも、全て掲載させて頂く旨も公示しました。その結果、寄せられた原稿は2件でした。寄稿して頂いたお2人には心より感謝します。

クラブ唯一のコミュニケーション媒体である当ブリテンにも寄稿を頂けない状況からは、広報委員長としてはWEBであろうと紙であろうと、どんなに綺麗事を言っても「文書を書くという面倒臭さ」を乗り越えて頂く事は大変難しいと痛感する次第です。

例会や委員会で顔を会わせてコミュニケーションする事がベストである事に疑いはありません。しかしながら常に全員出席は難しく、それを補う意味がブリテンにはあると思っております。会員各位の関心なきところに、決して良いブリテンは生まれません。今期最後のお願いとして、来期以降のブリテンにどうか関心を持って頂きたくお願い申し上げます。

6月役員会報告

第32期最終役員会

第1号議案	32期事業報告の件	承認
第2号議案	32期会計報告の件	承認
第3号議案	退会者の件	承認
第4号議案	入会予定者取り消しの件	承認
第5号議案	ピンバッジ制作の件	承認
第6号議案	加藤連絡主事記念品贈呈の件	承認
第7号議案	西日本大会準備PT人事の件	承認

第33期準備役員会

第1号議案	事業方針と事業計画の件	承認
第2号議案	年間スケジュールとMU対象の件	承認
第3号議案	予算案の件	承認
第4号議案	連絡方法の電子メール標準化の件	承認
第5号議案	7月第一例会(定時総会)内容の件	承認
第6号議案	7月第二例会(納涼例会)内容の件	承認
第7号議案	次期理事の活動援助金について	承認
第8号議案	7月8月のHB、HAについて	承認

※詳細は所属委員会委員長までお問い合わせ下さい。

※尚、ホームページには常時掲載されていますので、ご確認下さい。<http://www.tamekuni.co.jp/palace/>

6月スケジュール

新旧合同役員会	4日	京都ブライトンホテル
第1振替例会	14~15日	西日本区大会(彦根)
第2引継例会	25日	京都ブライトンホテル
次期キックオフ懇親会	28日	海老茶式部

HAPPY BIRTHDAY

田中増美	メネット	2日
田中淑子	メネット	10日
平井久夫君		13日
平井恵美	メネット	24日

HAPPY ANNIVERSARY

山本好一・節子	夫妻	19日
---------	----	-----

★☆☆☆☆☆ YMCAだより ☆☆☆☆☆☆

1. YMCAサマープログラム参加者募集!
2. オーストラリア異文化体験ホームステイ参加者募集
3. 京都YMCA100周年記念「インドツアー」参加者募集
4. 国際理解教育プログラム
「インド思いっきり体験ツアー」参加者募集
5. 2003正会員希望者のためのオリエンテーション講座

日程、対象、費用、申込方法などの詳細は、加藤連絡主事までお問い合わせ下さい。

編集後記

今期も残すところあと少しとなりました。今期の目標としていた「例会出席100%」は、達成率70%ほどでした。体調がいまひとつで、寒い時、梅雨の時は特によくありませんでした。ブリテン委員会の出席も50%位でした。今後とも体調回復に努力し、出席率をあげていきたいと思ひます。今期のブリテン委員会は、山本委員長をはじめ、西中君、隠塚君、三役の杉本君、為国君とベストメンバーでした。委員会は山本君の段取りで、原稿の確認、依頼、編集・・・と役割分担され、三役がフォローするといった具合で、スムーズに作業ができました。今期の目標であったIT化を取り入れたことも大きな成果でありました。私はブリテン委員が初めてだったので、学ぶ事も多かったと感じています。特に山本君の取りまとめ方は素晴らしいかと思ひます。来期は、大野西日本区理事の着任と、山代にて大会という大きなイベントがあり、成功にむけて協力していきたいと思ひます。

(瀬戸)

今期の広報委員会(ブリテン委員会)は委員長のリーダーシップのもと、すばらしい委員会であった。「特にリーダーシップとはなんぞや」という事を考えさせられた。パレスも若いメンバーが育ち、各事業委員の事業にも参加してワイズをもっと理解しすばらしいクラブに成る事を期待する。この1年間いろいろありがとうございました。

(西中)

パレス暦5年の私ですが、初めてのEMC委員会以外の配属であり、また一つ違った目でパレス活動を見ることができたことに喜びを感じています。ただ、4月には選挙があったことから、副委員長である私が、年明け以降選挙終了までは、委員会メンバーと足並みをそろえた活動ができずご負担をお掛けしましたこと、この場をお借りしてお詫び致します。ところで、振り返るとこの一年は、パレスの広報活動において画期的な一年であったと考えています。HPを立ち上げ、BBSでのオープンな議論の場を提供し、その上でのブリテン発行が実行されたことは特筆に値すると思ひます。また、個人的にはブリテンをもらっても熟読することはあまり無く、ましてや他クラブのブリテンに目を向けることなどは殆どなかっただけに、今回発行する立場になったことで、メンバーの生の原稿を熟読し、他クラブのブリテンにも目を通すことが出来たことは、大変意義深いものであったと思ひます。この経験を活かして、書き手と校正者の気持ちを理解する読者として、これからはブリテンに目を向けたいと考えています。

(副委員長 隠塚)

1年間ありがとうございました。委員会のメンバーと会長三役の皆さんのご理解を得て、私としては最後まで言いたい放題、好き放題にさせて頂く事が出来ました。喉元過ぎれば・・・という事のない様、今後もブリテンには特に関心を持ってクラブに参加して参りたいと思ひます。

(委員長 山本)